

**第2期尾道市子ども・子育て支援事業計画
中間評価のためのアンケート調査
報告書**

**令和4年12月
尾道市**

目 次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査方法	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	1
II	調査結果	
1	属性	2
2	家庭の状況	
(1)	暮らしの状況	5
(2)	主な教育者	6
(3)	子どもをみてもらえる親族・知人の有無	7
3	両親の就労状況	
(1)	母親の就労状況	9
(2)	父親の就労状況	13
(3)	共働きの状況	15
4	教育・保育事業の利用	
(1)	教育・保育事業の利用状況	16
(2)	教育・保育事業の利用希望	25
5	病気の際の対応	
(1)	病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった経験	30
(2)	病児・病後児保育施設等の利用希望	32
6	不定期の保育事業	
(1)	不定期に利用したサービス	33
(2)	不定期に子どもを預ける事業の利用希望	35
(3)	家族以外に泊まりがけで子どもを預けた経験	36
7	放課後の過ごし方	
(1)	放課後の過ごし方	37
(2)	放課後児童クラブの利用状況	39
(3)	放課後児童クラブに対する要望	42
(4)	放課後児童クラブを利用していない理由	43
(5)	今後の放課後児童クラブの利用希望	44
8	育児休業	
(1)	育児休業取得状況	46

9	仕事と子育ての両立	
	(1) 出産前後の離職状況	49
	(2) 両親の育児への関わり方	50
10	子育て支援センター	
	(1) 子育て支援センター等の利用状況	53
	(2) 今後の子育て支援センターの利用希望	58
11	子育て全般	
	(1) 子育てに関する不安や負担の程度	61
	(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化	65
	(3) 虐待経験	68
	(4) 「キッズWeb☆尾道」の利用状況	77
	(5) 相談先の有無	79
	(6) 公的相談機関等の認知度・利便性	83
	(7) 健康づくり支援等の満足度	89
	(8) 子育てに関する情報の入手状況	95
	(9) 「CODMON (コドモン)」の利用経験	101
	(10) 幼児期の教育環境の充実度	103
	(11) 出産や子育てにかかる費用の負担の程度	104
	(12) 子どもの居場所について	106
	(13) 子どもの成長にとって良好な情報環境の整備状況	108
	(14) 地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度	109
	(15) 子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか	111
	(16) 地域の人々や社会全体の支えの感じ方	112
	(17) 尾道市の子育てのしやすさの評価	114
12	指標に関する調査結果	120

I 調査の概要

1 調査目的

市内の子育てを行う世帯の現在の幼児教育・保育事業の利用状況や今後の利用希望、子育てについての要望等を把握し、尾道市子ども・子育て支援事業計画中間評価の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査方法

- (1) 調査地域 尾道市全域
- (2) 抽出方法 市内に居住する、0歳から小学校6年生までの児童がいる家庭の中から無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送による配布、督促状1回発送
- (4) 調査対象 就学前児童 2,000世帯・小学生 2,000世帯
- (5) 調査時期 令和4年7月21日～令和4年8月15日（令和4年9月27日回収分まで含む）

3 回収結果

	配布数(票)	有効回収数(票)	有効回答率(%)
就学前児童	2,000票	1,117票	55.9%
小学生	2,000票	1,017票	50.9%

4 報告書の見方

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 2つ以上の回答(複数回答)を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- グラフ中の「n」は質問に対する回答数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- 年齢・地域別分析の精度を高めるため、人口比率の小さい年齢・地域別の抽出率を高くして対象者の抽出を行った。そのため、年齢・地域別回答数の母集団に占める割合の差を調整するために、母集団数に対する回答数の割合より算出した係数を乗じ、母集団の年齢・地域比率に補正した規正標本数をもって集計を行っている。

II 調査結果

1 属性

* 規正標本数とは、母集団の年齢・地域比率に補正し、集計した数値であり、小数点第 1 位を四捨五入している

(1) 年齢・学年（令和 4 年 4 月 1 日現在）

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
0歳	201	154	13.8%
1歳	175	165	14.7%
2歳	196	187	16.8%
3歳	175	213	19.1%
4歳	174	190	17.0%
5歳	190	202	18.1%
無回答	6	6	0.5%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
1年生	157	152	14.9%
2年生	166	159	15.6%
3年生	176	161	15.8%
4年生	157	171	16.8%
5年生	149	157	15.5%
6年生	186	192	18.8%
無回答	26	26	2.6%

(2) 居住地域

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
尾道地域	477	790	70.7%
御調地域	86	41	3.7%
向島地域	222	109	9.7%
因島地域	221	122	10.9%
生口島地域	98	42	3.8%
無回答	13	13	1.2%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
尾道地域	437	691	67.9%
御調地域	102	40	3.9%
向島地域	117	93	9.1%
因島地域	187	113	11.1%
生口島地域	139	46	4.5%
無回答	35	35	3.4%

(3)-1 世帯構成

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
二世帯世帯 （子どもと親）	936	960	85.9%
三世帯世帯 （子どもと親と祖父母）	158	135	12.1%
その他の世帯	19	19	1.7%
無回答	4	3	0.3%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
二世帯世帯 （子どもと親）	784	803	79.0%
三世帯世帯 （子どもと親と祖父母）	179	159	15.6%
その他の世帯	27	29	2.8%
無回答	27	26	2.6%

(3)-2 世帯構成（ひとり親世帯の有無）

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
両親世帯	1,043	1,045	93.6%
母子世帯	53	53	4.7%
父子世帯	4	2	0.2%
その他の世帯	1	1	0.1%
無回答	16	16	1.5%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
両親世帯	880	877	86.3%
母子世帯	86	85	8.4%
父子世帯	2	1	0.1%
その他の世帯	3	5	0.5%
無回答	46	48	4.7%

(4) 両親の状況

<母親>

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	1,106	1,107	99.1%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	3	5	0.4%
その他 (死別・未婚・離婚等)	5	3	0.3%
無回答	3	3	0.2%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	984	982	96.6%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	1	0	0.0%
その他 (死別・未婚・離婚等)	6	8	0.8%
無回答	26	26	2.6%

<父親>

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	1,019	1,015	90.9%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	29	33	2.9%
その他 (死別・未婚・離婚等)	54	53	4.8%
無回答	15	16	1.4%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
一緒に住んでいる	849	839	82.5%
単身赴任や入院などで別に住んでいる	34	40	4.0%
その他 (死別・未婚・離婚等)	90	91	9.0%
無回答	44	46	4.5%

(5) きょうだいの人数

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
1人	285	278	24.9%
2人	529	554	49.6%
3人以上	297	278	24.9%
無回答	6	7	0.6%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
1人	125	133	13.0%
2人	451	451	44.3%
3人以上	405	402	39.5%
無回答	36	32	3.1%

(6) 末子の年齢（令和4年4月1日現在）

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
0歳	237	245	29.4%
1歳	169	173	20.8%
2歳	126	127	15.2%
3歳	98	104	12.5%
4歳	70	71	8.5%
5歳	69	59	7.1%
無回答	57	53	6.4%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
5歳以下	317	320	37.6%
6歳	106	98	11.5%
7歳	89	91	10.7%
8歳	105	100	11.7%
9歳	76	88	10.3%
10歳	65	57	6.7%
11歳	64	72	8.4%
無回答	34	27	3.2%

(7) 調査票回答者

（就学前児童）

	回答数	規正標本数	割合
母親	1,021	1,016	91.0%
父親	87	90	8.0%
その他	7	9	0.8%
無回答	2	2	0.2%

（小学生）

	回答数	規正標本数	割合
母親	901	908	89.3%
父親	87	78	7.7%
その他	4	6	0.6%
無回答	25	25	2.5%

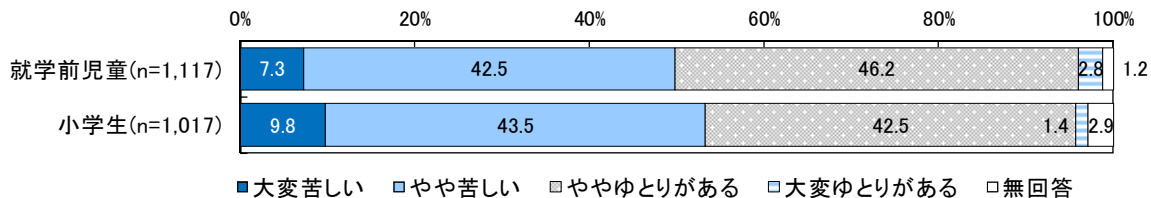
2 家庭の状況

(1) 暮らしの状況

問6 就学前児童・小学生

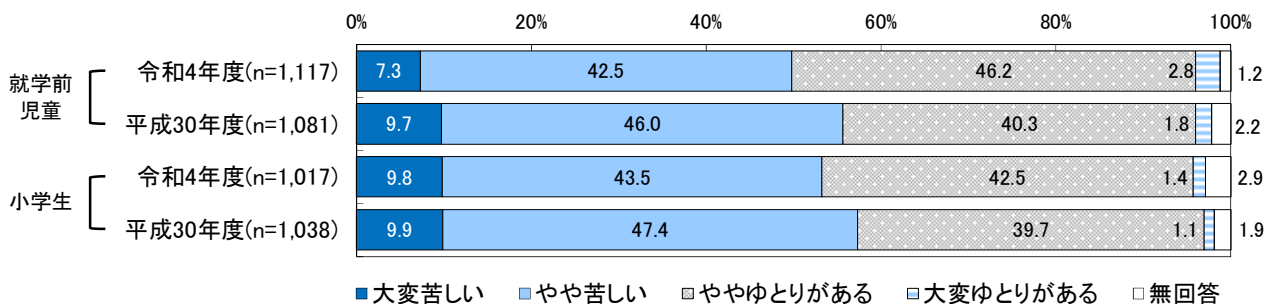
現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。【〇は1つ】

【暮らしの状況】



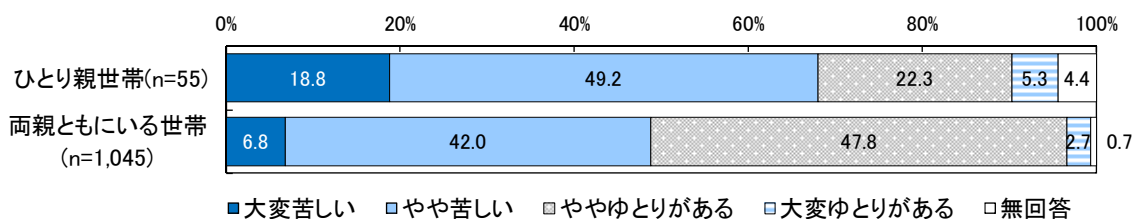
暮らしの状況について、『苦しい』（「大変苦しい」＋「やや苦しい」）と回答した割合が就学前児童で49.8%、小学生で53.3%となっている。

【暮らしの状況（前回調査結果との比較）】

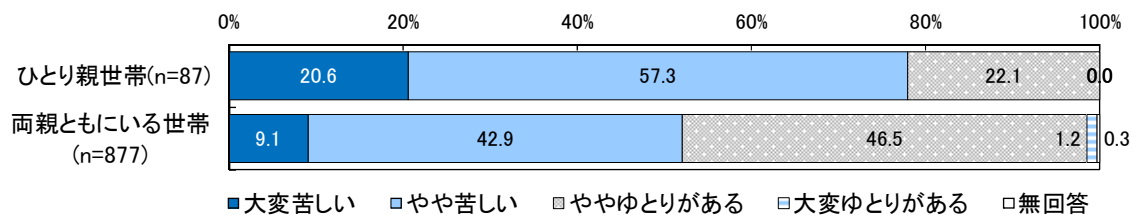


前回調査結果と比較すると、『苦しい』と回答した割合は就学前児童で低下している。

【暮らしの状況（就学前児童・世帯状況別）】



【暮らしの状況（小学生・世帯状況別）】

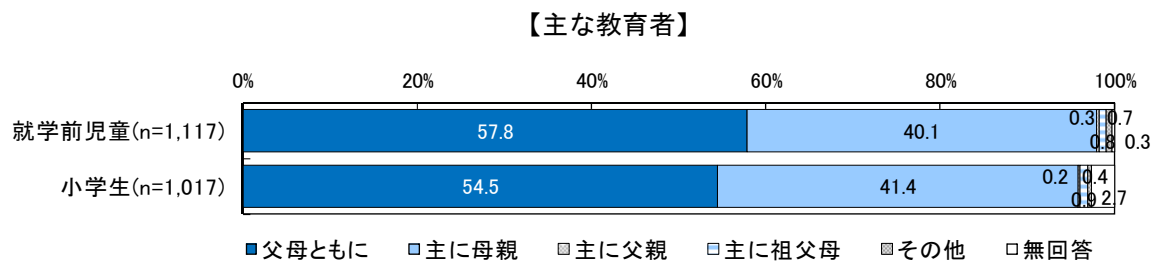


世帯状況別にみると、『苦しい』と回答した割合は就学前児童、小学生ともにひとり親世帯で高くなっている。

(2) 主な教育者

問8 就学前児童・小学生

あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係で回答してください。【〇は1つ】



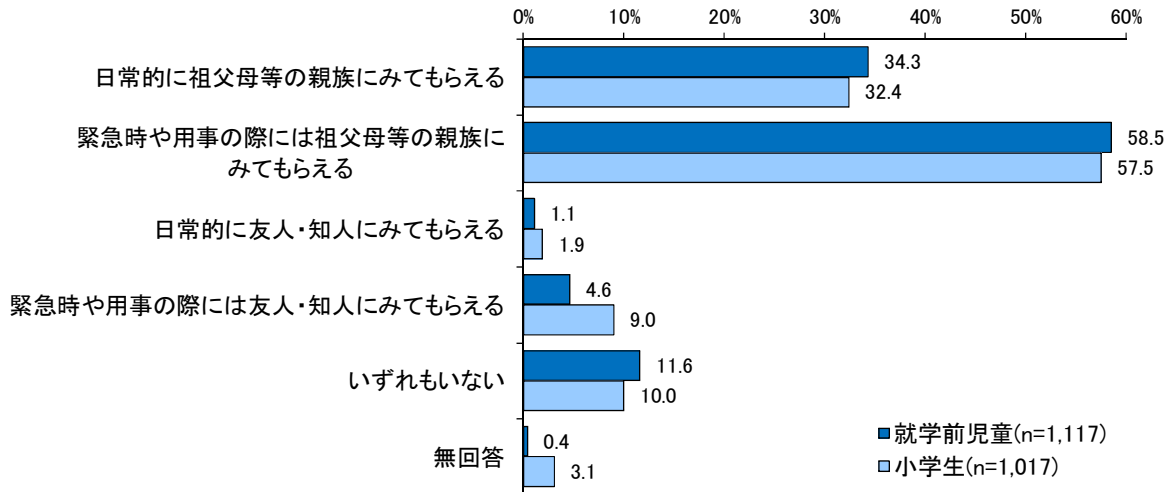
主な教育者について、「父母ともに」と回答した割合が就学前児童で57.8%、小学生で54.5%となっている。

(3) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 就学前児童・小学生

日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。【○は当てはまるものすべて】

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無】

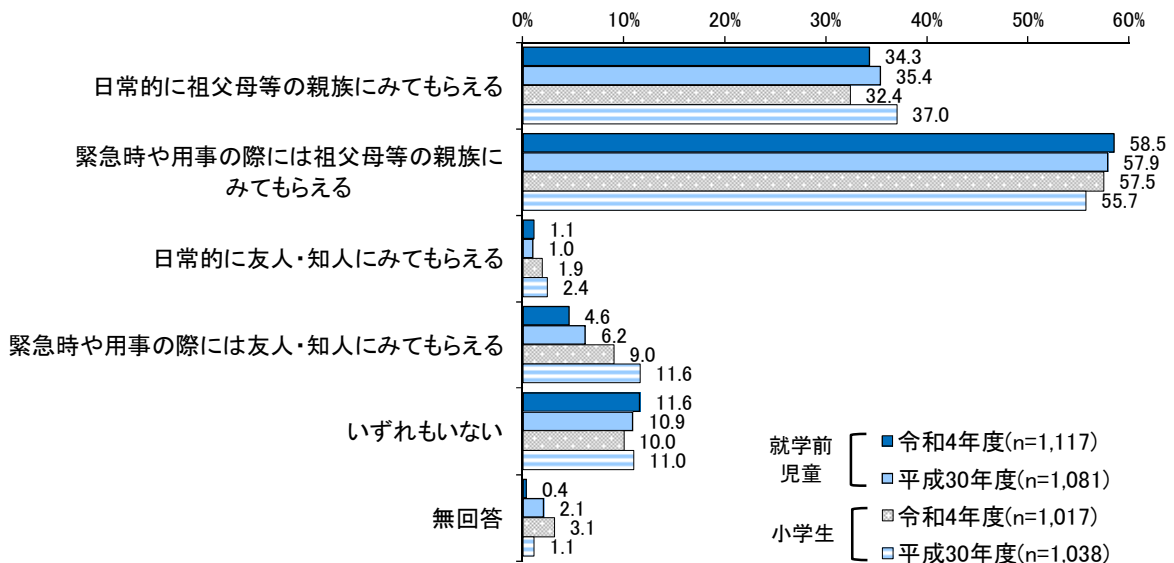


子どもをみてもらえる親族の有無について、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で34.3%、小学生で32.4%、「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で58.5%、小学生で57.5%となっている。

また、子どもをみてもらえる知人の有無について、「日常的に友人・知人にみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で1.1%、小学生で1.9%、「緊急時や用事の際には友人・知人にみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で4.6%、小学生で9.0%となっている。

一方、「いずれもない」と回答した割合が就学前児童で11.6%、小学生で10.0%となっている。

【子どもをみてもらえる親族・知人の有無（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

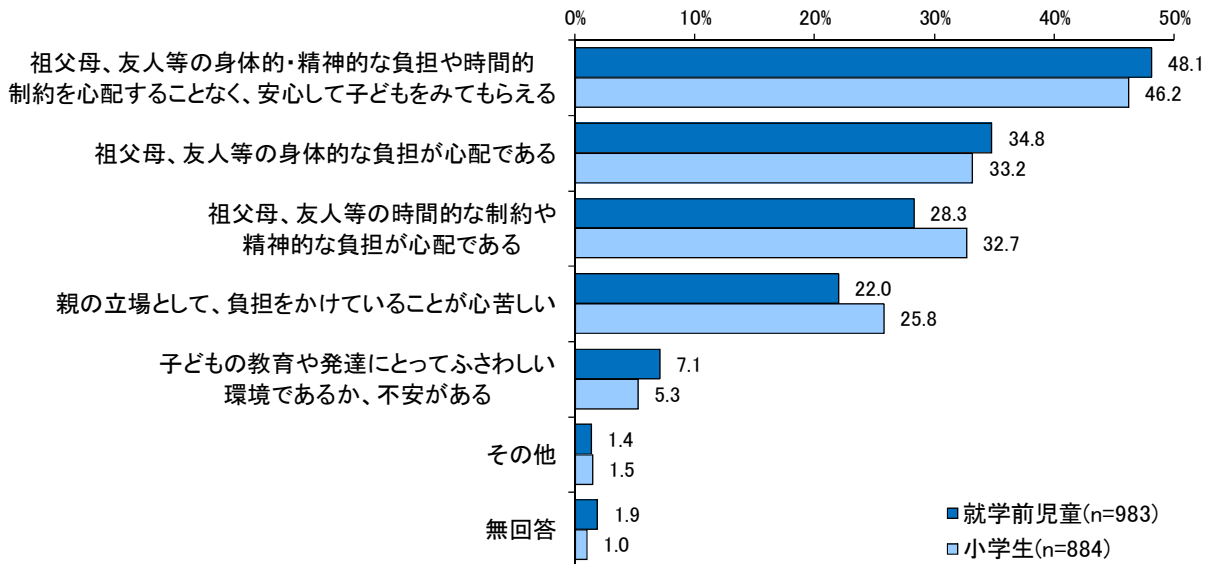
問9で「1」から「4」（みてもらえる親族・知人がいる）と回答した人のみ回答

問9-1 就学前児童・小学生

祖父母等の親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について回答してください。

【〇は当てはまるものすべて】

【子どもをみてもらえる親族・知人の状況】



子どもをみてもらえる親族・知人の状況について、「祖父母、友人等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」と回答した割合が就学前児童で48.1%、小学生で46.2%となっている。

一方、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」と回答した割合が就学前児童で22.0%、小学生で25.8%となっている。

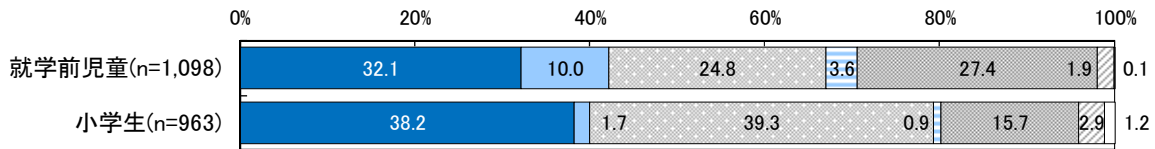
3 両親の就労状況

(1) 母親の就労状況

問 10 就学前児童・小学生

お母さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

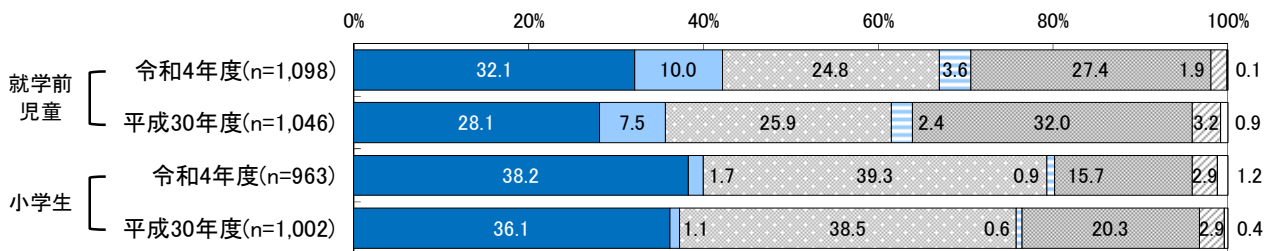
【母親の就労状況】



- フルタイムで就労している
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
- ▣パート・アルバイト等で就労している
- ▤パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
- ▥以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▦これまで就労したことがない
- ▧無回答

母親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合が就学前児童で42.1%、小学生で39.9%、『パート・アルバイト等で就労している』と回答した割合が就学前児童で28.4%、小学生で40.2%、『就労していない』（「以前は就労していたが、現在は就労していない」＋「これまで就労したことがない」と回答した割合が就学前児童で29.3%、小学生で18.6%となっている。

【母親の就労状況（前回調査結果との比較）】



- フルタイムで就労している
- フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
- ▣パート・アルバイト等で就労している
- ▤パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休等を取得中である
- ▥以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▦これまで就労したことがない
- ▧無回答

前回調査結果と比較すると、『フルタイムで就労している』と回答した割合は就学前児童で上昇している。

一方、小学生は大きな変化はみられない。

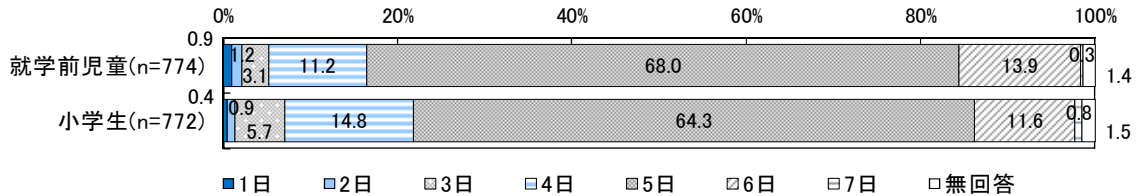
問10で「1」から「4」（就労している）と回答した人のみ回答

問10-1 就学前児童・小学生

お母さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間・帰宅時間、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

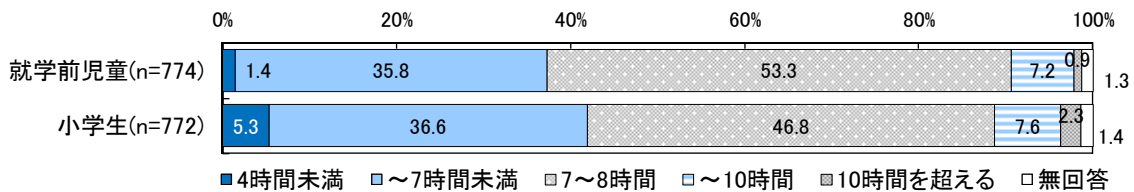
【数字を記入・土日の勤務状況は○は1つ】

【母親の1週当たりの就労日数】



母親の1週当たりの就労日数について、「5日」と回答した割合が就学前児童で68.0%、小学生で64.3%、「4日」と回答した割合が就学前児童で11.2%、小学生で14.8%となっている。

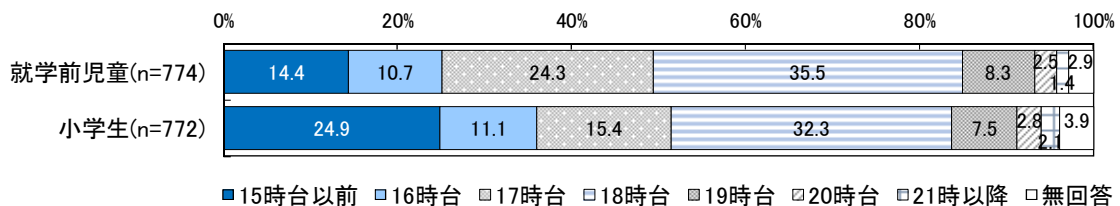
【母親の1日当たりの就労時間】



母親の1日当たりの就労時間について、「7~8時間」と回答した割合が就学前児童で53.3%、小学生で46.8%となっている。

また、『8時間を超える』割合が就学前児童で8.1%、小学生で9.9%となっている。

【母親の帰宅時間】



母親の帰宅時間について、就学前児童、小学生ともに「18時台」と回答した割合が最も高くなっている。

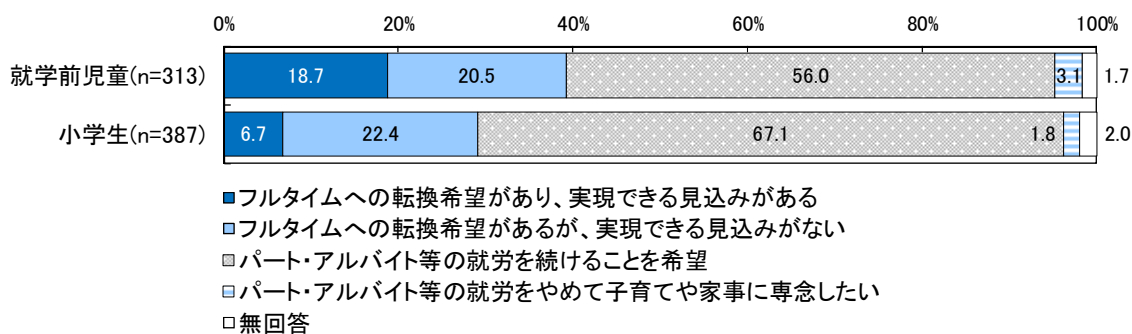
また、『19時を超える』割合は就学前児童で12.2%、小学生で12.4%となっている。

問 10 で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した人のみ回答

問 10-2 就学前児童・小学生

お母さんはフルタイムへの転換希望はありますか。【〇は1つ】

【母親のフルタイムへの転換希望】



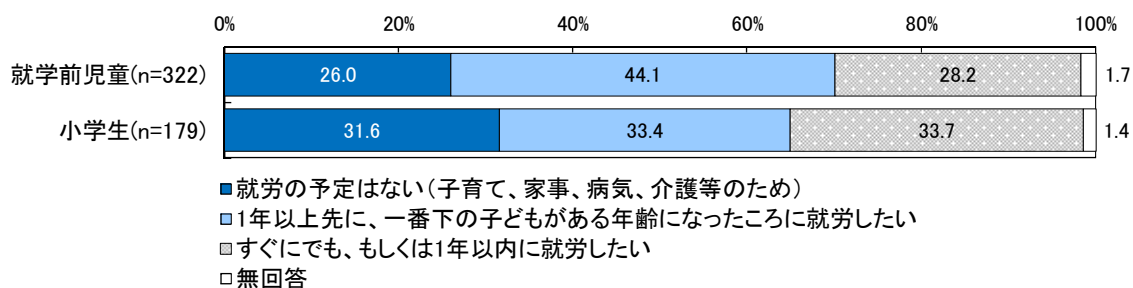
母親のフルタイムへの転換希望について、『フルタイムへの転換希望がある』と回答した割合が就学前児童で39.2%、小学生で29.1%となっている。

問 10 で「5」または「6」（現在就労してない）と回答した人のみ回答

問 10-3 就学前児童・小学生

お母さんは就労したいという希望はありますか。【〇は1つ】

【母親の就労希望】

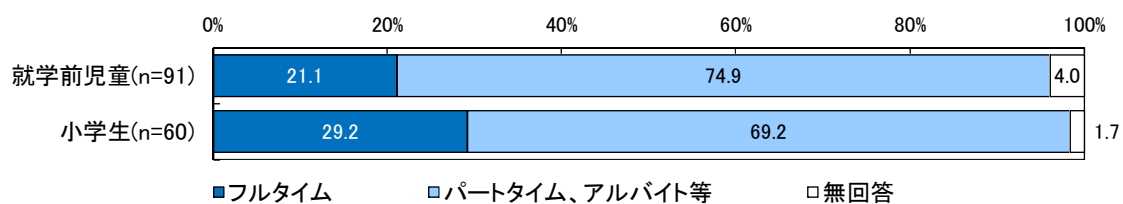


母親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した割合が就学前児童で28.2%、小学生で33.7%、「1年以上先に、一番下の子どもがある年齢になったら就労したい」と回答した割合が就学前児童で44.1%、小学生で33.4%となっている。

問 10-3 就学前児童・小学生

希望する就労形態【①・②のどちらかに○】

【母親の希望の就労形態】



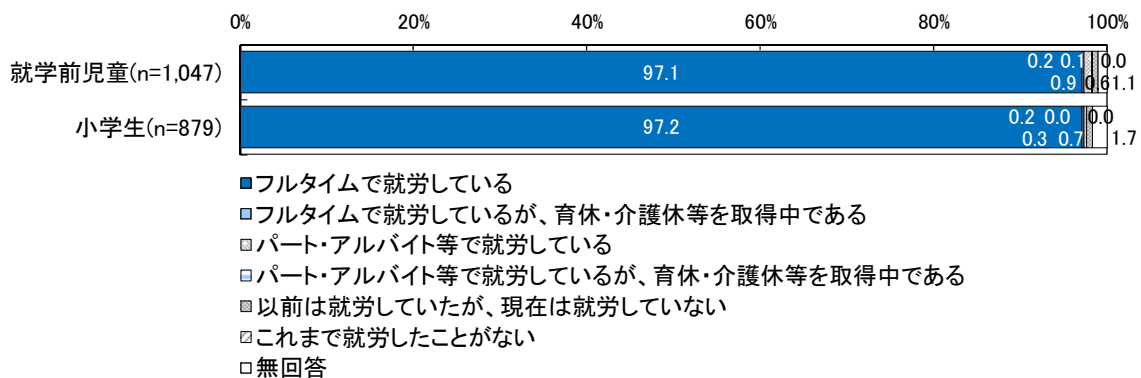
母親の希望の就労形態について、「フルタイム」と回答した割合が就学前児童で 21.1%、小学生で 29.2%、「パートタイム、アルバイト等」と回答した割合が就学前児童で 74.9%、小学生で 69.2%となっている。

(2) 父親の就労状況

問 11 就学前児童・小学生

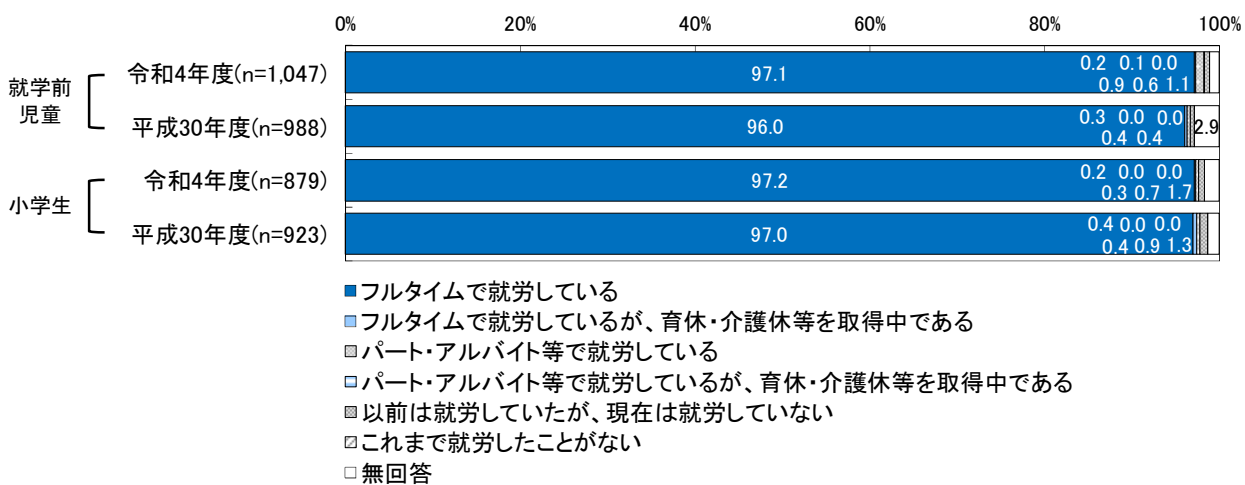
お父さんの就労状況を回答してください。【○は1つ】

【父親の就労状況】



父親の就労状況について、『フルタイムで就労している』と回答した割合が就学前児童で97.3%、小学生で97.4%となっている。

【父親の就労状況（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

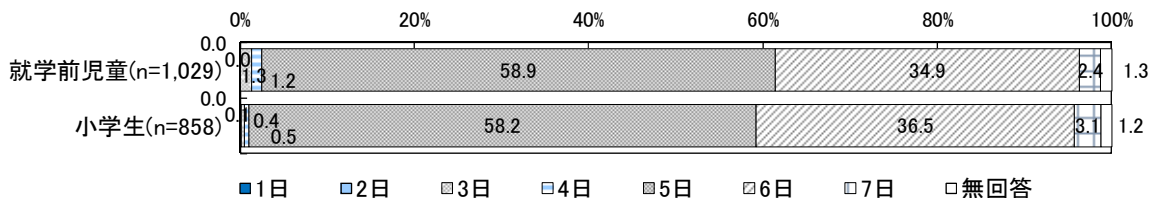
問 11 で「1」から「4」（就労している）と回答した人のみ回答

問 11-1 就学前児童・小学生

お父さんの1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時間・帰宅時間、土曜日・日曜日の勤務状況を記入してください。

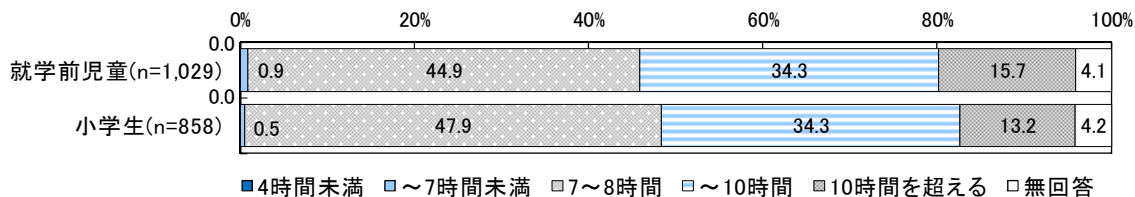
【数字を記入・土日の勤務状況は○は1つ】

【父親の1週当たりの就労日数】



父親の1週当たりの就労日数について、「5日」と回答した割合が就学前児童で58.9%、小学生で58.2%、「6日」と回答した割合が就学前児童で34.9%、小学生で36.5%となっている。

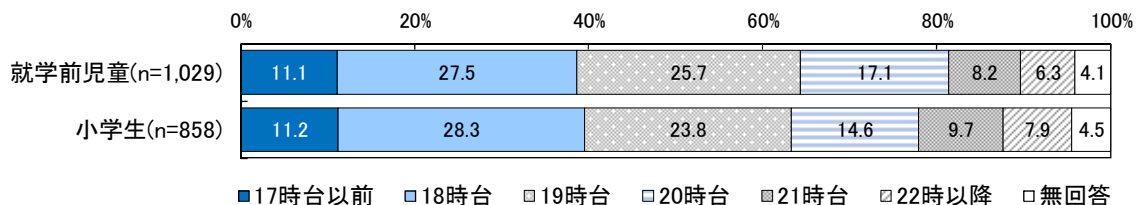
【父親の1日当たりの就労時間】



父親の1日当たりの就労時間について、「7~8時間」と回答した割合が就学前児童で44.9%、小学生で47.9%となっている。

また、「10時間を超える」と回答した割合が就学前児童で15.7%、小学生で13.2%となっている。

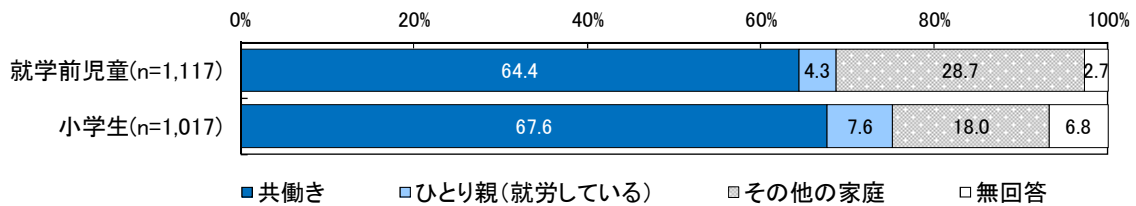
【父親の帰宅時間】



父親の帰宅時間について、就学前児童、小学生ともに「18時台」、「19時台」と回答した割合が高くなっているが、『21時を超える』割合も就学前児童で14.5%、小学生で17.6%となっている。

(3) 共働きの状況

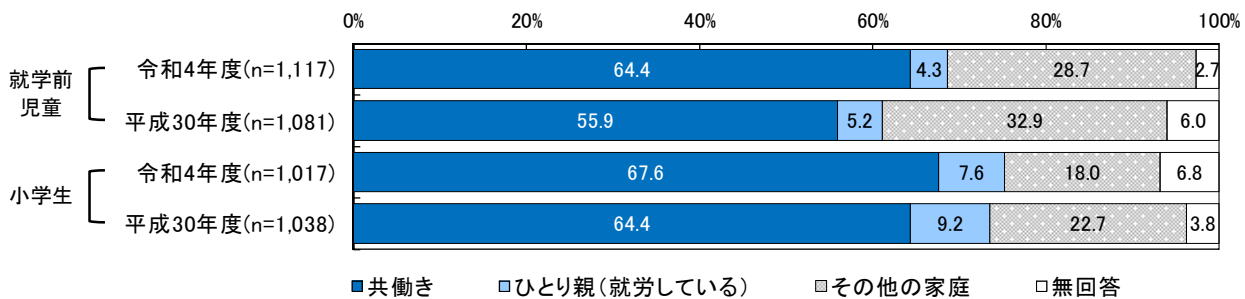
【両親の共働きの状況】



母親、父親の就労状況による共働きの家庭の割合が就学前児童で 64.4%、小学生で 67.6% となっている。

また、ひとり親家庭で就労している家庭の割合が就学前児童で 4.3%、小学生で 7.6% となっている。

【両親の共働きの状況（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、共働きの家庭の割合は就学前児童で大きく上昇している。一方、小学生は大きな変化はみられない。

4 教育・保育事業の利用

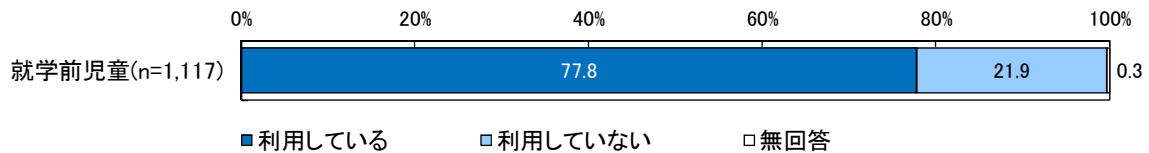
(1) 教育・保育事業の利用状況

問 12 就学前児童

あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用していますか。

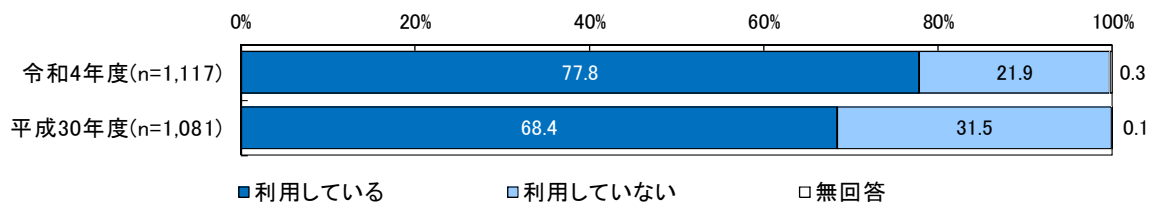
【○は1つ】

【教育・保育事業の利用状況】



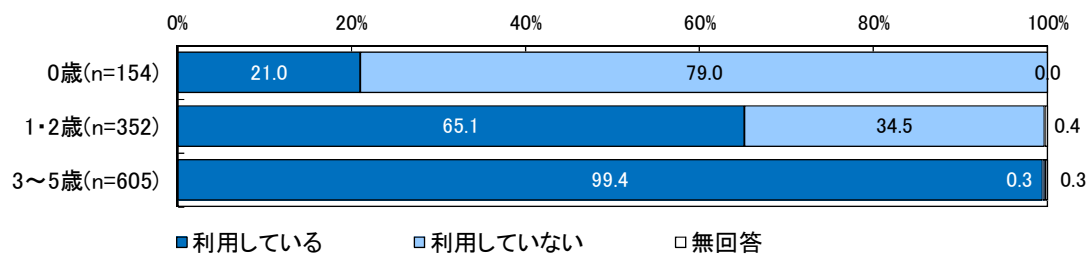
教育・保育事業の利用状況について、「利用している」と回答した割合が 77.8%となっている。

【教育・保育事業の利用状況（就学前児童・前回調査結果との比較）】



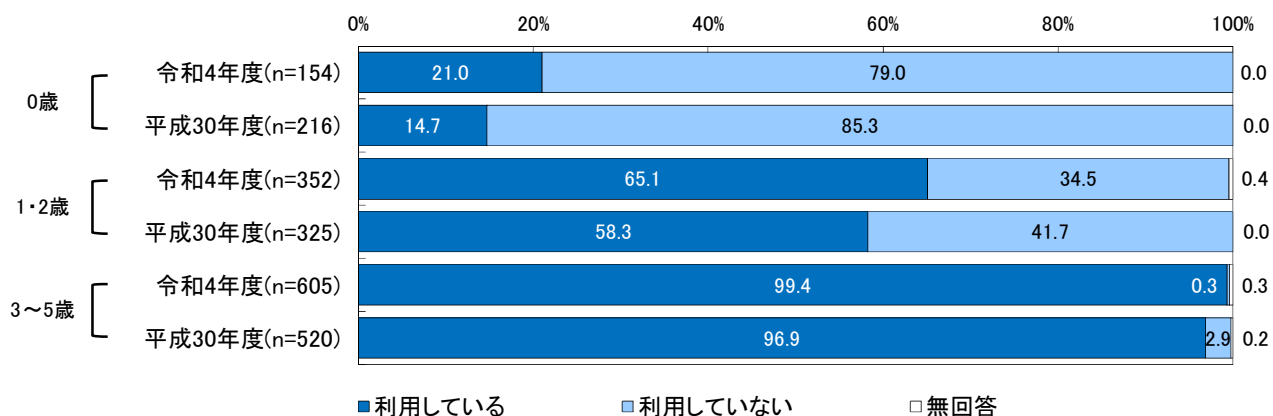
前回調査結果と比較すると、「利用している」と回答した割合は上昇している。

【教育・保育事業の利用状況（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、年齢が高くなるほど「利用している」と回答した割合は高くなっている。

【教育・保育事業の利用状況（就学前児童・年齢別（前回調査結果との比較））】



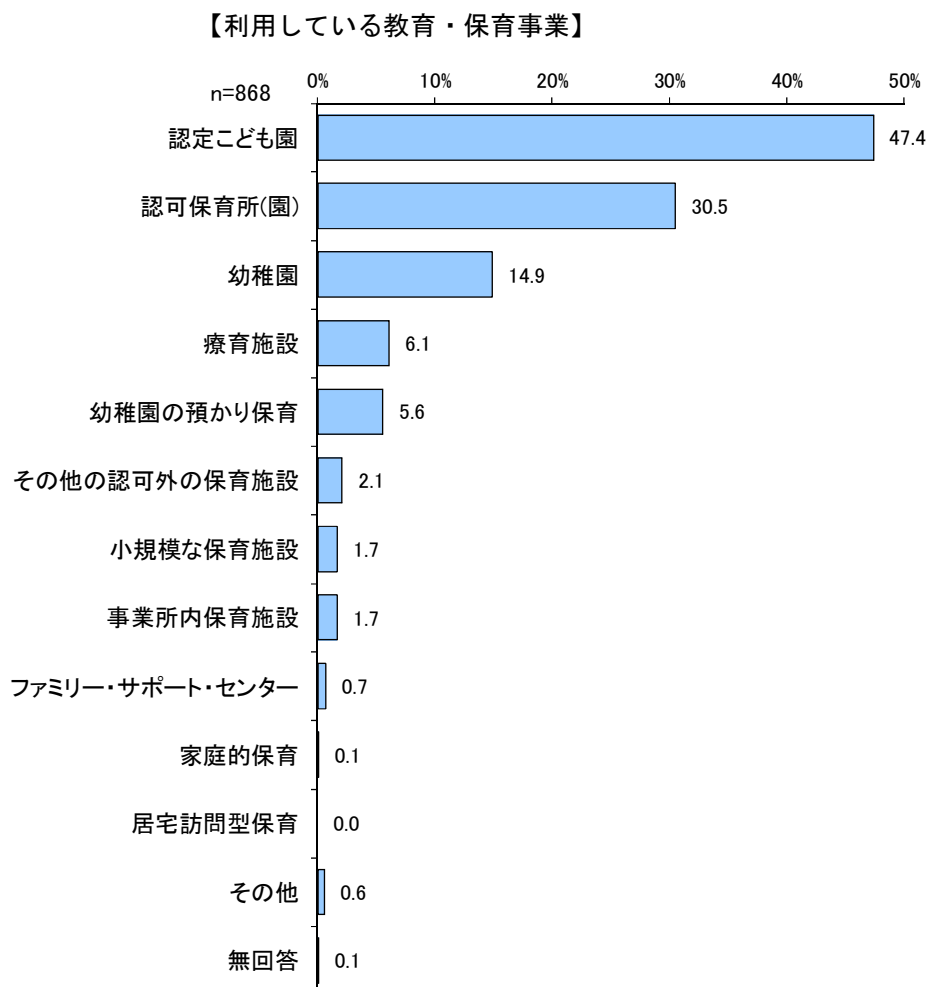
年齢別について前回調査結果と比較すると、「利用している」と回答した割合はいずれの年齢層も上昇している。

問 12 で「1 利用している」と回答した人のみ回答

問 12-1 就学前児童

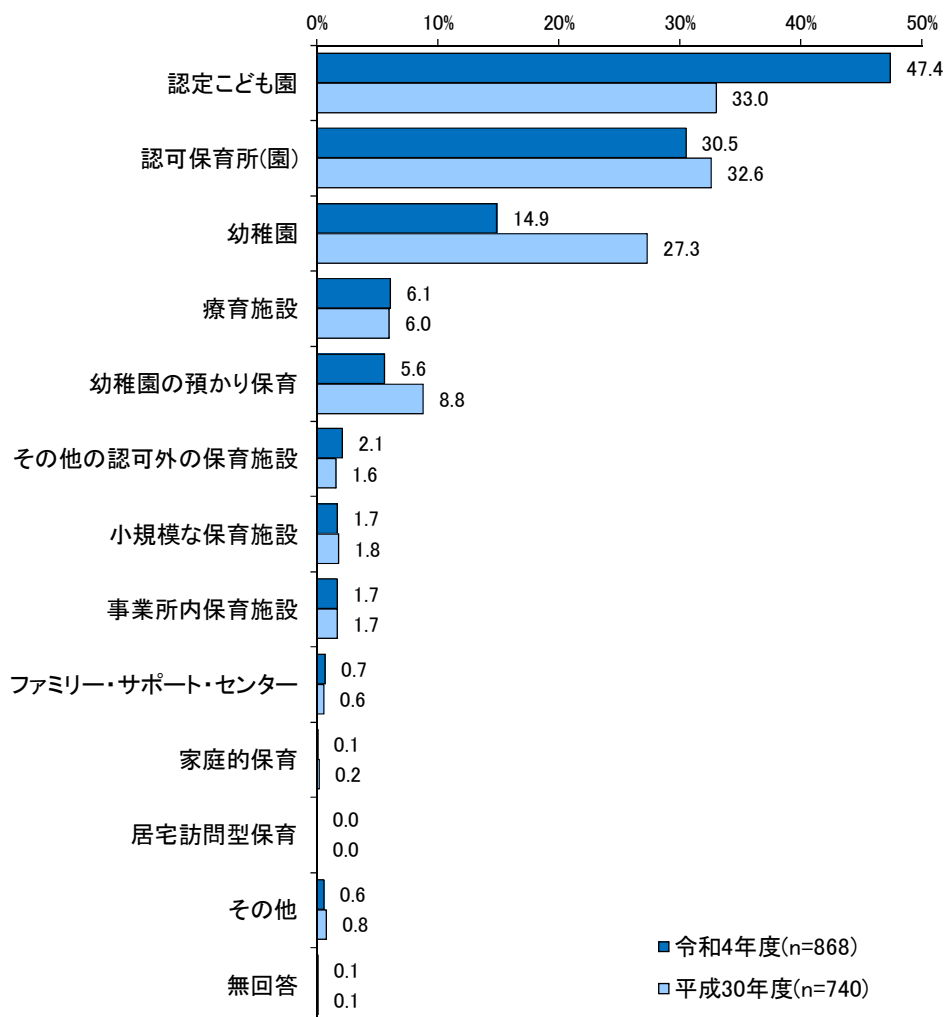
あて名のお子さんが、平日に、年間を通じて定期的に利用している事業を回答してください。

【〇は当てはまるものすべて】



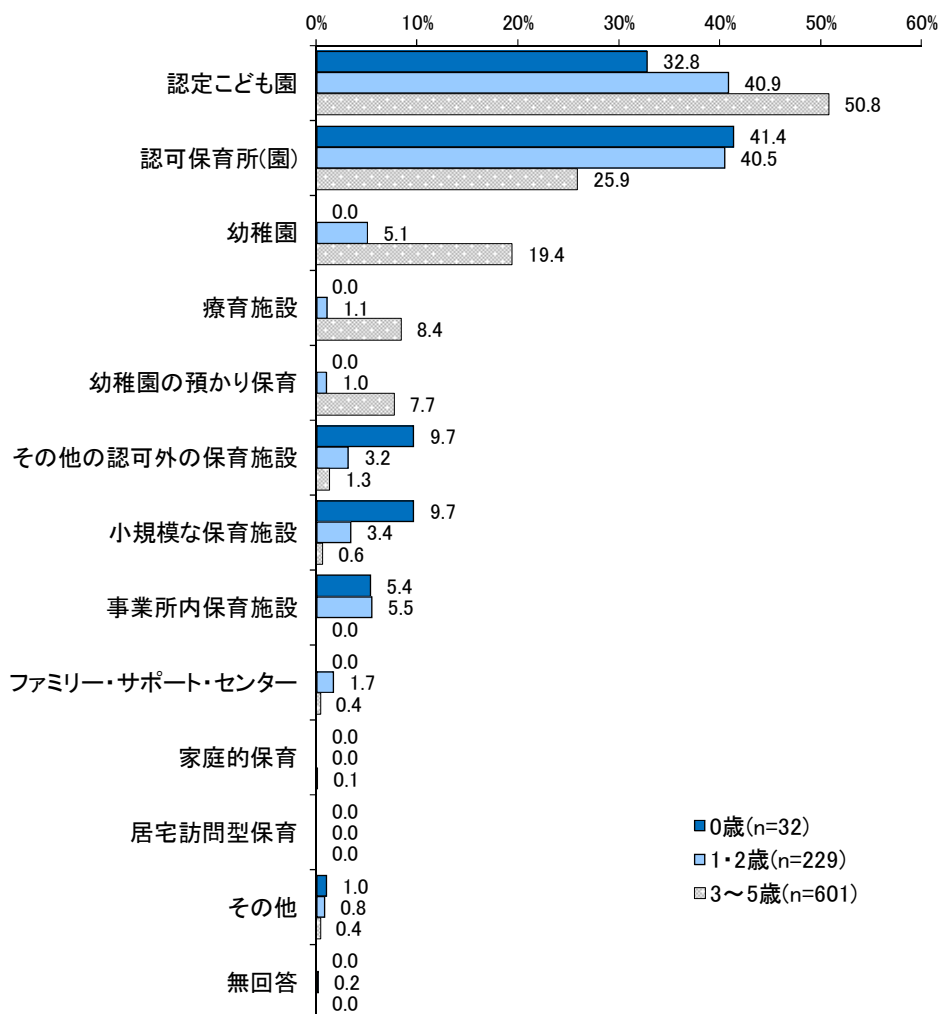
利用している教育・保育事業について、「認定こども園」と回答した割合が 47.4%と最も高く、「認可保育所（園）」(30.5%)、「幼稚園」(14.9%)が続いている。

【利用している教育・保育事業（就学前児童・前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「認定こども園」と回答した割合は上昇している。

【利用している教育・保育事業（就学前児童・年齢別）】

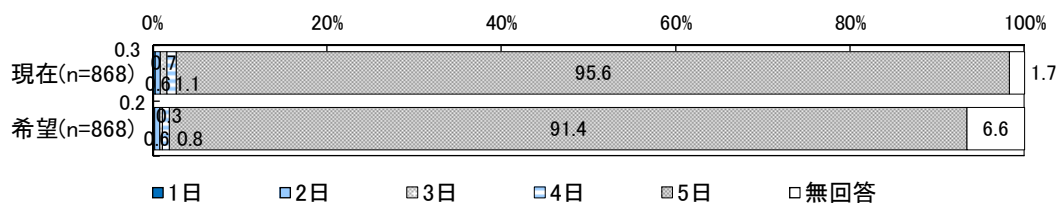


年齢別にみると、0歳では「認可保育所（園）」と回答した割合が最も高く、次いで「認定こども園」、1・2歳では「認定こども園」と回答した割合が最も高く、次いで「認可保育所（園）」、3～5歳では「認定こども園」と回答した割合が最も高く、次いで「認可保育所（園）」となっている。

問 12-2 就学前児童

回答した事業を、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。【1週当たりの日数と利用時間を数字で記入】

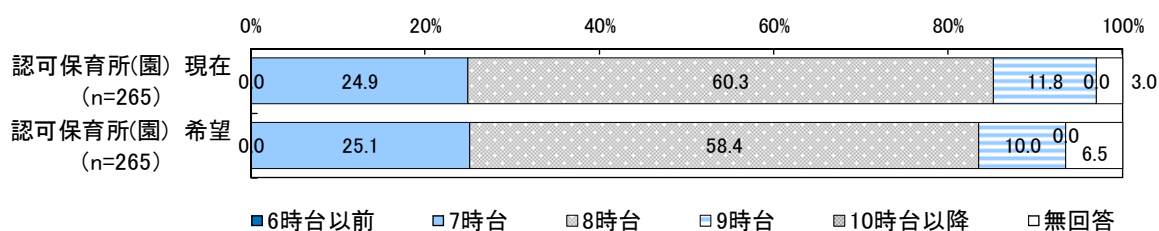
【教育・保育事業の1週当たりの利用日数】



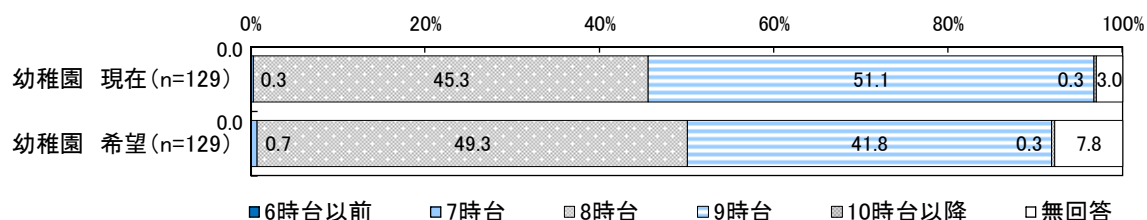
教育・保育事業の1週当たりの利用日数について、現在の利用日数、希望の利用日数ともに「5日」と回答した割合が最も高くなっている。

【教育・保育事業の利用開始時間】

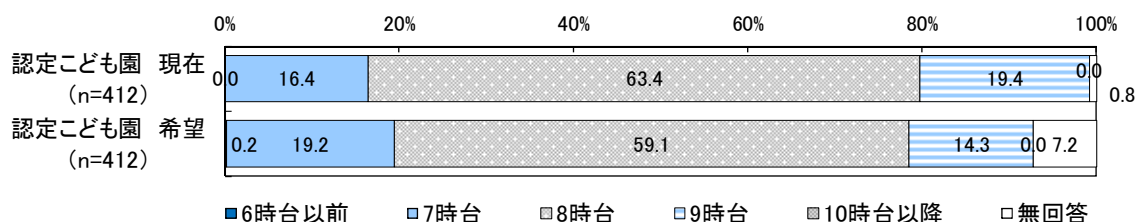
[認可保育所(園)]



[幼稚園]



[認定こども園]

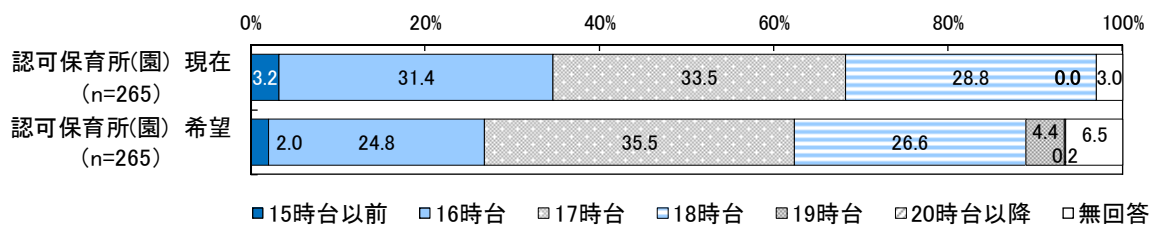


教育・保育事業の利用開始時間について、現在の開始時間は、認可保育所(園)、認定こども園で「8時台」、幼稚園で「9時台」の割合が最も高くなっており、認可保育所(園)では「7時台」の割合が2割台で続いて高くなっている。

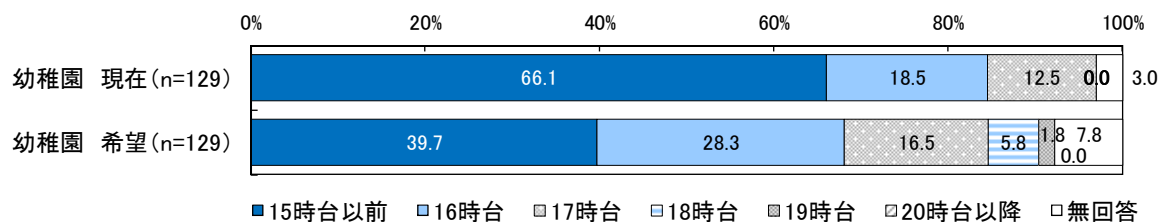
また、希望の開始時間は、現在よりも早い時間帯の割合が高くなっている。

【教育・保育事業の利用終了時間】

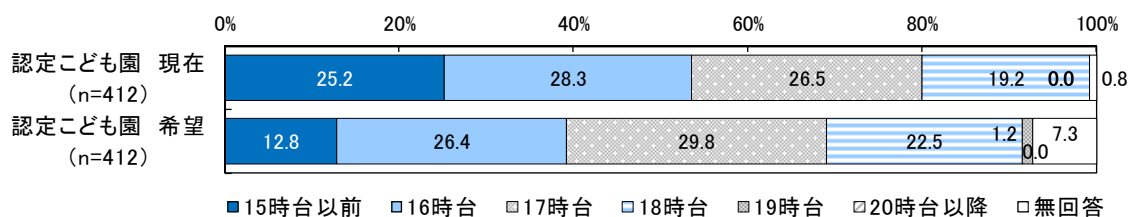
[認可保育所（園）]



[幼稚園]



[認定こども園]



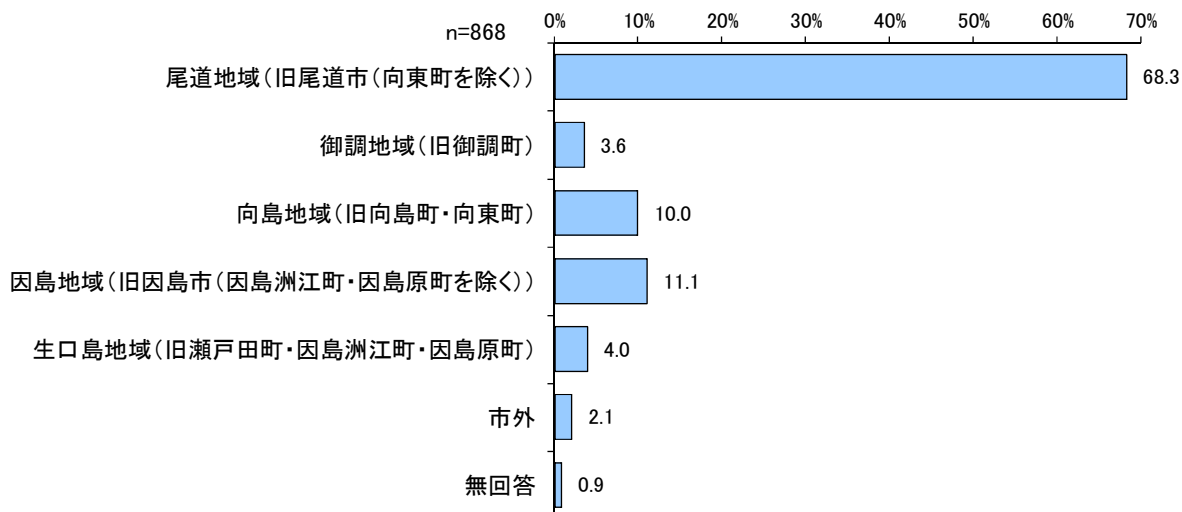
教育・保育事業の利用終了時間について、認可保育所（園）の現在の終了時間は、「17時台」の割合が最も高く、希望では現在よりも「19時台」の割合が高くなっている。

幼稚園の現在の終了時間は、「15時台以前」の割合が66.1%と最も高くなっているが、希望では現在よりも「16時台」～「19時台」の割合が高くなっている。

問 12-3 就学前児童

現在、利用している幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業の実施場所はどの地域ですか。【〇は1つ】

【利用している教育・保育事業の実施地域】



利用している教育・保育事業の実施地域について、「尾道地域（旧尾道市（向東町を除く））」と回答した割合が 68.3%と最も高く、「因島地域（旧因島市（因島洲江町・因島原町を除く））」（11.1%）、「向島地域（旧向島町・向東町）」（10.0%）が続いている。

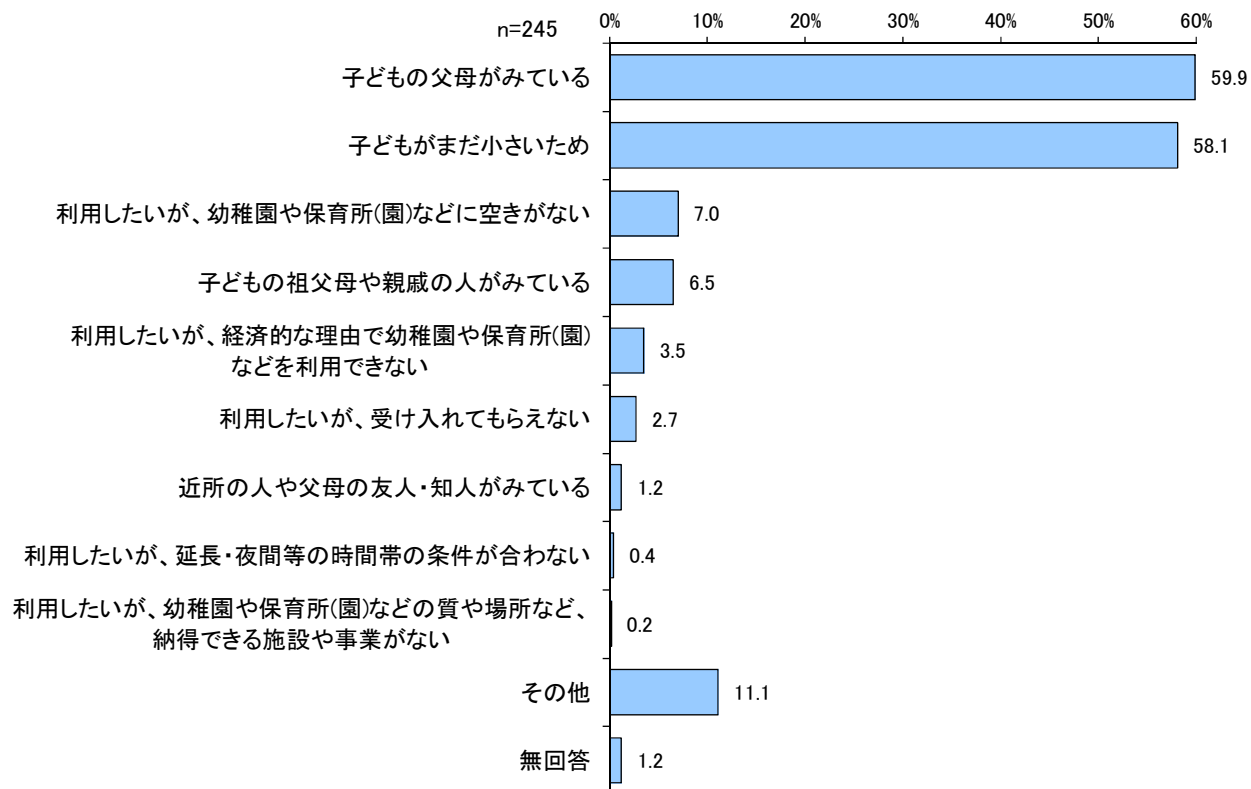
幼稚園や保育所(園)などの事業を利用していない人(問12で「2 利用していない」と回答した人)のみ回答

問12-4 就学前児童

現在、幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用していない理由を回答してください。

【〇は当てはまるものすべて】

【教育・保育事業を利用していない理由】



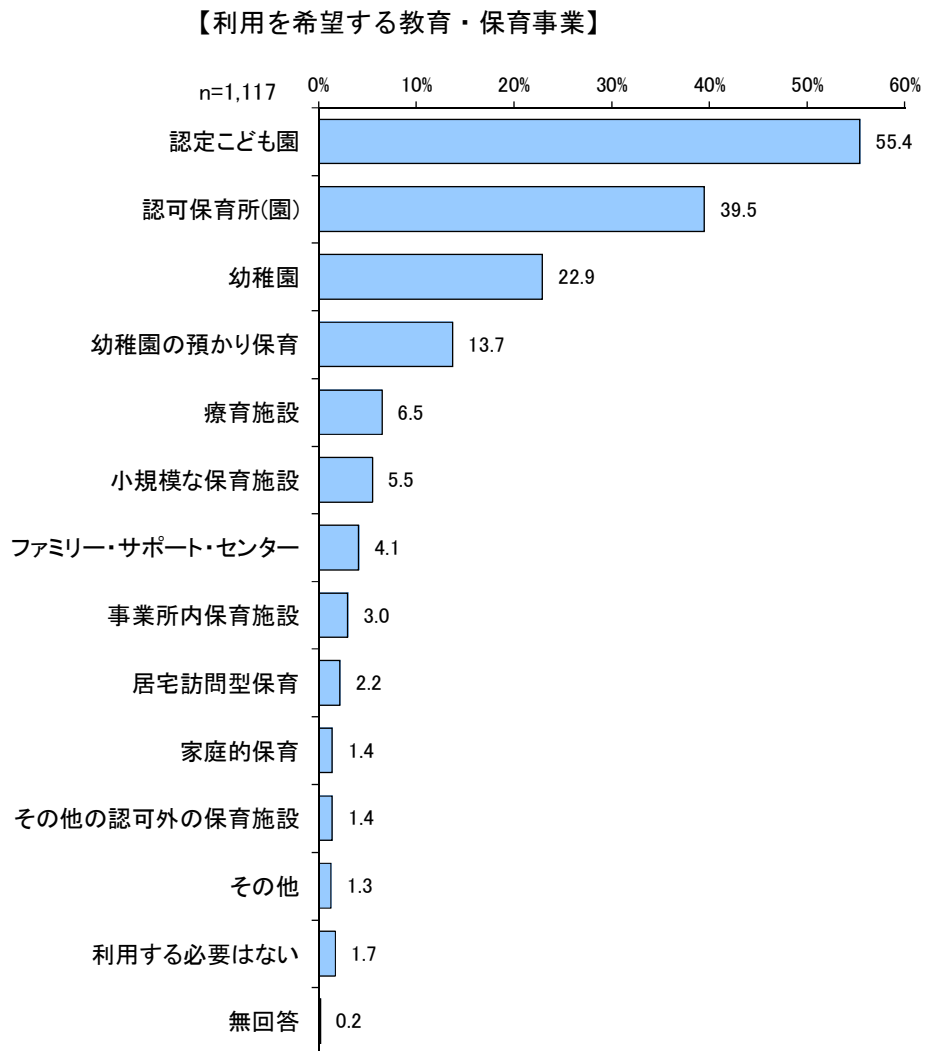
教育・保育事業を利用していない理由について、「子どもの父母がみている」と回答した割合が59.9%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため」(58.1%)となっている。

(2) 教育・保育事業の利用希望

問 13 就学前児童

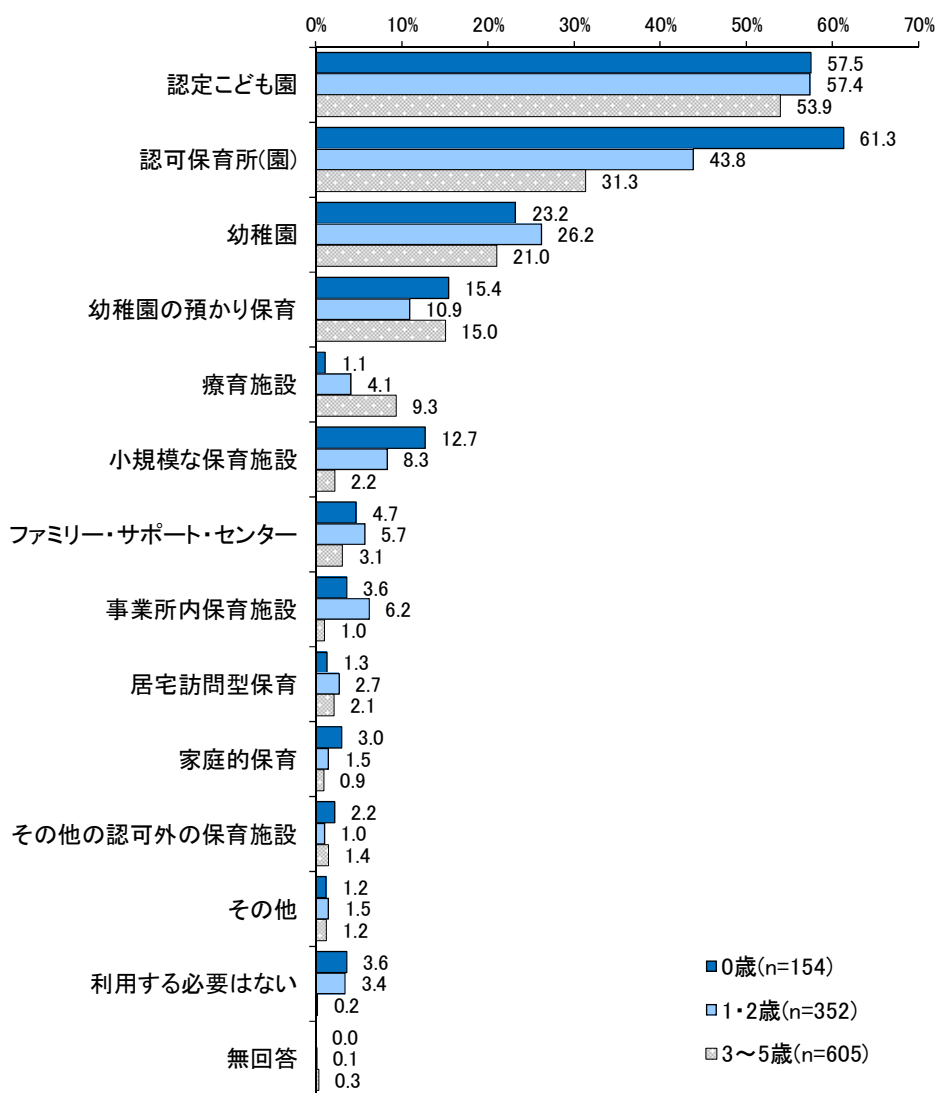
あて名のお子さんは、平日、定期的にどのような施設や事業を利用したいと思いますか。現在、利用している、利用していないにかかわらず回答してください。

【○は当てはまるものすべて】



利用を希望する教育・保育事業について、「認定こども園」と回答した割合が 55.4%と最も高く、「認可保育所（園）」(39.5%)、「幼稚園」(22.9%)が続いている。

【利用を希望する教育・保育事業（就学前児童・年齢別）】



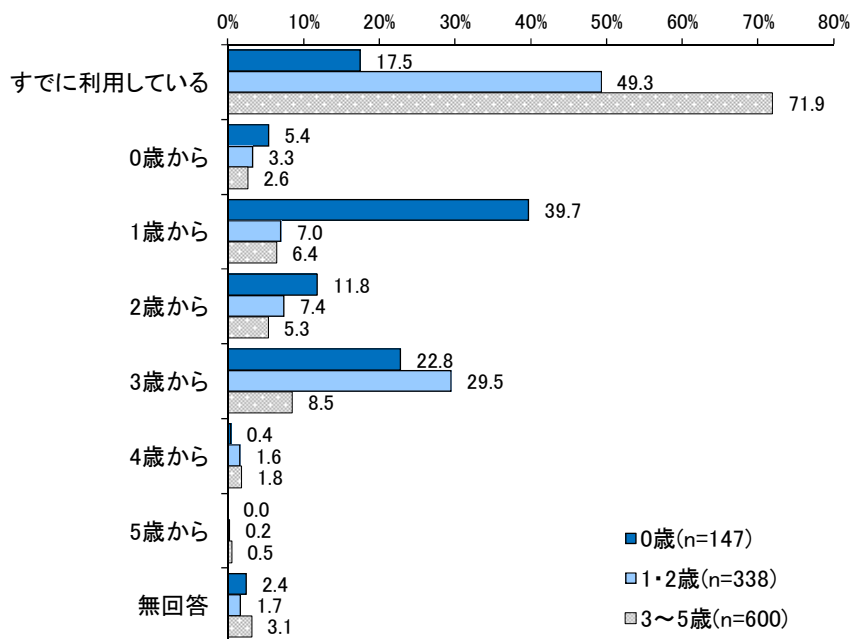
年齢別にみると、0歳では「認可保育所（園）」と回答した割合が最も高く、次いで「認定こども園」、1・2歳、3～5歳では「認定こども園」と回答した割合が最も高く、次いで「認可保育所（園）」となっている。

問 13 で「1」から「11」（利用したい幼稚園や保育所（園）などの事業）を回答した人のみ回答

問 13-1 就学前児童

お子さんが何歳のときから利用したいと思いますか。【〇は1つ】

【教育・保育事業の利用希望開始年齢（就学前児童・年齢別）】



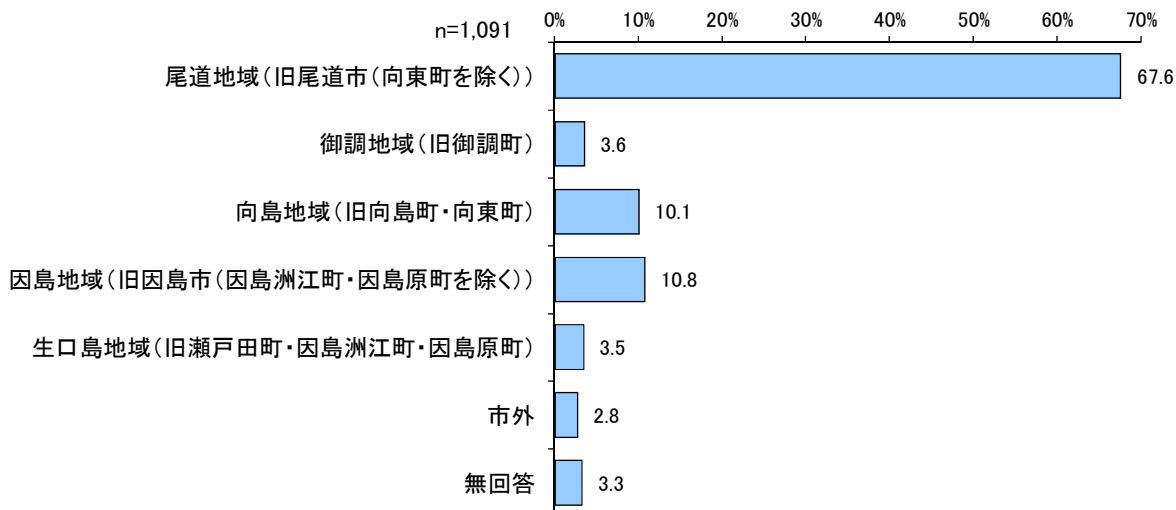
教育・保育事業の利用希望開始年齢について、年齢別にみると、0歳では「1歳から」と回答した割合が39.7%、「3歳から」と回答した割合が22.8%となっている。

問 13-2 就学前児童

利用したいと思う幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業はどの地域ですか。

【〇は1つ】

【教育・保育事業の利用希望地域】



教育・保育事業の利用希望地域について、「尾道地域（旧尾道市（向東町を除く））」と回答した割合が 67.6%と最も高く、「因島地域（旧因島市（因島洲江町・因島原町を除く））」(10.8%)、「向島地域（旧向島町・向東町）」(10.1%)が続いている。

【教育・保育事業の利用希望地域（就学前児童・居住地域別）】

	回答数	利用希望地域						
		尾道地域	御調地域	向島地域	因島地域	生口島地域	市外	無回答
尾道地域	771	93.5%	0.4%	0.9%	0.6%	0.2%	3.2%	2.7%
御調地域	41	10.4%	83.9%	1.4%	-	-	7.4%	4.4%
向島地域	108	8.5%	0.5%	87.3%	0.5%	-	1.5%	3.6%
因島地域	119	1.0%	-	2.3%	92.5%	-	-	4.3%
生口島地域	40	-	-	-	0.8%	89.1%	1.6%	9.3%

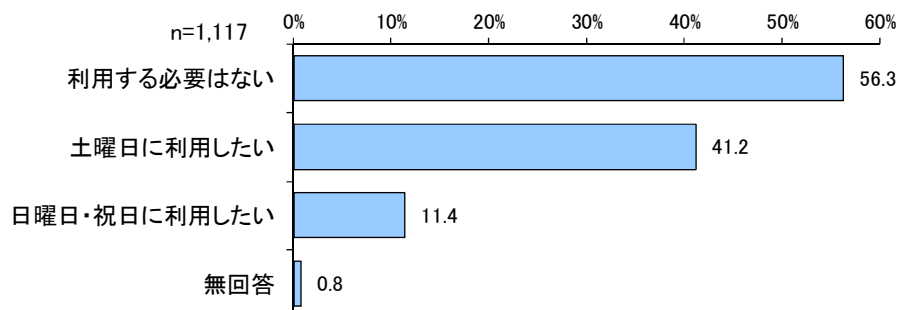
居住地域別にみると、御調地域、向島地域では「尾道地域（旧尾道市（向東町を除く））」を希望する割合が他の地域よりも高くなっている。

また、御調地域では、居住する地域（御調地域）を希望する割合が低くなっている。

問 14 就学前児童

あて名のお子さんについて、土曜日や日曜日・祝日に、定期的に幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業を利用したいですか。【○は当てはまるものすべて】

【土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望】



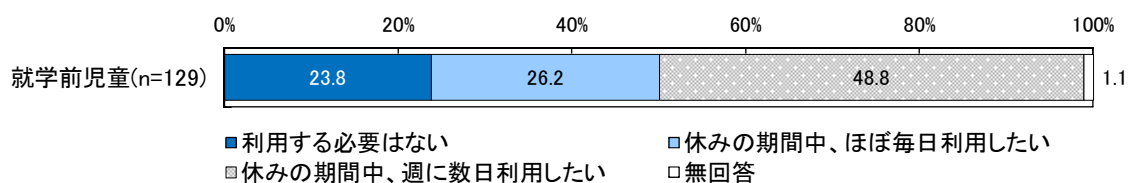
土曜日・日曜日・祝日の教育・保育事業の利用希望について、「利用する必要はない」と回答した割合が 56.3%と最も高く、「土曜日に利用したい」(41.2%)、「日曜日・祝日に利用したい」(11.4%)が続いている。

幼稚園を利用している人のみ回答

問 15 就学前児童

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に幼稚園や保育所（園）などの教育・保育事業を利用したいですか。【○は1つ】

【長期休暇中の教育・保育事業の利用希望】



長期休暇中の教育・保育事業の利用希望について、「利用する必要はない」と回答した割合が 23.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と回答した割合が 26.2%、「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した割合が 48.8%となっている。

5 病気の際の対応

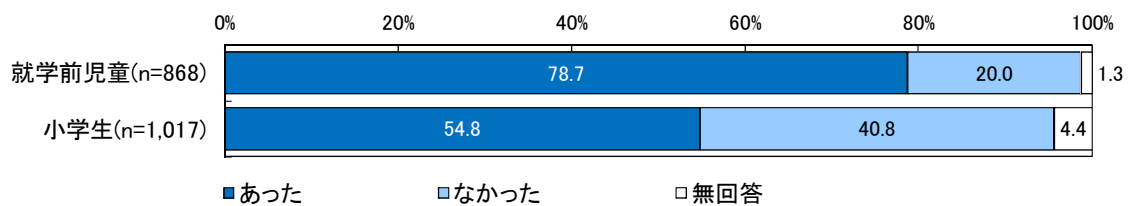
(1) 病気等により幼稚園・保育所(園)等を利用できなかった経験

平日に幼稚園や保育所(園)などを利用している人(問12で「1 利用している」と回答した人)と小学生のみ回答

問16 就学前児童・問15 小学生

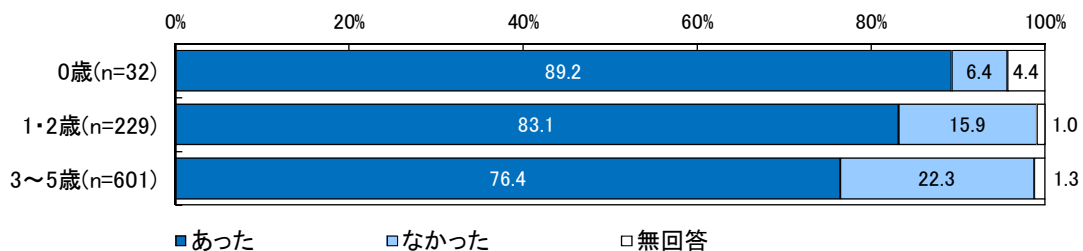
この1年間に、お子さんが病気やケガで幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業や学校を利用できなかったこと、休んだことはありましたか。【〇は1つ】

【病気等により幼稚園や保育所(園)、学校を休んだ経験】



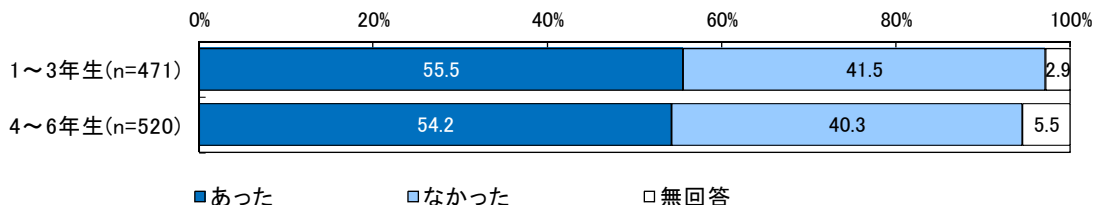
病気等により幼稚園や保育所(園)、学校を休んだ経験について、「あった」と回答した割合が就学前児童で78.7%、小学生で54.8%となっている。

【病気等により幼稚園や保育所(園)を利用できなかった経験(就学前児童・年齢別)】



年齢別にみると、年齢が低くなるほど「あった」と回答した割合が高くなっている。

【病気等により学校を休んだ経験(小学生・学年別)】



学年別にみると、大きな差はみられない。

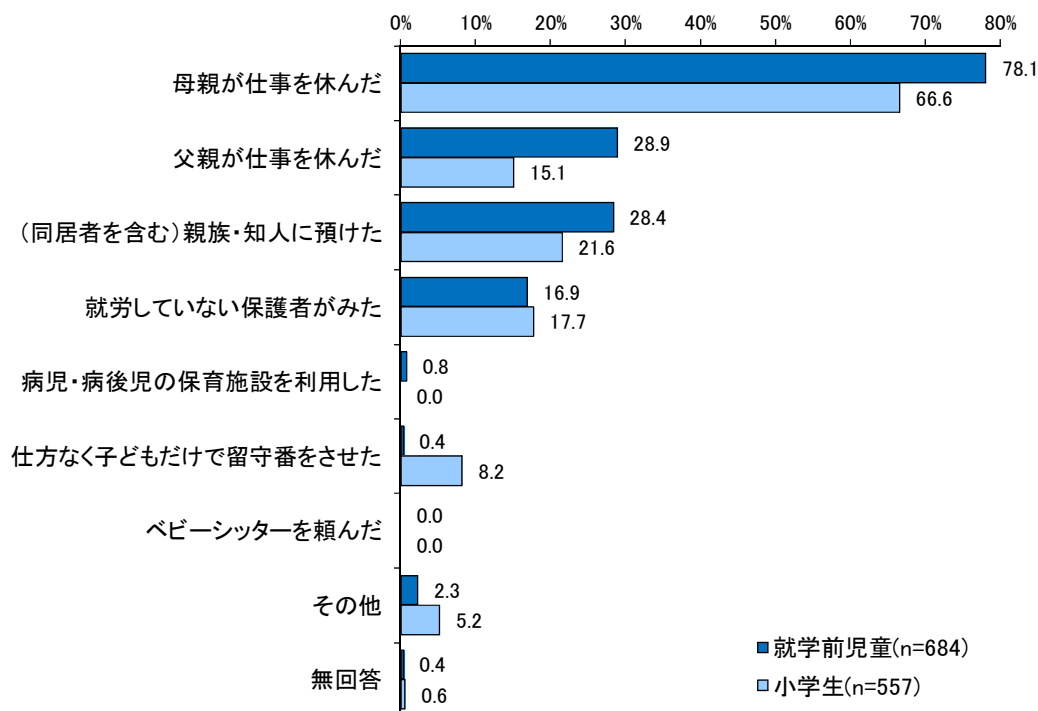
問16・問15で「1 あった」と回答した人のみ回答

問16-1 就学前児童・問15-1 小学生

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している幼稚園や保育所(園)などの教育・保育事業を利用できなかった、学校を休んだ場合に、どのように対応しましたか。

【〇は当てはまるものすべて】

【病気等により幼稚園・保育所(園)、学校を休んだ際の対応方法】



病気等により幼稚園・保育所(園)、学校を休んだ際の対応方法について、「母親が仕事を休んだ」と回答した割合が就学前児童で78.1%、小学生で66.6%と最も高くなっている。

【病気等により幼稚園・保育所(園)、学校を休んだ際の年間対応日数(平均日数)】

	就学前児童		小学生	
	回答数	平均(日)	回答数	平均(日)
父親が仕事を休んだ	180	5.0	81	3.8
母親が仕事を休んだ	456	10.0	310	5.0
(同居者を含む)親族・知人に預けた	173	6.8	105	3.9
就労していない保護者がみた	90	12.3	74	5.3
病児・病後児の保育施設を利用した	5	3.5	-	-
ベビーシッターを頼んだ	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	1.0	40	2.7
その他	14	4.5	24	3.1

病気等により幼稚園・保育所(園)、学校を休んだ際の年間対応日数について、「就労していない保護者がみた」の平均日数が就学前児童で12.3日、小学生で5.3日となっている。

(2) 病児・病後児保育施設等の利用希望

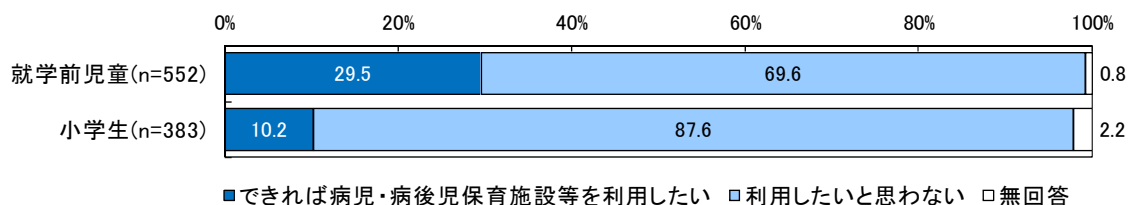
問 16-1・問 15-1 で「1」または「2」（父親・母親が仕事を休んだ）と回答した人のみ回答

問 16-2 就学前児童・問 15-2 小学生

父親、母親が休んだ際に、病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが。

【○は1つ】

【病児・病後児保育施設等の利用希望】



病児・病後児保育施設等の利用希望について、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した割合が就学前児童で29.5%、小学生で10.2%となっている。

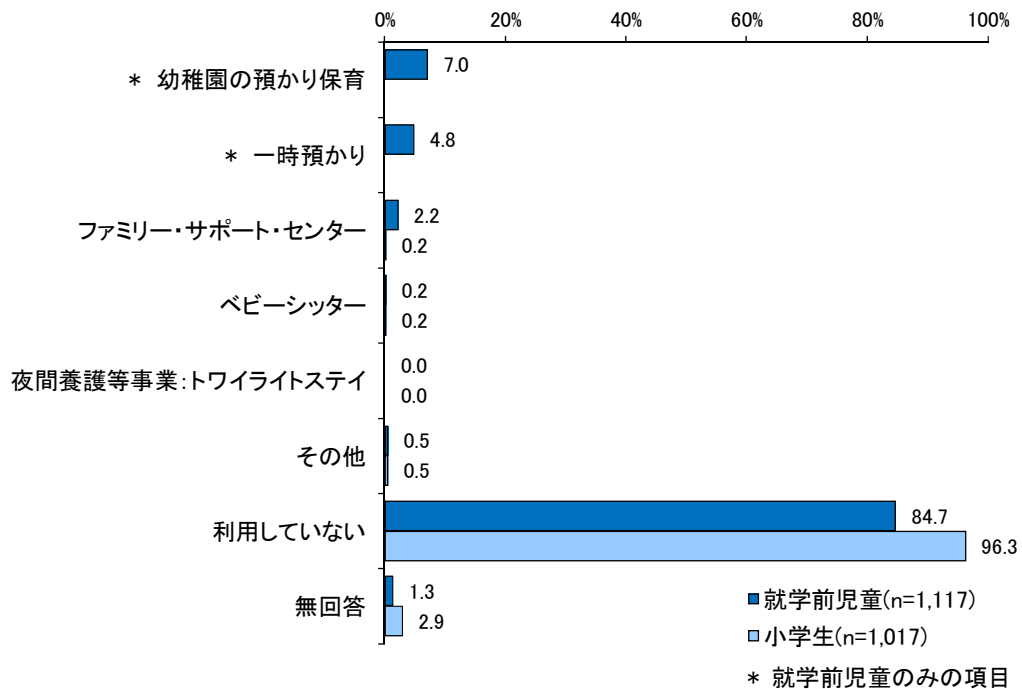
6 不定期の保育事業

(1) 不定期に利用したサービス

問 17 就学前児童・問 16 小学生

あて名のお子さんについて、この1年間に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したサービスはありますか（宿泊は伴わない）。【○は当てはまるものすべて】

【不定期に利用したサービス】



不定期に利用したサービスについて、就学前児童では「幼稚園の預かり保育」と回答した割合が7.0%と最も高く、次いで「一時預かり」(4.8%)となっている。

また、「利用していない」と回答した割合が就学前児童で84.7%、小学生で96.3%となっている。

【不定期のサービスの年間利用日数（平均日数）】

	就学前児童		小学生	
	回答数	平均(日)	回答数	平均(日)
一時預かり	44	16.7		
幼稚園の預かり保育	75	22.9		
ファミリー・サポート・センター	23	5.4	2	37.9
夜間養護等事業:トワイライトステイ	-	-	-	-
ベビーシッター	3	4.7	2	1.6
その他	3	8.7	5	94.7

不定期のサービスの年間利用日数について、就学前児童では「一時預かり」の平均日数は16.7日、「幼稚園の預かり保育」の平均日数は22.9日となっている。

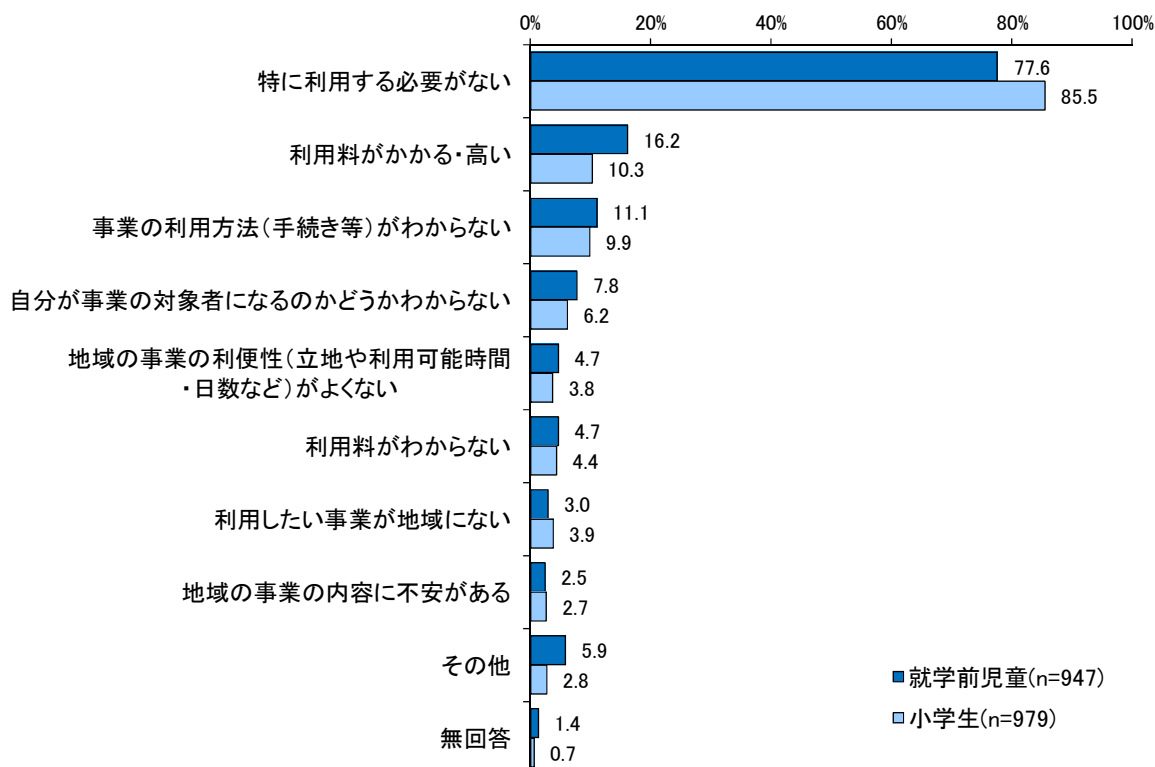
また、「ファミリー・サポート・センター」の平均日数が就学前児童で5.4日、小学生で37.9日となっている。

問 17・問 16 で「利用していない」と回答した人のみ回答

問 17-1 就学前児童 問 16-1 小学生

現在、利用していない理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】

【不定期のサービスを利用していない理由】



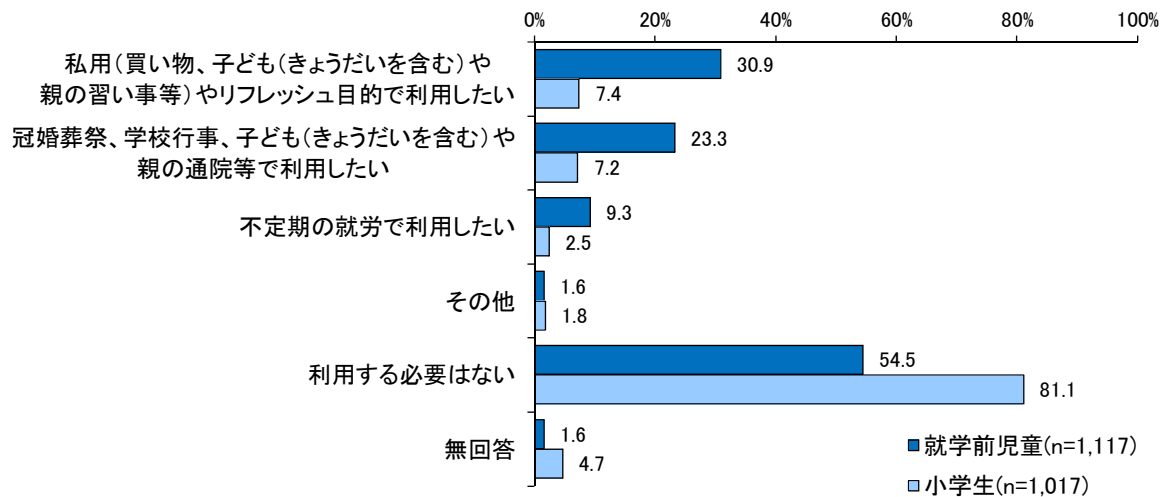
不定期のサービスを利用していない理由について、「特に利用する必要がない」を除くと、「利用料がかかる・高い」と回答した割合が就学前児童で16.2%、小学生で10.3%と高くなっている。

(2) 不定期に子どもを預ける事業の利用希望

問 18 就学前児童・問 17 小学生

あて名のお子さんについて、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、子どもを預ける事業を利用したいと思いますか（宿泊は伴わない）。【○は当てはまるものすべて】

【不定期に子どもを預ける事業の利用希望】



不定期に子どもを預ける事業の利用希望について、就学前児童では「私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）やリフレッシュ目的で利用したい」と回答した割合が30.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（きょうだいを含む）や親の通院等で利用したい」（23.3%）となっている。

また、「利用する必要はない」と回答した割合が就学前児童で54.5%、小学生で81.1%となっている。

【不定期に子どもを預ける事業の年間利用希望日数（平均日数）】

	就学前児童		小学生	
	回答数	平均(日)	回答数	平均(日)
私用(買い物、子ども(きょうだいを含む)や親の習い事等)やリフレッシュ目的で利用したい	297	13.2	68	12.1
冠婚葬祭、学校行事、子ども(きょうだいを含む)や親の通院等で利用したい	225	10.1	60	7.6
不定期の就労で利用したい	80	29.9	18	11.3
その他	10	11.2	5	10.6

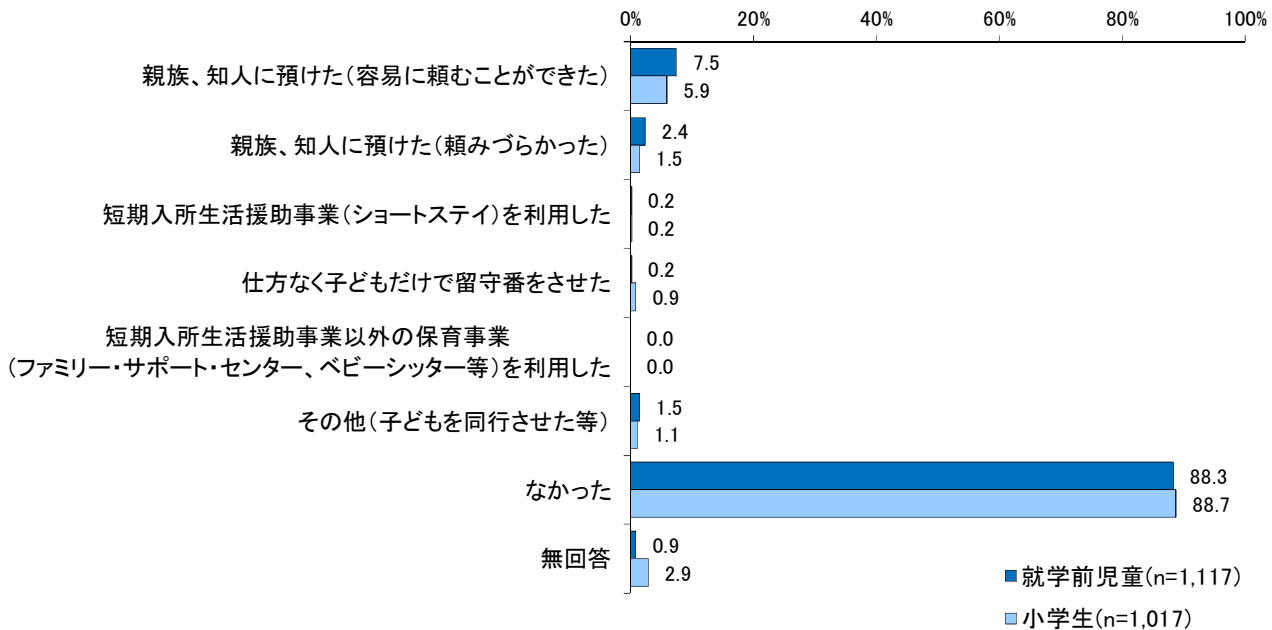
不定期に子どもを預ける事業の年間利用希望日数について、就学前児童では「不定期の就労で利用したい」の平均日数が29.9日、小学生では「私用（買い物、子ども（きょうだいを含む）や親の習い事等）やリフレッシュ目的で利用したい」の平均日数が12.1日と最も多くなっている。

(3) 家族以外に泊まりがけで子どもを預けた経験

問 19 就学前児童・問 18 小学生

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことがありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含む）。【○は当てはまるものすべて】

【家族以外に泊まりがけで子どもを預けた経験】



家族以外に泊まりがけで子どもを預けた経験について、「親族、知人に預けた（容易に頼むことができた）」と回答した割合が就学前児童で7.5%、小学生で5.9%となっている。

【家族以外に泊まりがけで子どもを預けた年間泊数（平均泊数）】

	就学前児童		小学生	
	回答数	平均(泊)	回答数	平均(泊)
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	2	291.6	2	6.4
短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した	-	-	-	-
親族、知人に預けた(容易に頼むことができた)	70	7.8	49	5.4
親族、知人に預けた(頼みづらかった)	20	5.1	11	2.7
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	-	-	4	2.0
その他(子どもを同行させた等)	16	3.0	8	2.6

家族以外に泊まりがけで子どもを預けた年間泊数について、「親族、知人に預けた（容易に頼むことができた）」の平均泊数が就学前児童で7.8泊、小学生で5.4泊となっている。

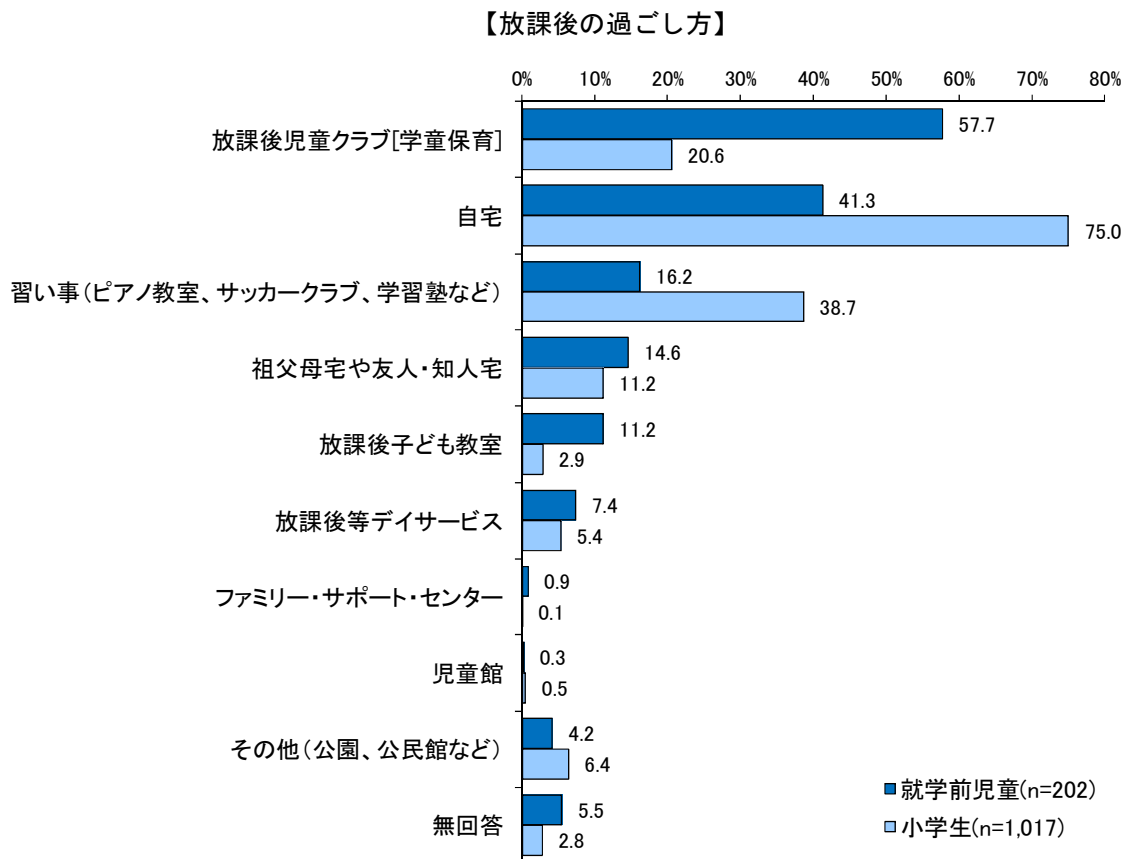
7 放課後の過ごし方

(1) 放課後の過ごし方

5歳以上の就学前児童と小学生のみ回答

問 20 就学前児童・問 12 小学生

あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか（過ごされていますか）。【○は当てはまるものすべて】



放課後の過ごし方について、「放課後児童クラブ [学童保育]」と回答した割合が就学前児童で57.7%、小学生で20.6%となっている。

また、「自宅」と回答した割合が就学前児童で41.3%、小学生で75.0%となっている。

【放課後に過ごしたい（過ごしている）場所の1週当たりの利用日数（平均日数）】

	就学前児童(5歳)		小学生	
	回答数	平均 (日)	回答数	平均 (日)
自宅	65	4.0	719	4.2
祖父母宅や友人・知人宅	24	2.8	112	3.2
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	33	2.0	391	2.3
児童館	1	5.0	5	2.3
放課後子ども教室	17	3.2	26	1.8
放課後児童クラブ[学童保育]	111	4.6	206	4.4
放課後等デイサービス	10	4.1	54	1.9
ファミリー・サポート・センター	2	5.0	1	5.0
その他(公園、公民館など)	8	1.5	63	2.4

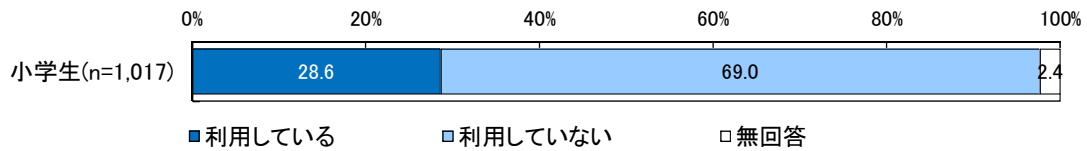
放課後に過ごしたい（過ごしている）場所の1週当たりの利用日数について、「放課後児童クラブ[学童保育]」の平均日数が就学前児童で4.6日、小学生で4.4日となっている。

(2) 放課後児童クラブの利用状況

問 13 小学生

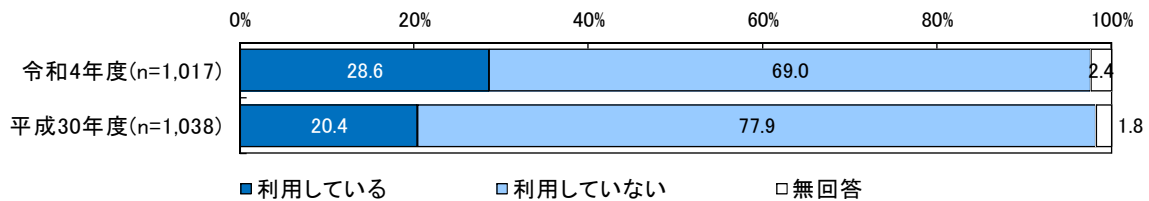
あて名のお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。【○は1つ】

【放課後児童クラブの利用状況】



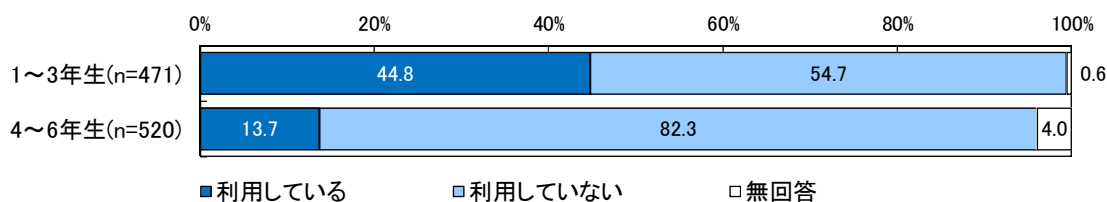
放課後児童クラブの利用状況について、「利用している」と回答した割合が 28.6%となっている。

【放課後児童クラブの利用状況（小学生・前回調査結果との比較）】



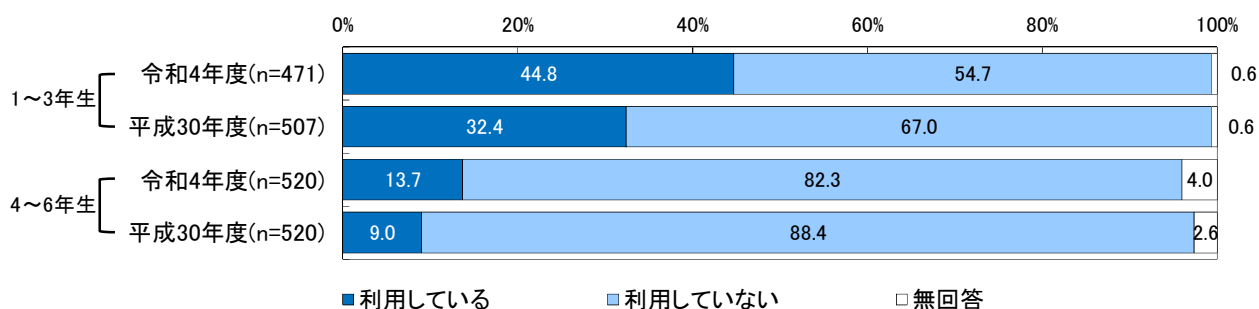
前回調査結果と比較すると、「利用している」と回答した割合は上昇している。

【放課後児童クラブの利用状況（小学生・学年別）】



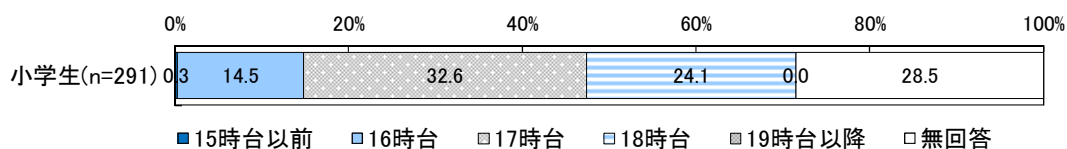
学年別にみると、「利用している」と回答した割合は1～3年生で44.8%、4～6年生で13.7%となっている。

【放課後児童クラブの利用状況（小学生・学年別（前回調査結果との比較））】



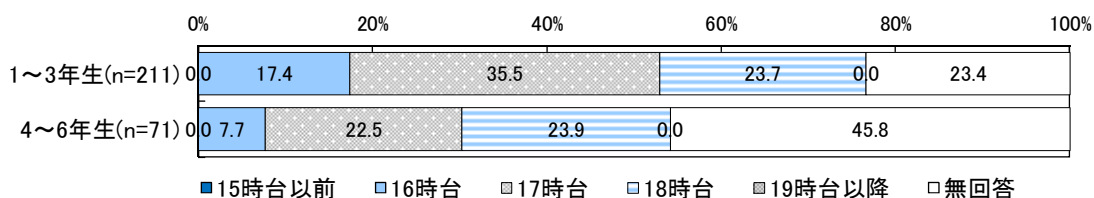
学年別について前回調査結果と比較すると、「利用している」と回答した割合はいずれの学年も上昇している。

【平日の放課後児童クラブの利用終了時間】



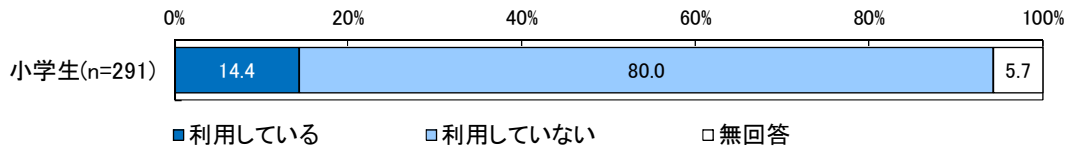
平日の放課後児童クラブの利用終了時間について、「17時台」と回答した割合が32.6%、「18時台」と回答した割合が24.1%となっている。

【平日の放課後児童クラブの利用終了時間（小学生・学年別）】



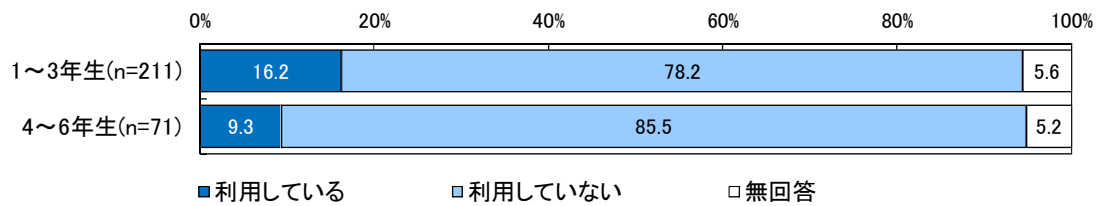
学年別にみると、「17時台」と回答した割合は1～3年生で35.5%となっている。

【放課後児童クラブの土曜日の利用状況】



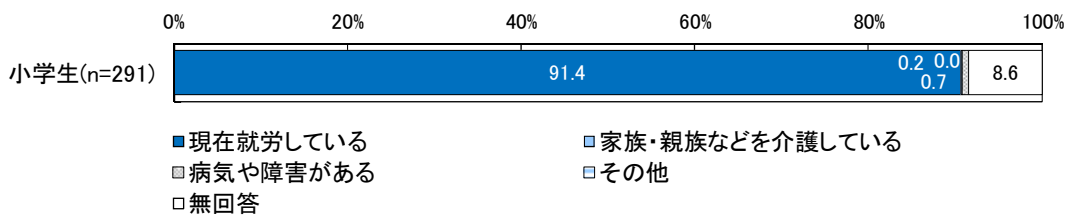
放課後児童クラブの土曜日の利用状況について、「利用している」と回答した割合が 14.4% となっている。

【放課後児童クラブの土曜日の利用状況（小学生・学年別）】



学年別にみると、「利用している」と回答した割合は 1～3 年生で 16.2%、4～6 年生で 9.3% となっている。

【放課後児童クラブを利用している理由】



放課後児童クラブを利用している理由について、「現在就労している」と回答した割合が 91.4%と最も高くなっている。

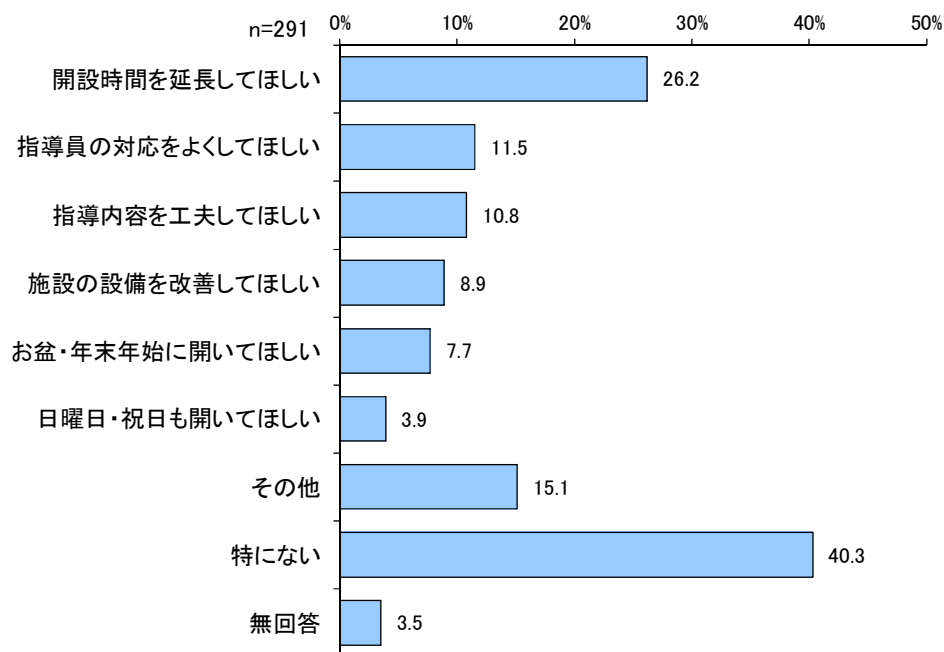
(3) 放課後児童クラブに対する要望

問 13-2 小学生

現在通っている放課後児童クラブに対してどのような要望がありますか。

【○は当てはまるものすべて】

【現在通っている放課後児童クラブに対する要望】



現在通っている放課後児童クラブに対する要望について、「開設時間を延長してほしい」と回答した割合が 26.2%と最も高く、次いで「指導員の対応をよくしてほしい」(11.5%)、「指導内容を工夫してほしい」(10.8%)が続いている。

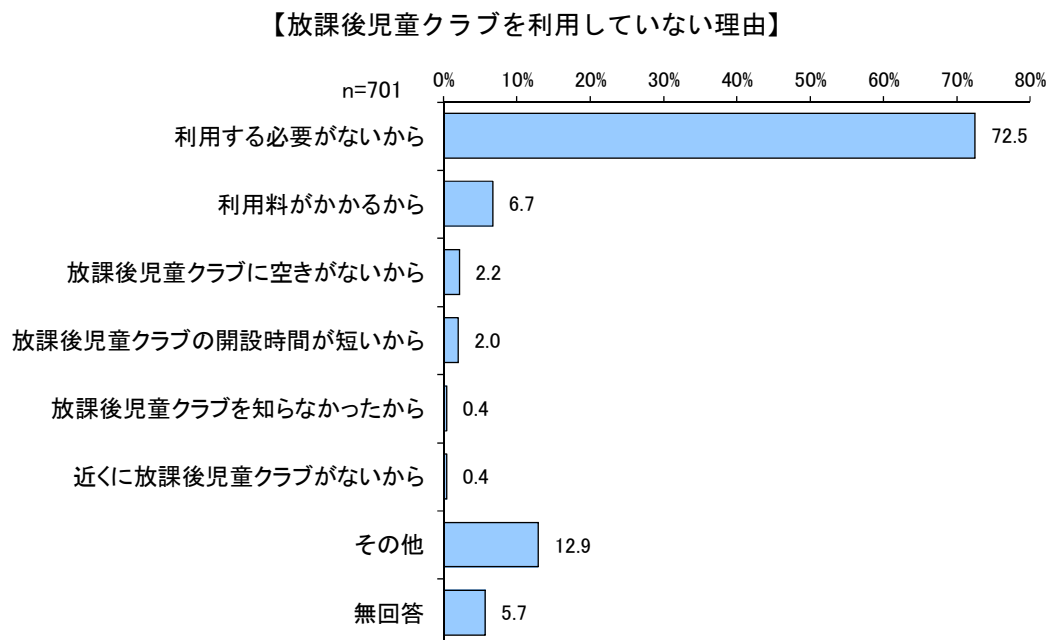
また、「特にない」と回答した割合が 40.3%となっている。

(4) 放課後児童クラブを利用していない理由

問 13 で「2 利用していない」と回答した人のみ回答

問 13-3 小学生

放課後児童クラブを利用していないのはなぜですか。【○は主な理由 1 つ】



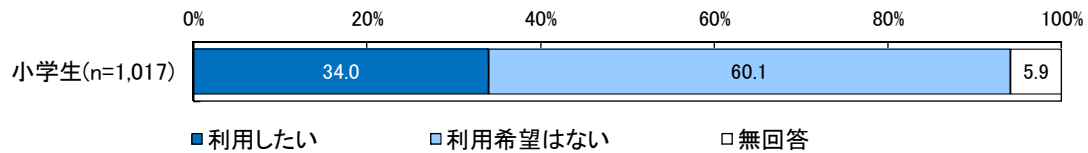
放課後児童クラブを利用していない理由について、「利用する必要がないから」と回答した割合が 72.5%と最も高くなっている。

(5) 今後の放課後児童クラブの利用希望

問 14 小学生

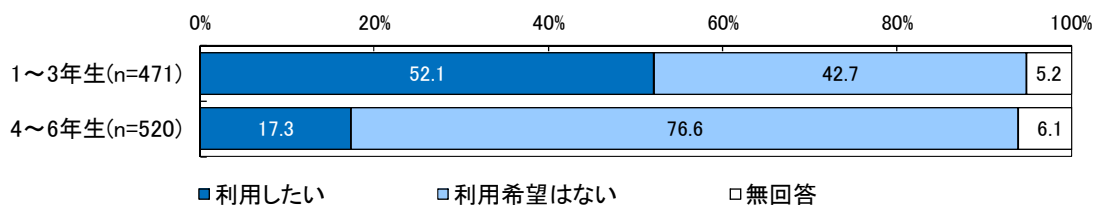
あて名のお子さんは、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。【〇は1つ】

【放課後児童クラブの利用希望】



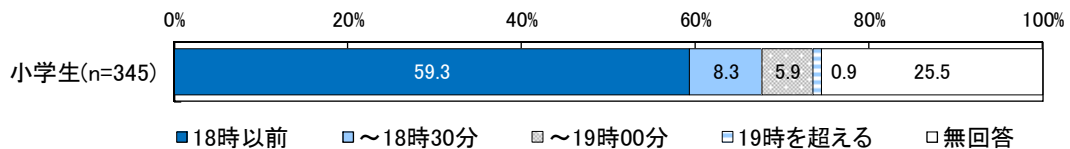
放課後児童クラブの利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 34.0%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望（小学生・学年別）】



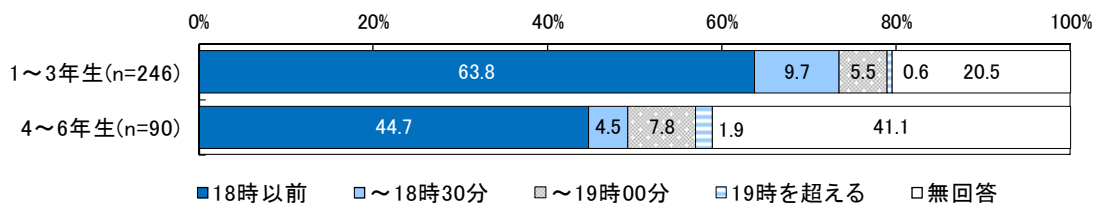
学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は1～3年生で52.1%、4～6年生で17.3%となっている。

【平日の放課後児童クラブの利用希望終了時間】



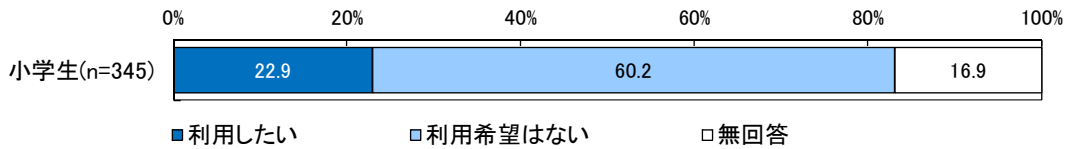
平日の放課後児童クラブの利用希望終了時間について、「18時以前」と回答した割合が59.3%、「～18時30分」と回答した割合が8.3%、「～19時00分」と回答した割合が5.9%となっている。

【平日の放課後児童クラブの利用希望終了時間（小学生・学年別）】



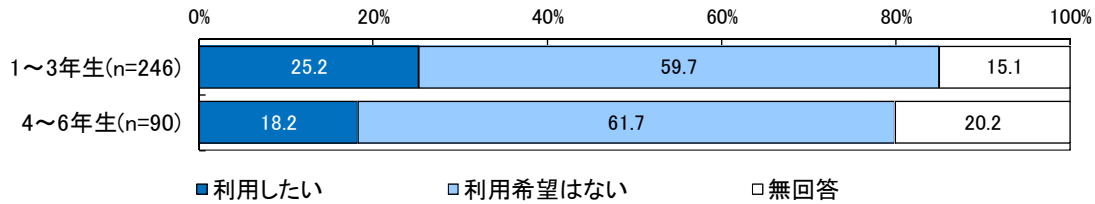
学年別にみると、「～19時00分」と回答した割合は1～3年生で5.5%、4～6年生で7.8%となっている。

【放課後児童クラブの土曜日の利用希望】



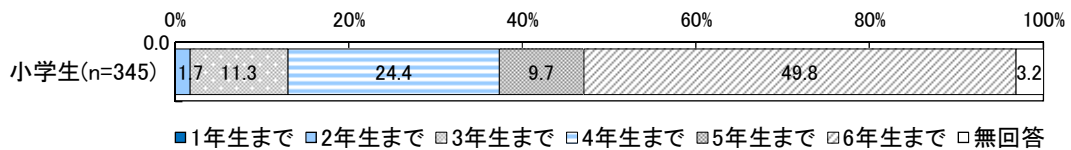
放課後児童クラブの土曜日の利用希望について、「利用したい」と回答した割合が 22.9%となっている。

【放課後児童クラブの土曜日の利用希望（小学生・学年別）】



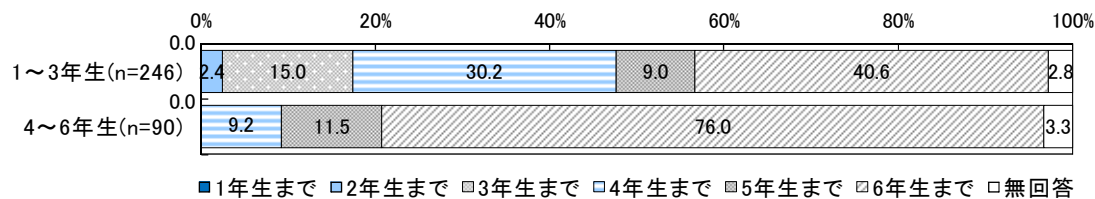
学年別にみると、「利用したい」と回答した割合は1～3年生で25.2%、4～6年生で18.2%となっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年】



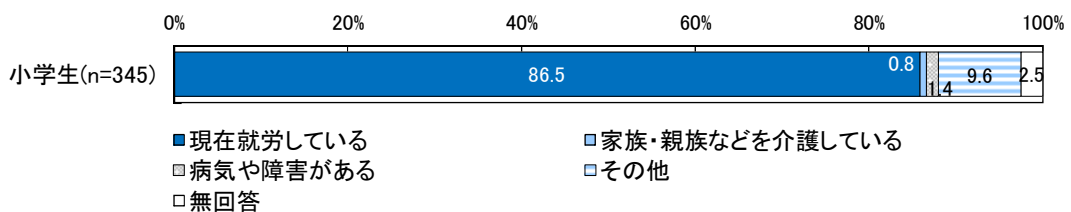
放課後児童クラブの利用希望終了学年について、「6年生まで」と回答した割合が 49.8%と最も高くなっている。

【放課後児童クラブの利用希望終了学年（小学生・学年別）】



学年別にみると、「6年生まで」と回答した割合は4～6年生で76.0%となっている。

【放課後児童クラブの利用を希望する理由】



放課後児童クラブの利用を希望する理由について、「現在就労している」と回答した割合が 86.5%と最も高くなっている。

8 育児休業

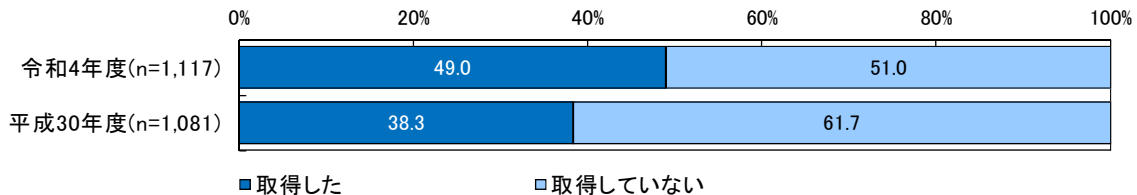
(1) 育児休業取得状況

あて名の子が生まれた時、育児休業や育児休暇を取得した人または取得中である人のみ回答

問 21 就学前児童

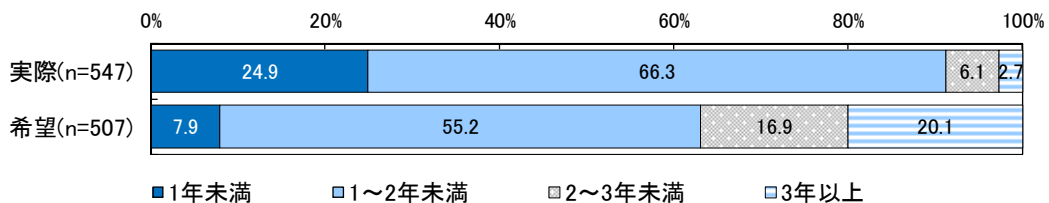
育児休業の実際の期間と希望の期間を記入してください。【数字を記入】

【育児休業の取得状況（母親）（前回調査結果との比較）】



母親の育児休業の取得状況について、「取得した」に該当する割合は上昇している。

【育児休業の取得期間（母親）】

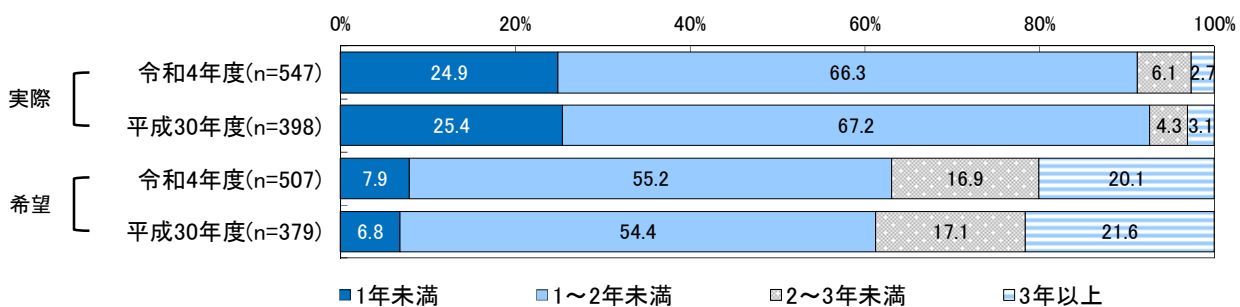


※無回答を除いた集計

母親の育児休業の取得期間について、実際の取得期間では「1～2年未満」と回答した割合が66.3%と最も高くなっているが、「1年未満」と回答した割合も24.9%となっている。

希望の取得期間では、『2年以上』と回答した割合が37.0%となっている。

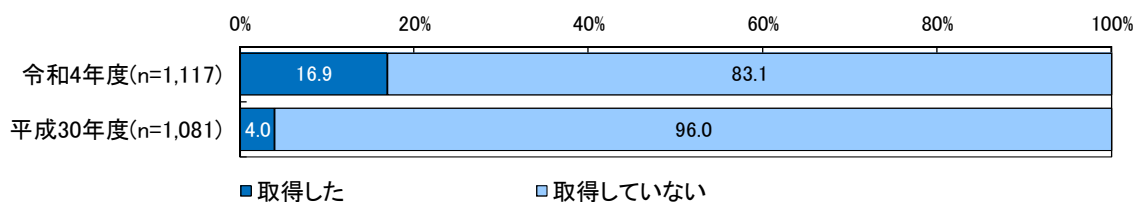
【育児休業の取得期間（母親）（就学前児童・前回調査結果との比較）】



※無回答を除いた集計

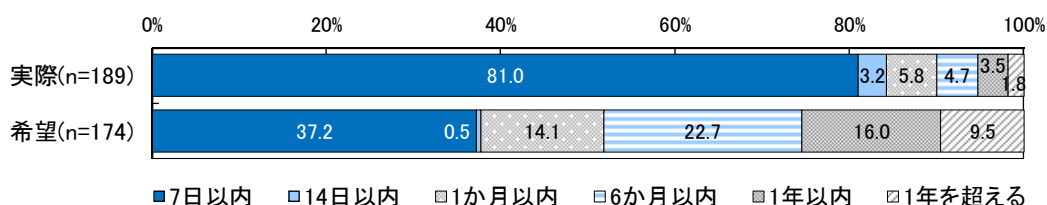
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

【育児休業の取得状況（父親）（前回調査結果との比較）】



父親の育児休業の取得状況について、「取得した」に該当する割合は上昇している。

【育児休業の取得期間（父親）】

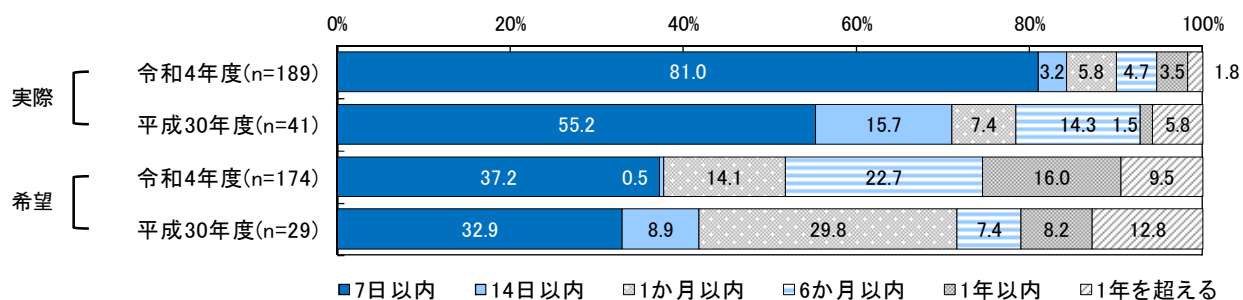


※無回答を除いた集計

父親の育児休業の取得期間について、実際の取得期間では「7日以内」と回答した割合が81.0%と最も高くなっている。

希望の取得期間では、「6か月以内」、「1年以内」等、実際の取得期間よりも長い期間の割合が高くなっている。

【育児休業の取得期間（父親）（就学前児童・前回調査結果との比較）】



※無回答を除いた集計

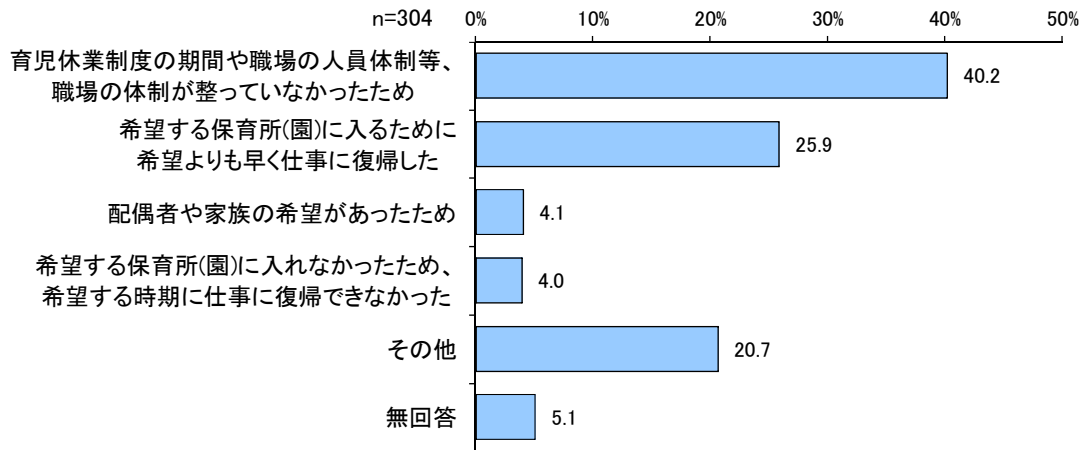
前回調査結果と比較すると、実際の取得期間が「7日以内」と回答した割合は上昇している。

問 21 で育児休業の実際の期間と希望の期間が異なる人のみ回答

問 21-1 就学前児童

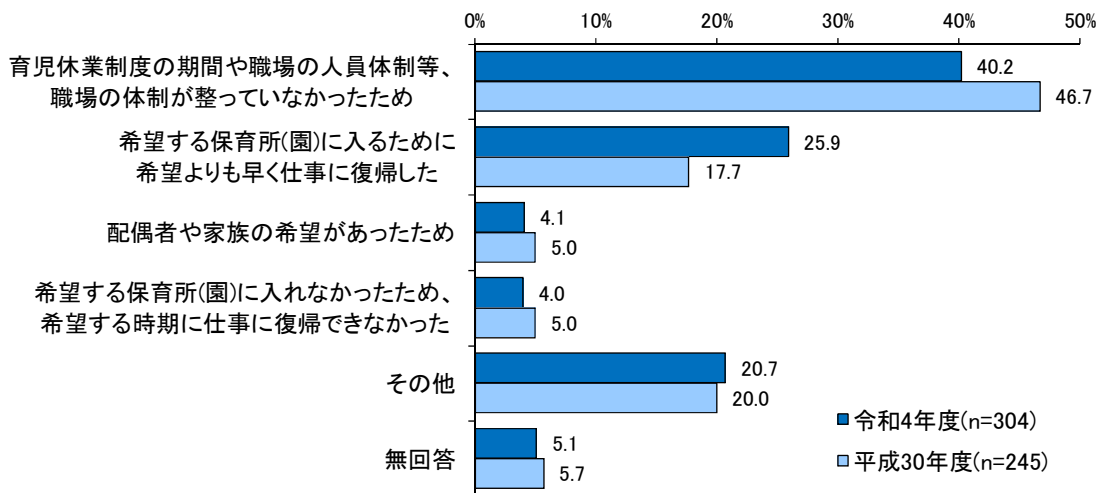
希望の期間を取得できなかったのはどのような理由ですか。【〇は1つ】

【希望の期間を取得できなかった理由】



希望の期間を取得できなかった理由について、「育児休業制度の期間や職場の人員体制等、職場の体制が整っていなかったため」と回答した割合が40.2%と最も高く、次いで「希望する保育所(園)に入るために希望よりも早く仕事に復帰した」(25.9%)となっている。

【希望の期間を取得できなかった理由 (就学前児童・前回調査結果との比較)】



前回調査結果と比較すると、「希望する保育所(園)に入るために希望よりも早く仕事に復帰した」と回答した割合が上昇している。

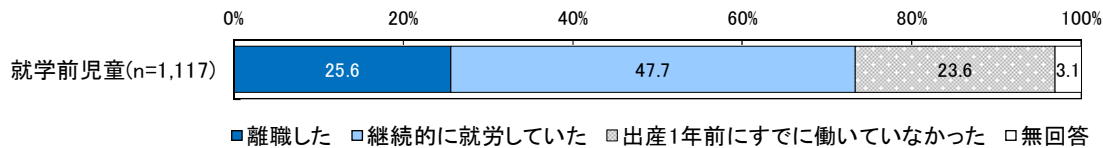
9 仕事と子育ての両立

(1) 出産前後の離職状況

問 22 就学前児童

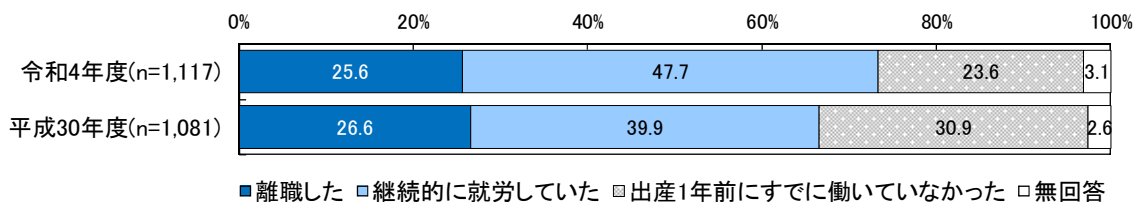
お母さんは、あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。
【〇は1つ】

【母親の出産前後の離職状況】



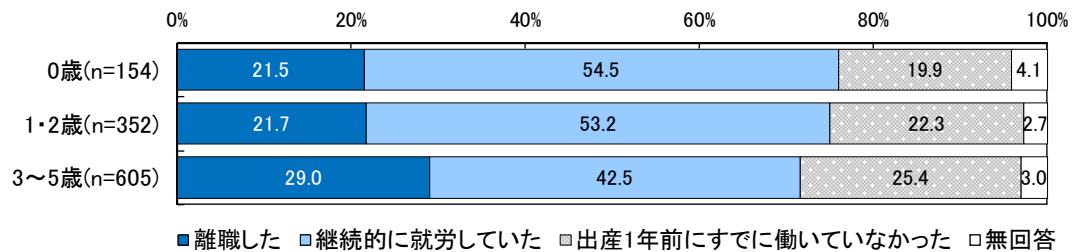
母親の出産前後の離職状況について、「離職した」と回答した割合が25.6%となっている。

【母親の出産前後の離職状況（就学前児童・前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、「継続的に就労していた」と回答した割合は上昇している。

【母親の出産前後の離職状況（就学前児童・年齢別）】



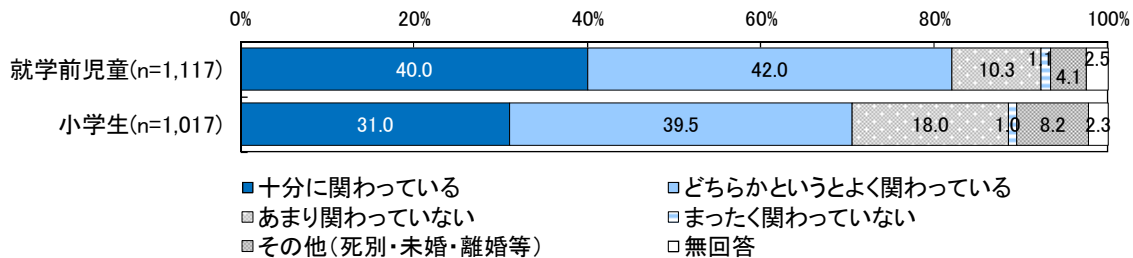
年齢別にみると、「継続的に就労していた」と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

(2) 両親の育児への関わり方

問 23 就学前児童・問 19 小学生

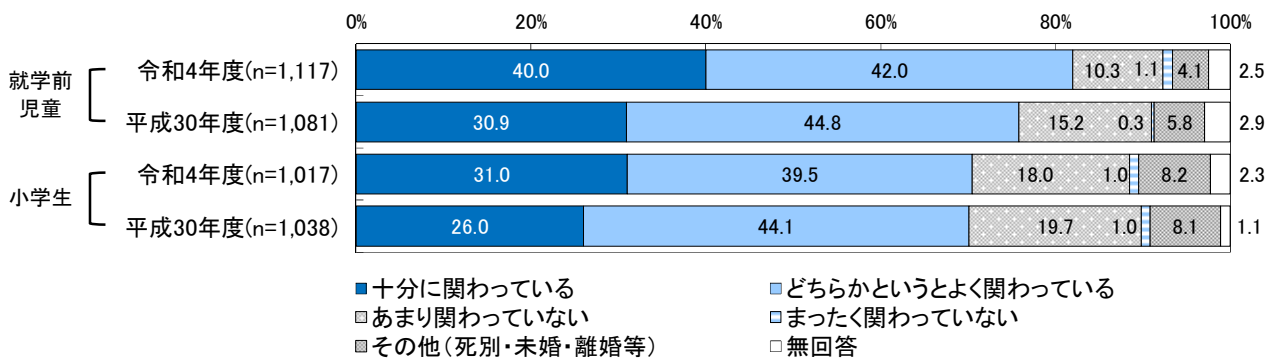
現在、お子さんのご両親の育児への関わり方は十分だと思いますか。【〇は1つ】

【父親の育児への関わりの程度】



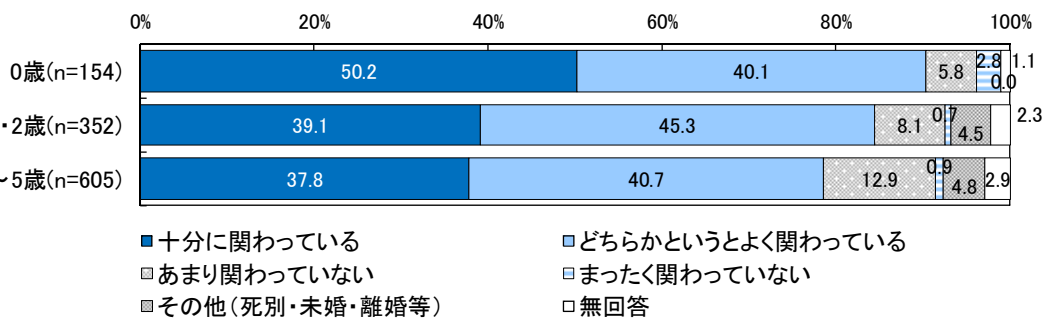
父親の育児への関わりの程度について、『関わっている』（「十分に関わっている」＋「どちらかというよく関わっている」）と回答した割合が就学前児童で82.0%、小学生で70.5%となっている。

【父親の育児への関わりの程度（前回調査結果との比較）】



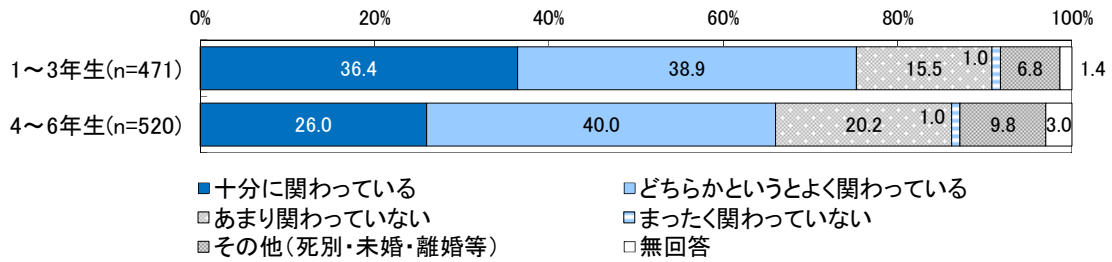
前回調査結果と比較すると、「十分に関わっている」と回答した割合は就学前児童、小学生ともに上昇している。

【父親の育児への関わりの程度（就学前児童・年齢別）】



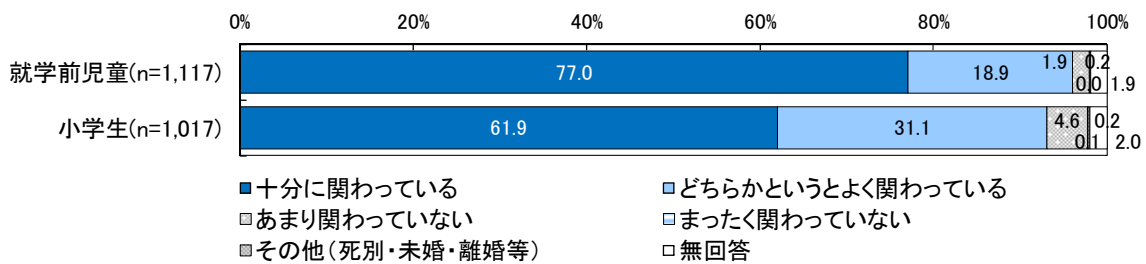
年齢別にみると、『関わっている』と回答した割合は0歳で高くなっている。

【父親の育児への関わり方の程度（小学生・学年別）】



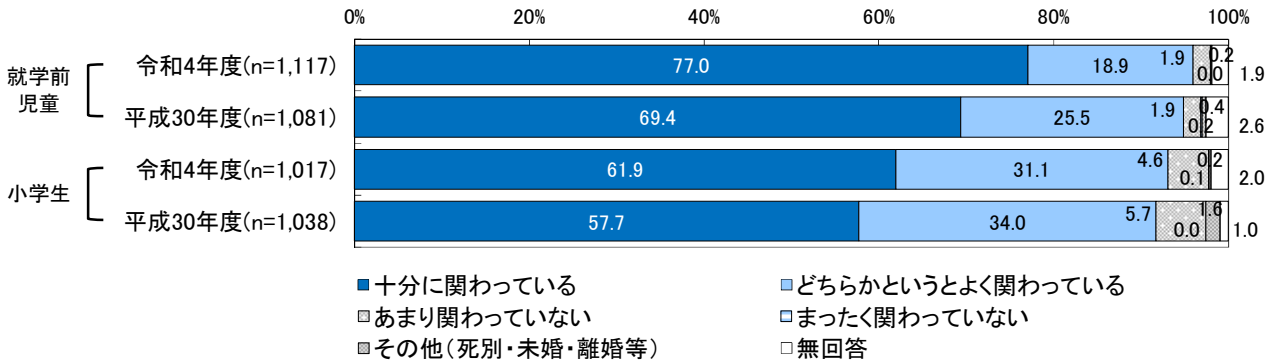
学年別にみると、『関わっている』と回答した割合は1～3年生で高くなっている。

【母親の育児への関わり方の程度】



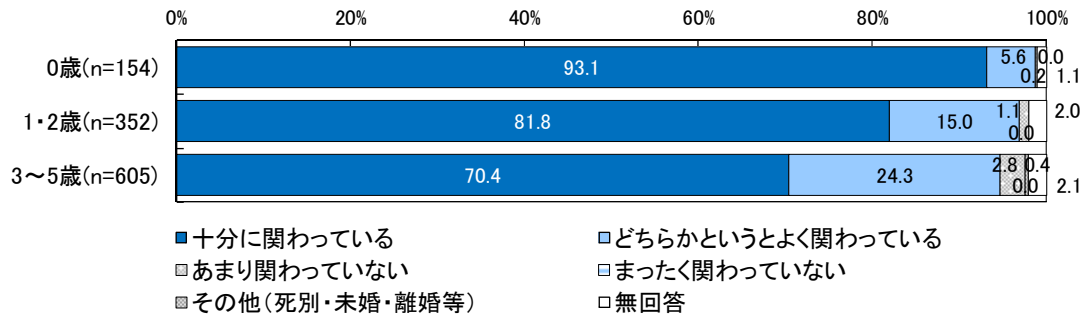
母親の育児への関わり方の程度について、『関わっている』と回答した割合が就学前児童で95.9%、小学生で93.0%となっている。

【母親の育児への関わり方の程度（前回調査結果との比較）】



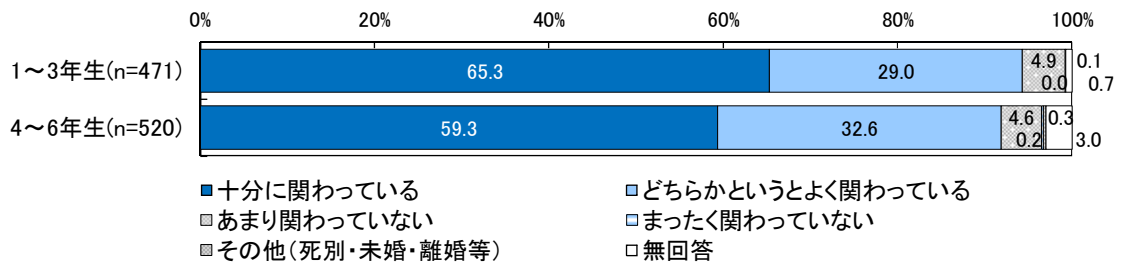
前回調査結果と比較すると、「十分に関わっている」と回答した割合は就学前児童、小学生ともに上昇している。

【母親の育児への関わりの程度（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、年齢が高くなるほど「十分に関わっている」と回答した割合は低くなっている。

【母親の育児への関わりの程度（小学生・学年別）】



学年別にみると、「十分に関わっている」と回答した割合は1～3年生で高くなっている。

10 子育て支援センター

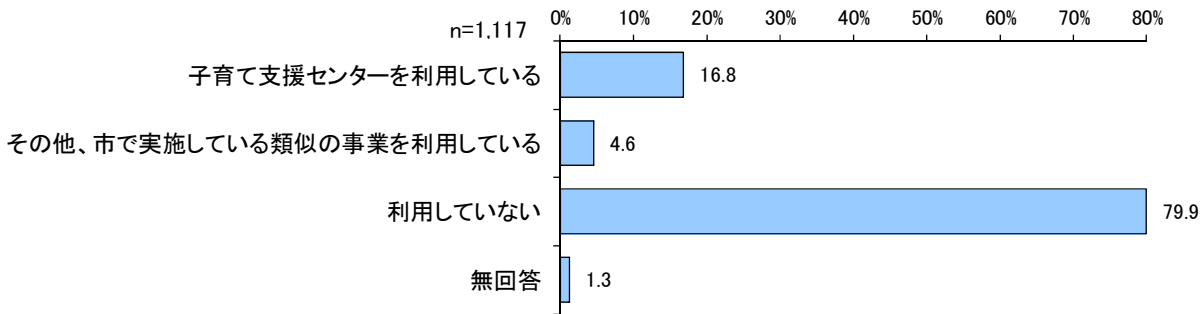
(1) 子育て支援センター等の利用状況

問 24 就学前児童

あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。

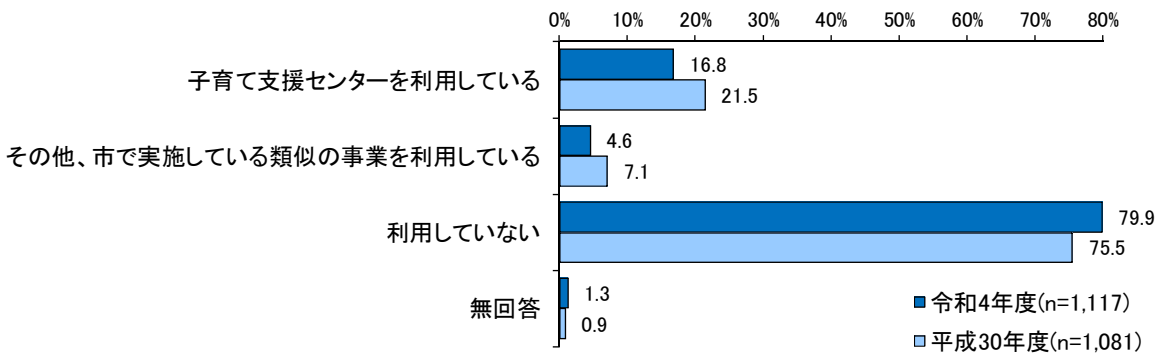
【○は当てはまるものすべて】

【子育て支援センターの利用状況】



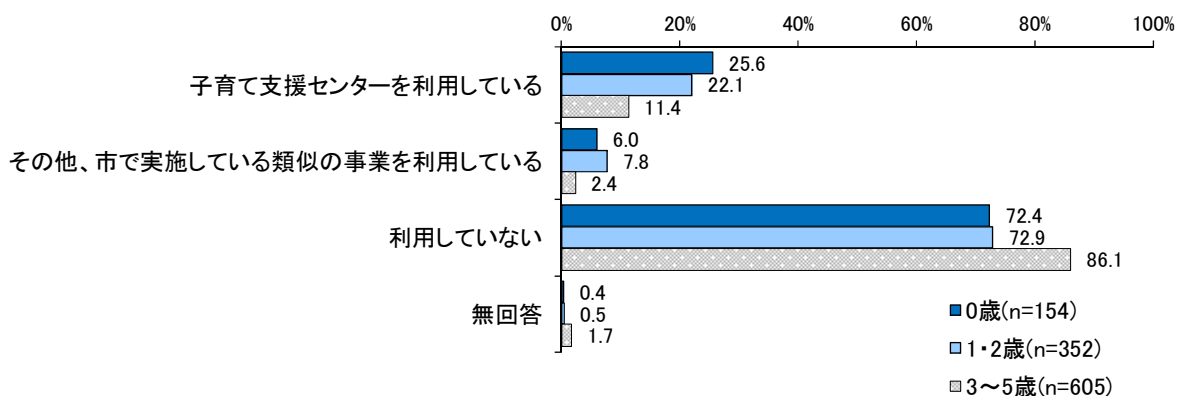
子育て支援センターの利用状況について、「子育て支援センターを利用している」と回答した割合が16.8%、「その他、市で実施している類似の事業を利用している」と回答した割合が4.6%となっている。

【子育て支援センターの利用状況（就学前児童・前回調査結果との比較）】



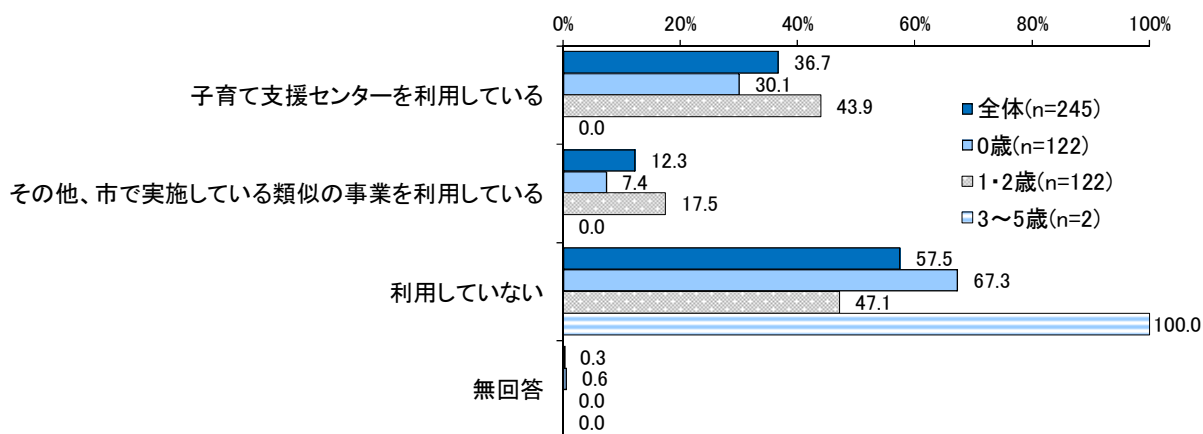
前回調査結果と比較すると、「子育て支援センターを利用している」と回答した割合は低下している。

【子育て支援センターの利用状況（就学前児童・年齢別）】



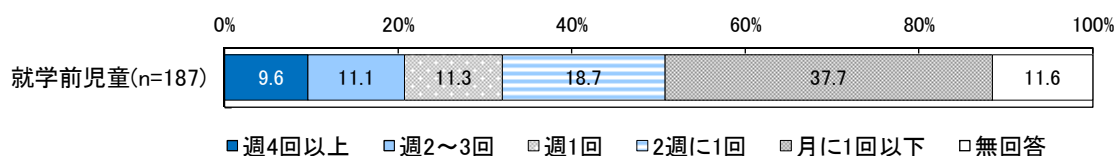
年齢別にみると、「子育て支援センターを利用している」と回答した割合は0歳で25.6%、1・2歳で22.1%となっている。

【子育て支援センターの利用状況（就学前児童（定期的な教育・保育事業を利用していない子ども）・年齢別）】



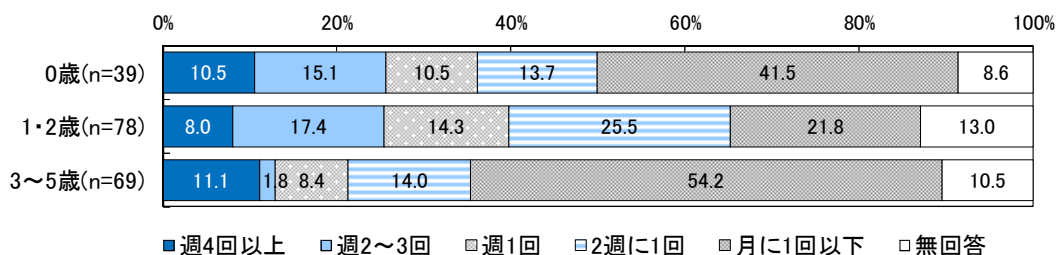
定期的な教育・保育事業を利用していない子どものみを年齢別にみると、「子育て支援センターを利用している」と回答した割合は全体で36.7%、0歳で30.1%、1・2歳で43.9%となっている。

【子育て支援センターの利用回数】



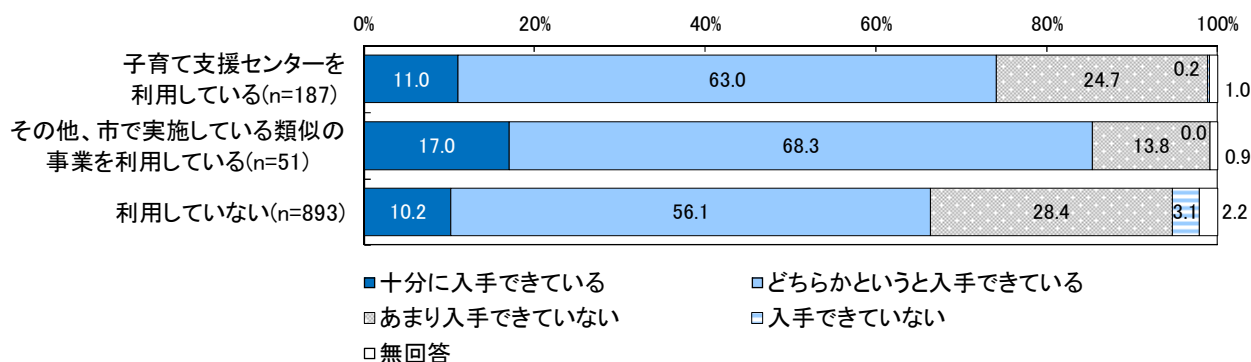
子育て支援センターの利用回数について、『週1回以上』と回答した割合が32.0%となっている。

【子育て支援センターの利用回数（就学前児童・年齢別）】



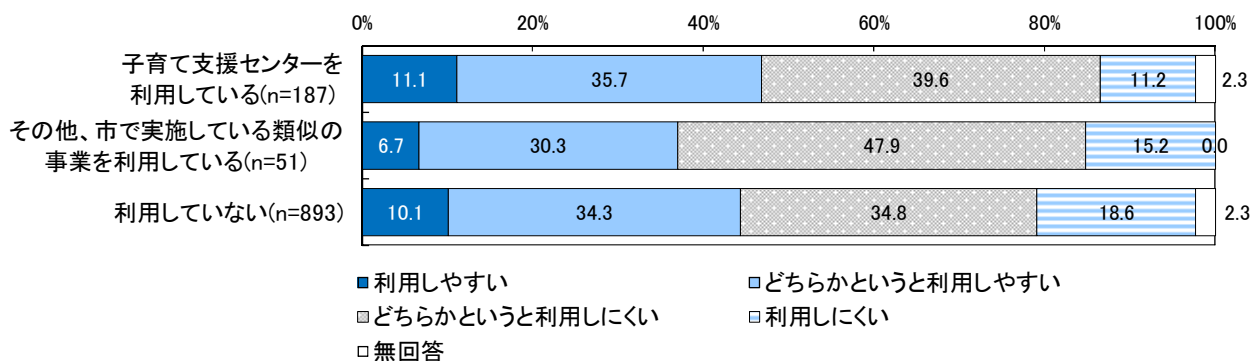
年齢別にみると、『週1回以上』と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

【子育てに関する情報の入手状況（就学前児童・子育て支援センターの利用状況別）】



子育てに関する情報の入手状況について、子育て支援センターの利用状況別にみると、利用している層では子育てに関する情報を『入手できている』と回答した割合は74.0%となっている。

【公的な相談窓口の利便性（就学前児童・子育て支援センターの利用状況別）】



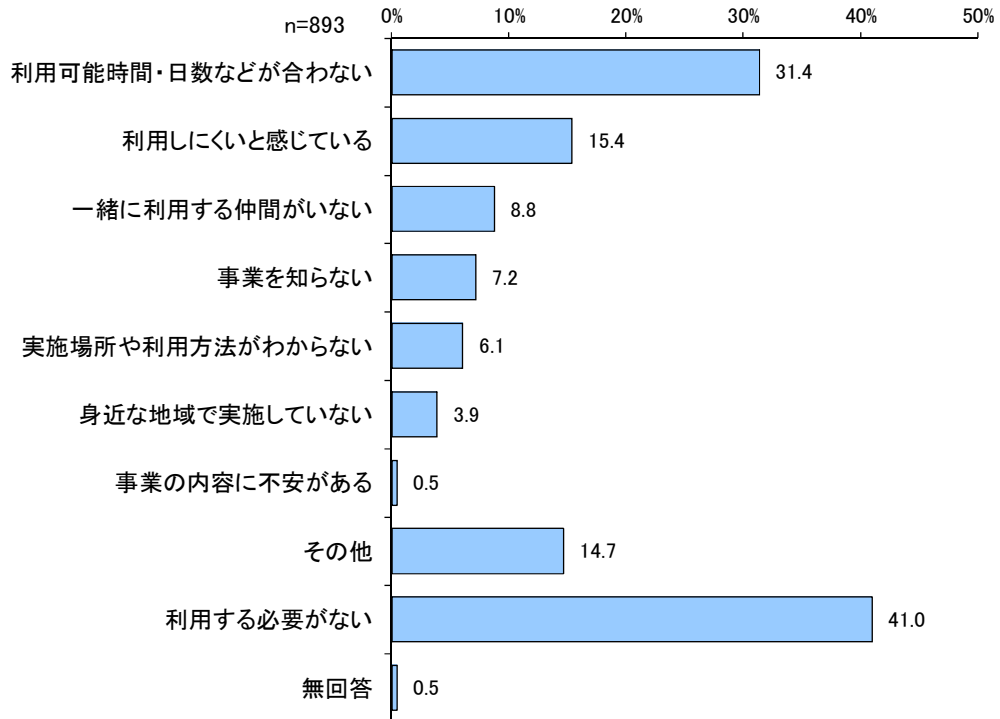
公的な相談窓口の利便性について、子育て支援センターの利用状況別にみると、利用している層では公的な相談窓口を『利用しやすい』と回答した割合は46.8%となっている。

問 24 で「3 利用していない」と回答した人のみ回答

問 24-1 就学前児童

現在利用していない理由を回答してください。【〇は当てはまるものすべて】

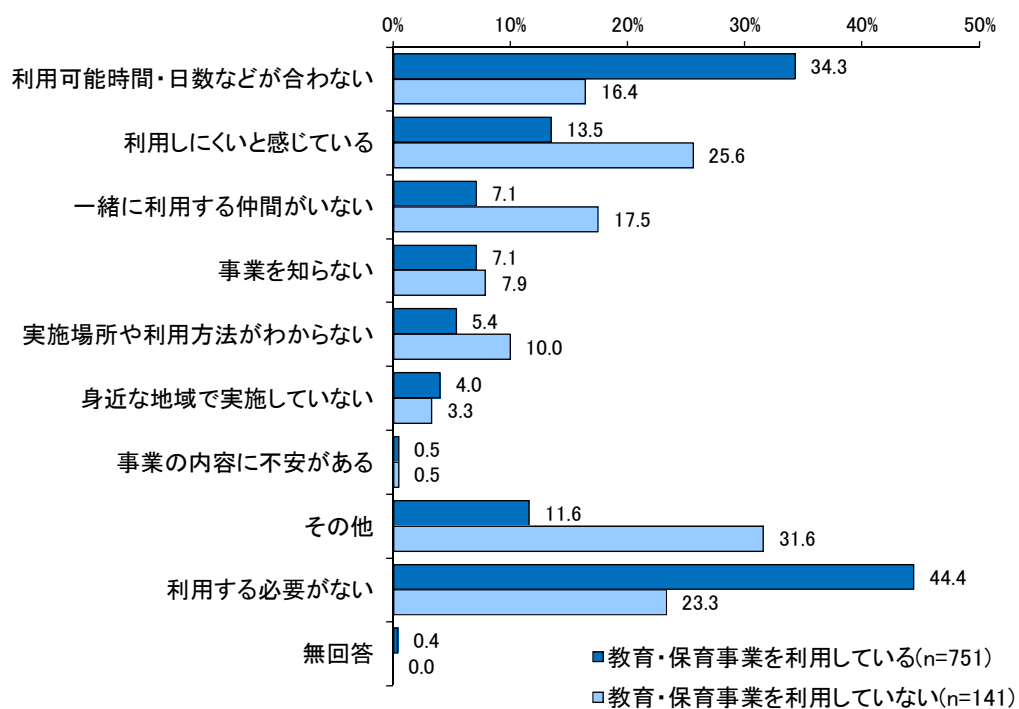
【子育て支援センターを利用していない理由】



子育て支援センターを利用していない理由について、「利用可能時間・日数などが合わない」と回答した割合が 31.4%と最も高く、次いで「利用しにくいと感じている」(15.4%)となっている。

また、「利用する必要がある」と回答した割合が 41.0%となっている。

【子育て支援センターを利用していない理由（就学前児童・教育・保育事業の利用状況別）】



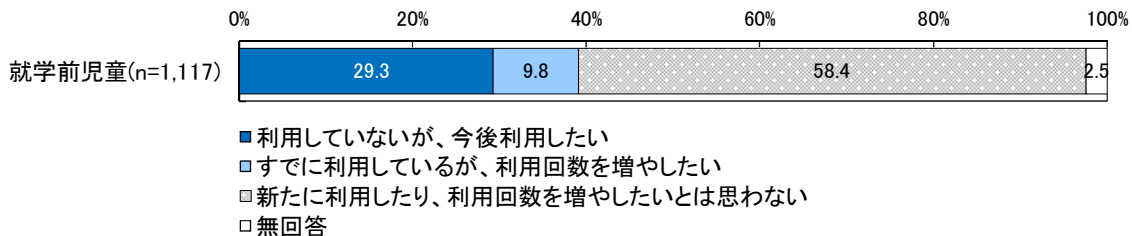
教育・保育事業の利用状況別にみると、教育・保育事業を利用している層では「利用可能時間・日数などが合わない」、教育・保育事業を利用していない層では「利用しにくいと感じている」と回答した割合が高くなっている。

(2) 今後の子育て支援センターの利用希望

問 25 就学前児童

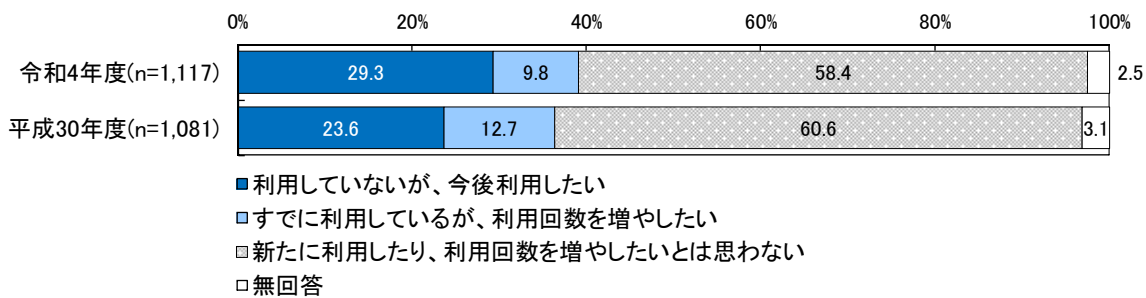
問 24 のような地域子育て支援拠点事業を、今後利用したり、利用回数を増やしたいと思いますか。【○は1つ】

【子育て支援センターの利用希望】



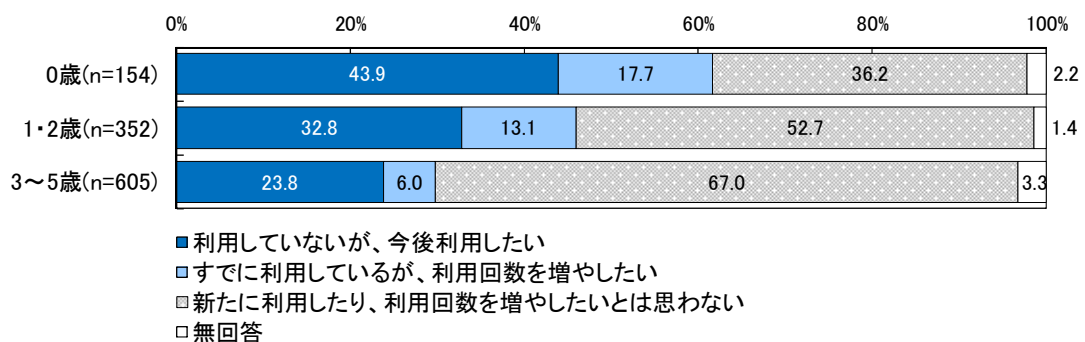
子育て支援センターの利用希望について、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合が 29.3%、「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合が 9.8%となっている。

【子育て支援センターの利用希望（就学前児童・前回調査結果との比較）】



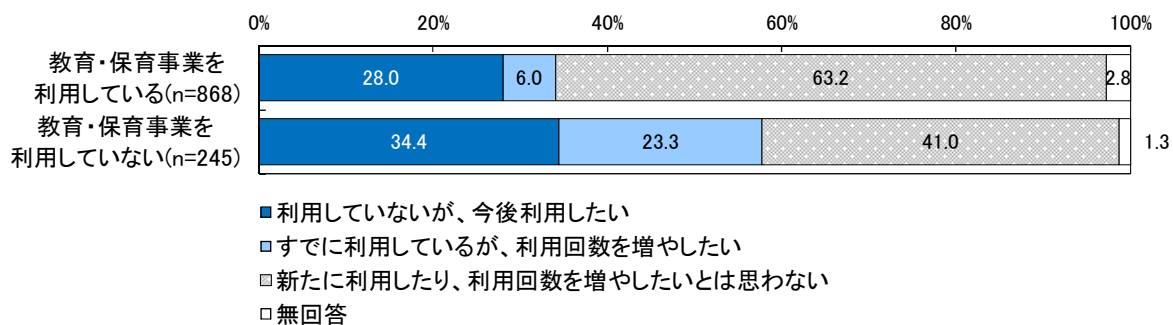
前回調査結果と比較すると、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合が上昇している。

【子育て支援センターの利用希望（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「利用していないが、今後利用したい」と回答した割合は0歳で高くなっている。

【子育て支援センターの利用希望（就学前児童・教育・保育事業の利用状況別）】



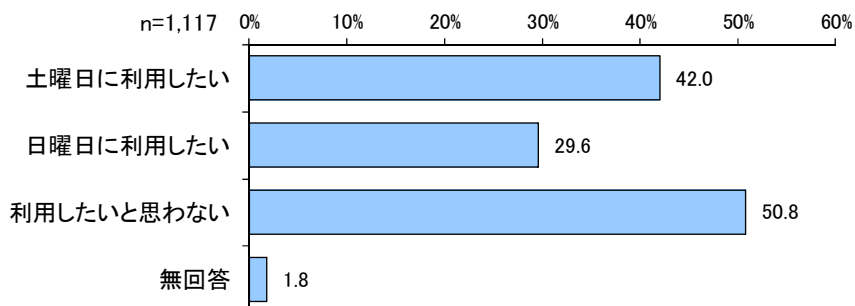
教育・保育事業の利用状況別にみると、教育・保育事業を利用していない層では「すでに利用しているが、利用回数を増やしたい」と回答した割合が高くなっている。

問26 就学前児童

地域子育て支援拠点事業を、土・日曜日に利用したいと思いますか。

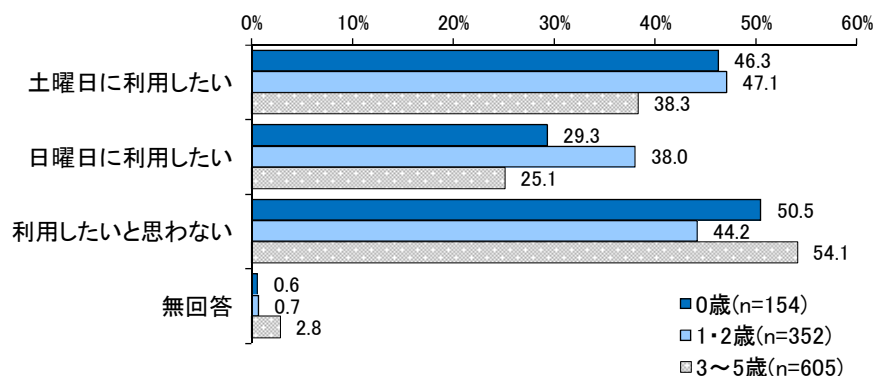
【〇は当てはまるものすべて】

【子育て支援センターの土・日曜日の利用希望】



子育て支援センターの土・日曜日の利用希望について、「土曜日に利用したい」と回答した割合が42.0%、「日曜日に利用したい」と回答した割合が29.6%となっている。

【子育て支援センターの土・日曜日の利用希望（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「土曜日に利用したい」と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

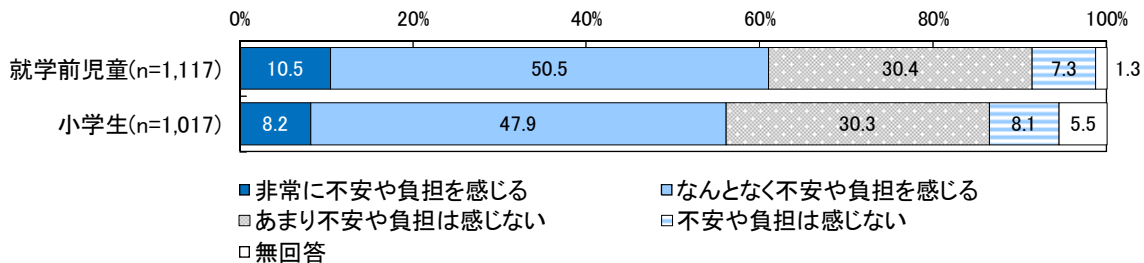
11 子育て全般

(1) 子育てに関する不安や負担の程度

問 27 就学前児童・問 20 小学生

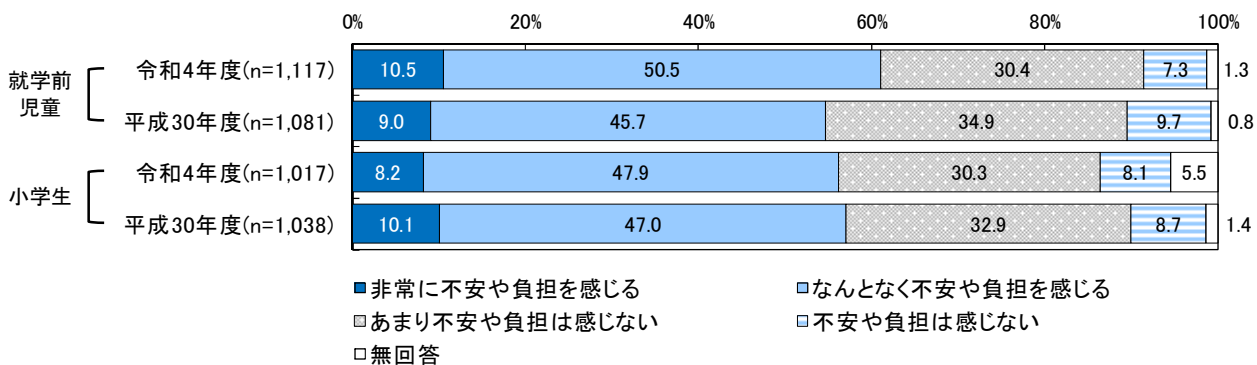
子育てに関して不安や負担を感じるがありますか。【○は1つ】

【子育てに関する不安や負担の程度】



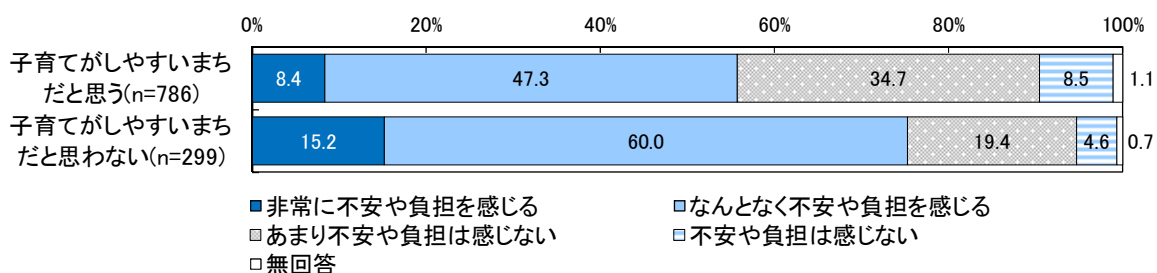
子育てに関する不安や負担の程度について、『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」＋「なんとなく不安や負担を感じる」）と回答した割合が就学前児童で 61.0%、小学生で 56.1%、『不安や負担は感じない』（「不安や負担は感じない」＋「あまり不安や負担は感じない」）と回答した割合が就学前児童で 37.7%、小学生で 38.4%となっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（前回調査結果との比較）】

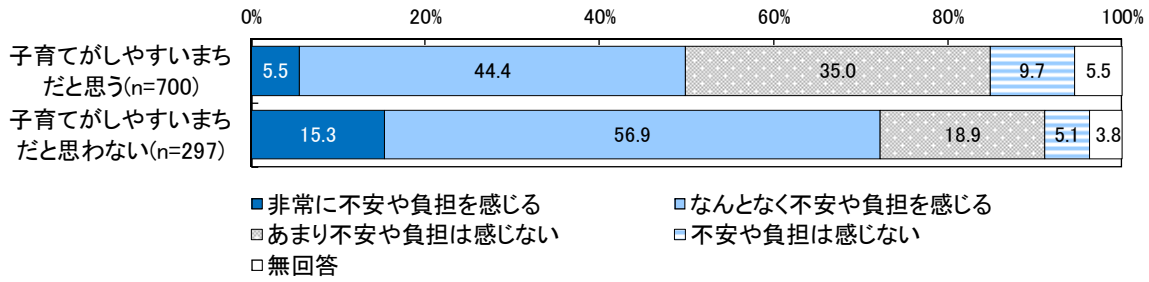


前回調査結果と比較すると、『不安や負担を感じる』と回答した割合は就学前児童で上昇している。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

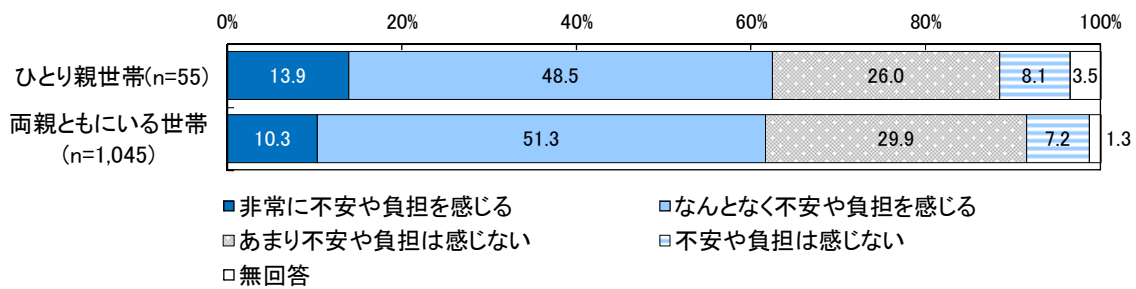


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

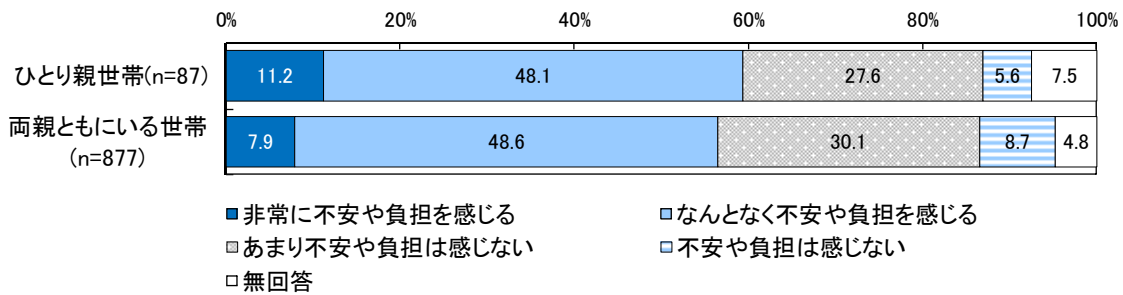


尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童、小学生ともに『不安や負担を感じる』と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思う層で高くなっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・世帯状況別）】

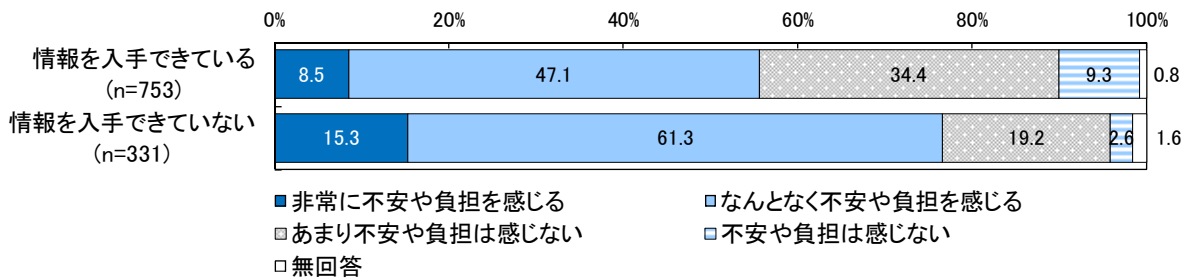


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・世帯状況別）】

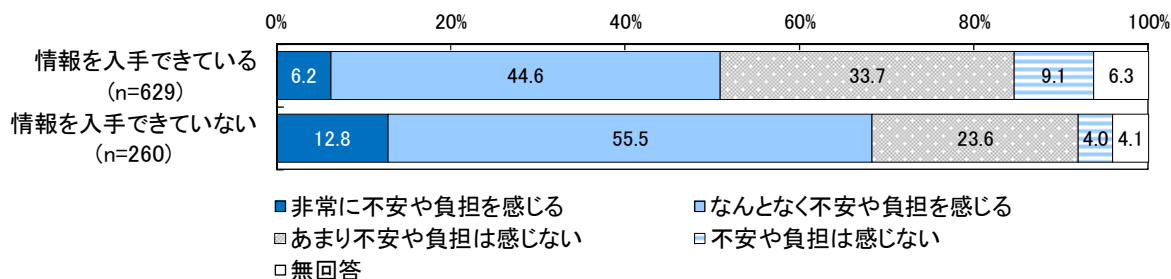


世帯状況別にみると、就学前児童、小学生ともに大きな差はみられない。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・子育てに関する情報の入手状況別）】

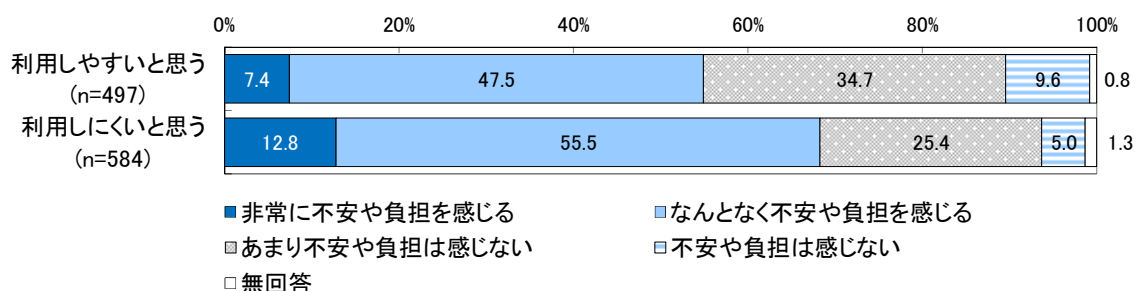


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・子育てに関する情報の入手状況別）】

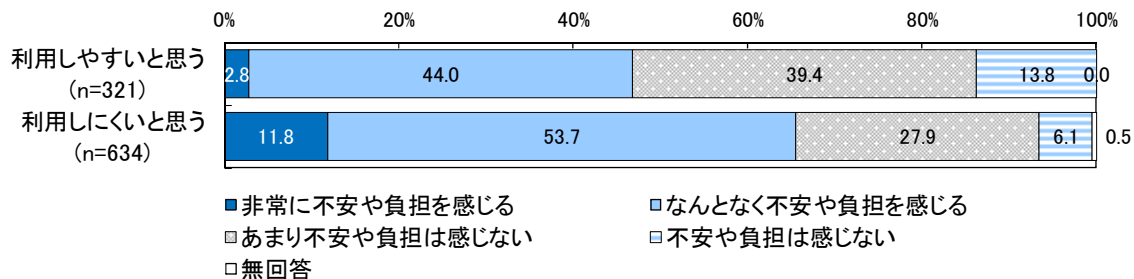


子育てに関する情報の入手状況別にみると、就学前児童、小学生ともに『不安や負担を感じる』と回答した割合は情報を入手できていない層で高くなっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・公的な相談窓口の評価別）】

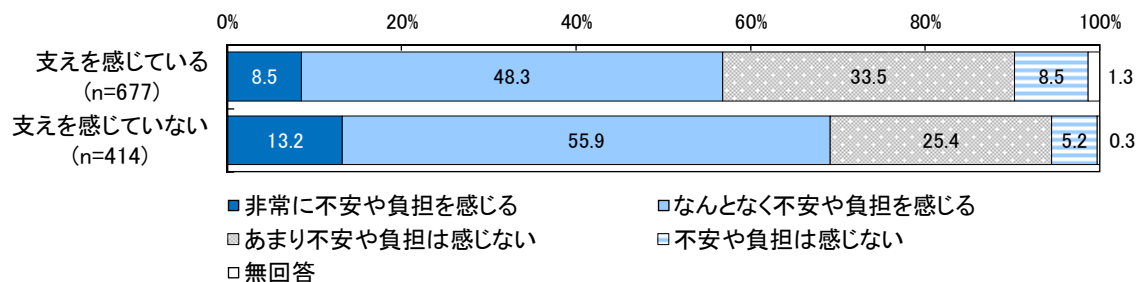


【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・公的な相談窓口の評価別）】

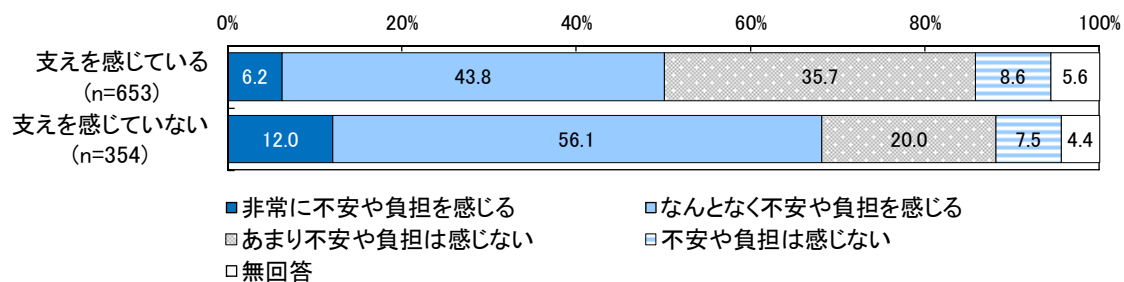


公的な相談窓口の評価別にみると、就学前児童、小学生ともに『不安や負担を感じる』と回答した割合は利用しにくいと思う層で高くなっている。

【子育てに関する不安や負担の程度（就学前児童・地域の人々や社会全体の支えの感じ方別）】



【子育てに関する不安や負担の程度（小学生・地域の人々や社会全体の支えの感じ方別）】



地域の人々や社会全体の支えの感じ方別にみると、就学前児童、小学生ともに『不安や負担を感じる』と回答した割合は支えを感じていない層で高くなっている。

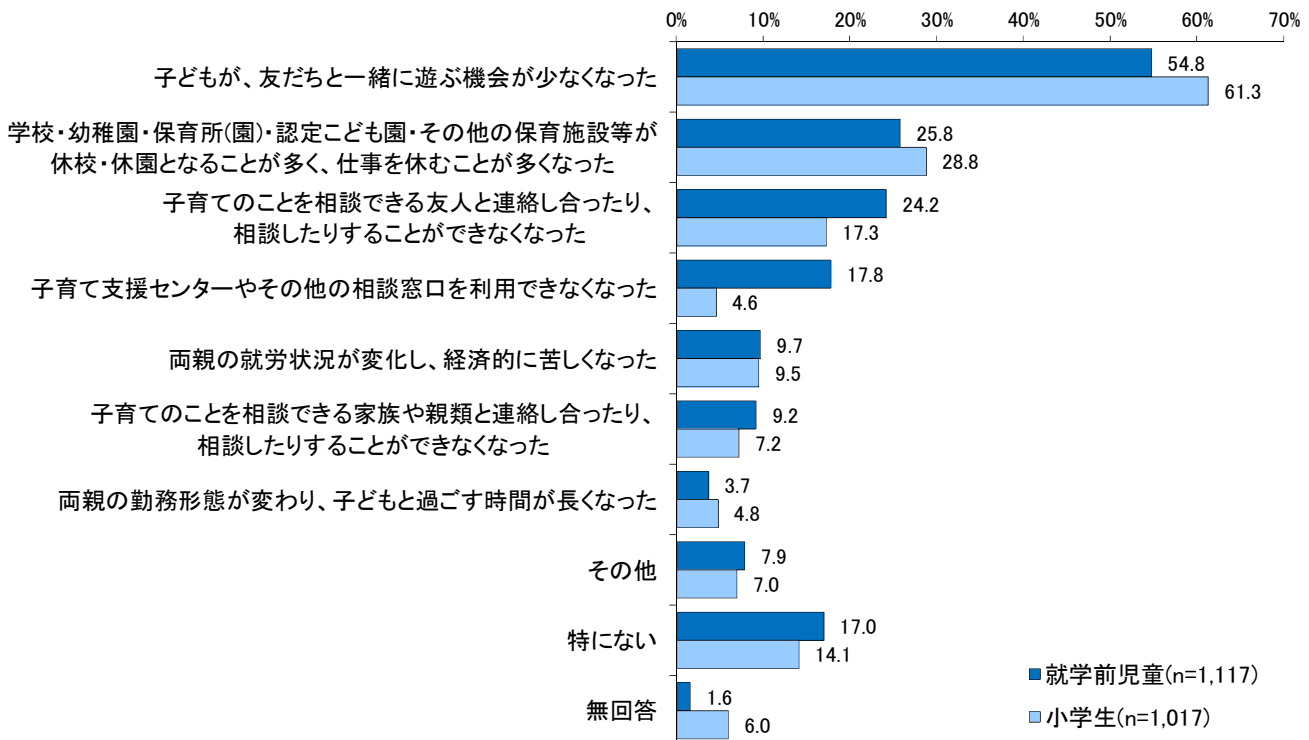
(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化

問 28 就学前児童・問 21 小学生

新型コロナウイルス感染症が広がったことにより、生活に変化がありましたか。

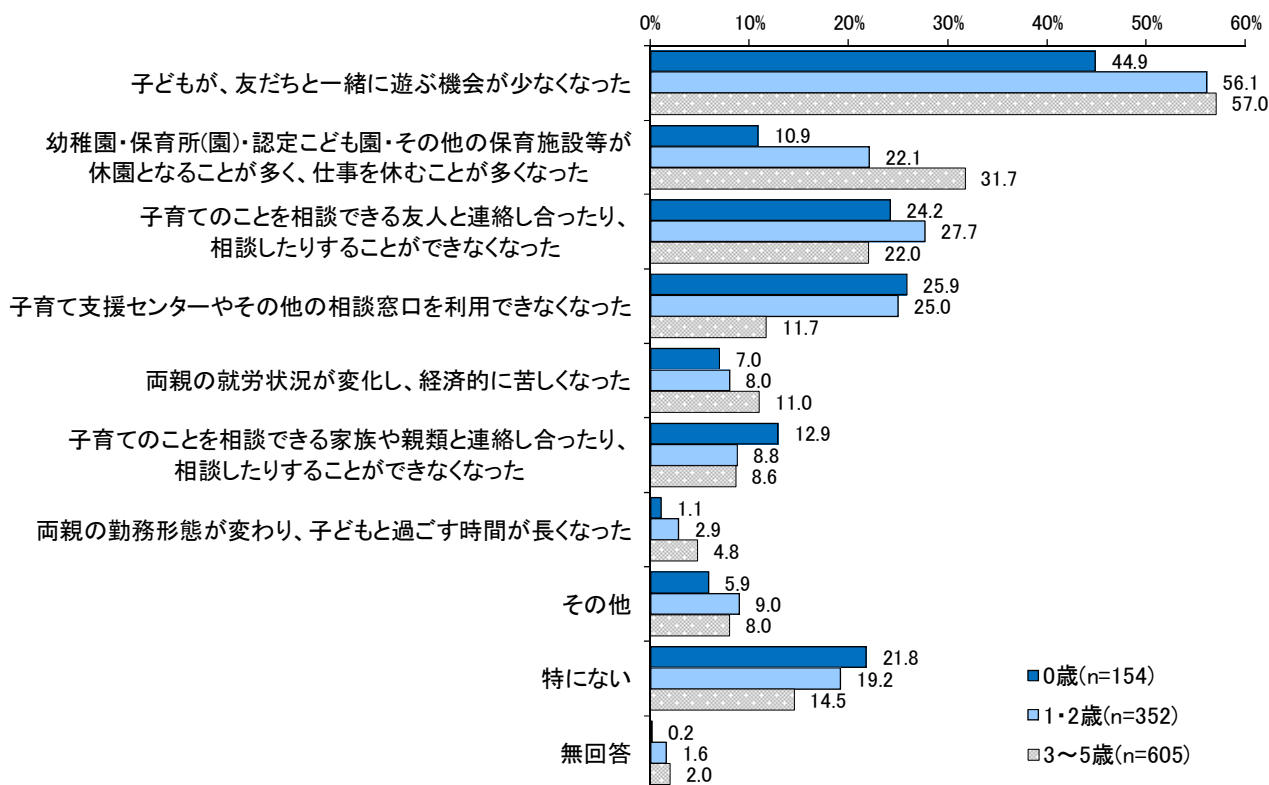
【○は当てはまるものすべて】

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化】



新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化について、就学前児童、小学生ともに「子どもが、友だちと一緒に遊ぶ機会が少なくなった」と回答した割合が就学前児童で54.8%、小学生で61.3%と最も高くなっている。

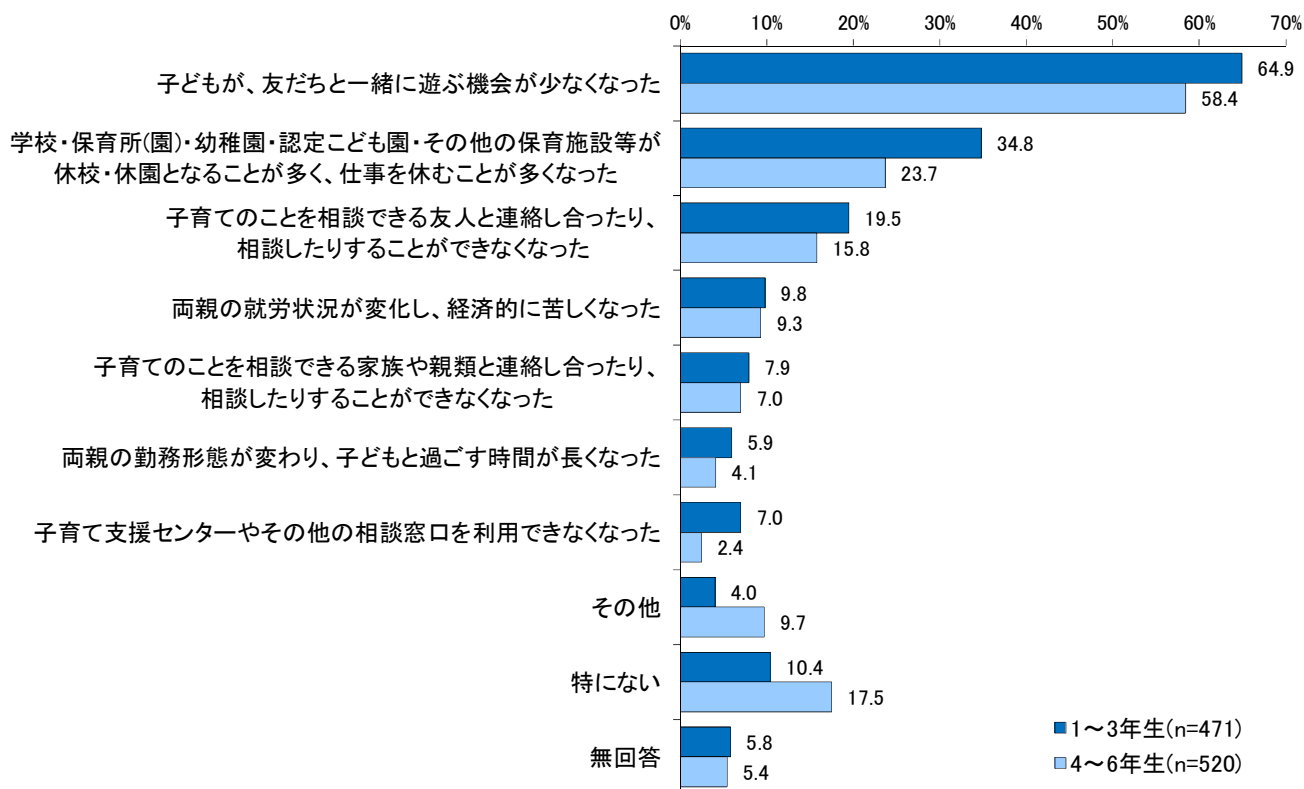
【新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、「子どもが、友だちと一緒に遊ぶ機会が少なくなった」、「幼稚園・保育所(園)・認定こども園・その他の保育施設等が休園となることが多く、仕事を休むことが多くなった」と回答した割合は年齢が高くなるほど高くなっている。

「子育て支援センターやその他の相談窓口を利用できなくなった」と回答した割合は0歳、1・2歳で高くなっている。

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化（小学生・学年別）】

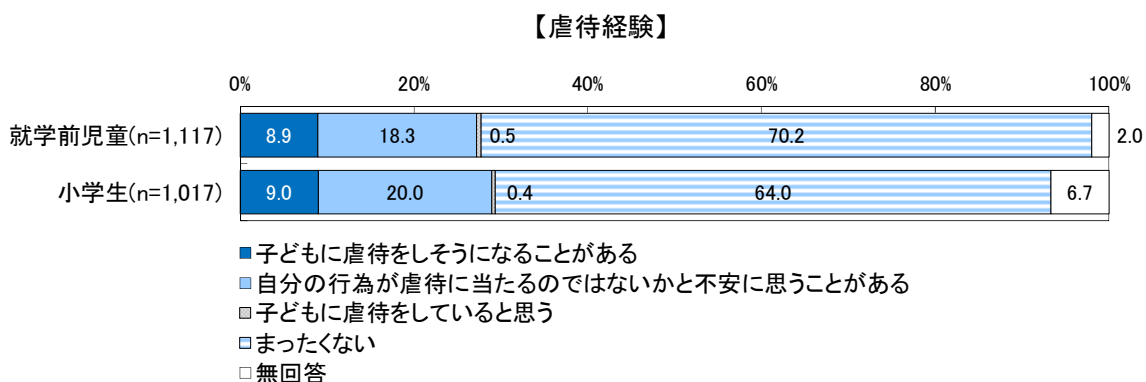


学年別にみると、多くの項目で1～3年生が4～6年生よりも高くなっている。

(3) 虐待経験

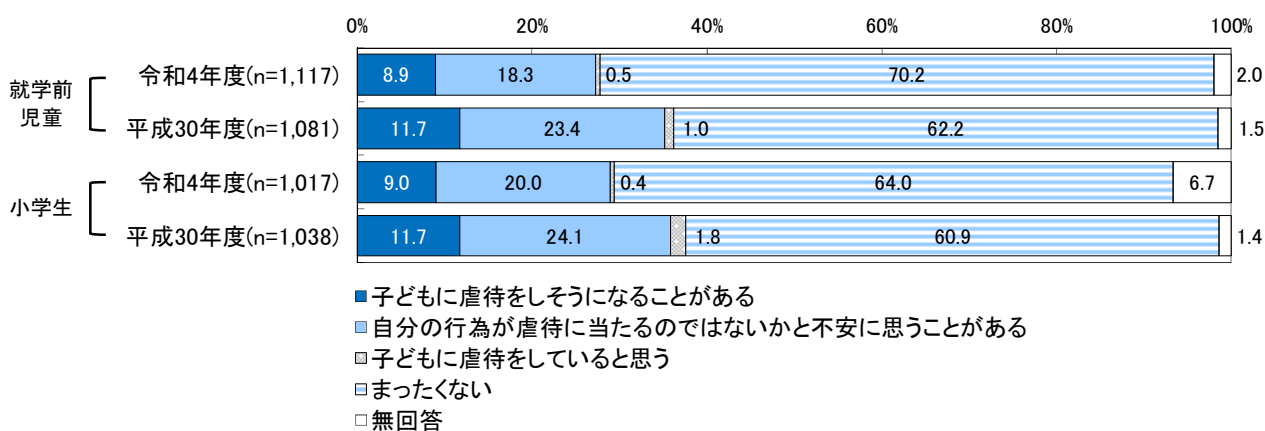
問 29 就学前児童・問 22 小学生

あなたは、次のような経験がありますか。【〇は1つ】



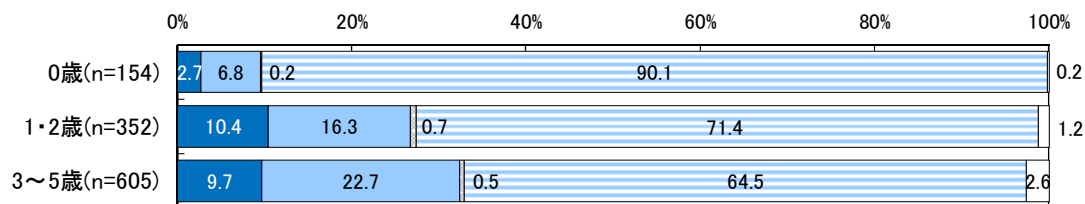
虐待経験について、「子どもに虐待をしそうになることがある」と回答した割合が就学前児童で8.9%、小学生で9.0%、「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」と回答した割合が就学前児童で18.3%、小学生で20.0%、「子どもに虐待をしていると思う」と回答した割合が就学前児童で0.5%、小学生で0.4%となっている。

【虐待経験（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、就学前児童、小学生ともに「子どもに虐待をしそうになることがある」、「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」と回答した割合は低下している。

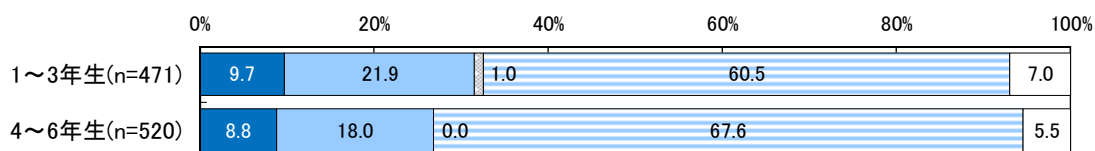
【虐待経験（就学前児童・年齢別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

年齢別にみると、「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」と回答した割合は年齢が高くなるほど高くなっている。

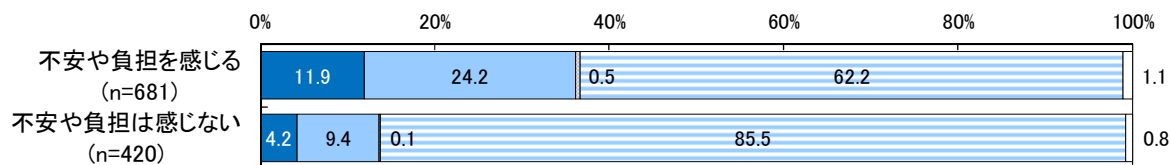
【虐待経験（小学生・学年別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

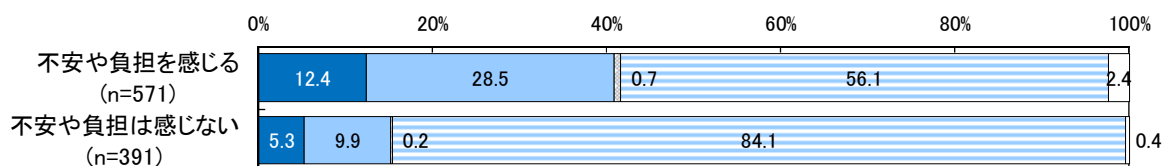
学年別にみると、「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」と回答した割合は1～3年生が4～6年生よりも高くなっている。

【虐待経験（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

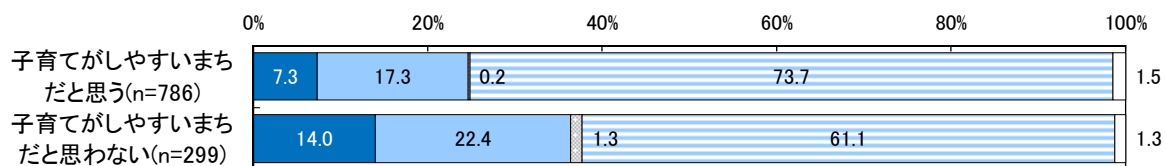
【虐待経験（小学生・子育てに関する不安や負担の程度別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

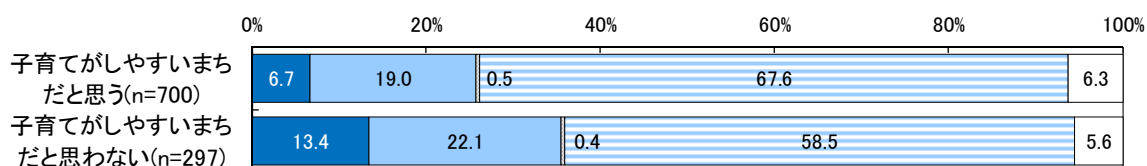
子育てに関する不安や負担の程度別にみると、就学前児童、小学生ともに「子どもに虐待をしそうになることがある」、「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」、「子どもに虐待をしていると思う」と回答した割合は不安や負担を感じる層で高くなっている。

【虐待経験（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

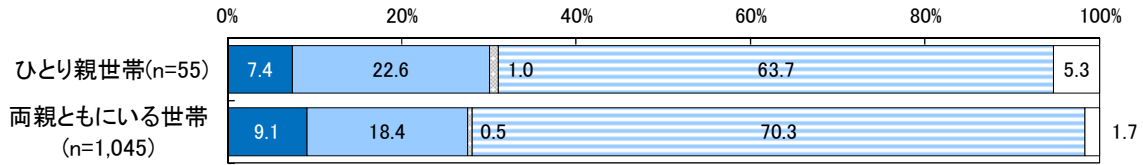
【虐待経験（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

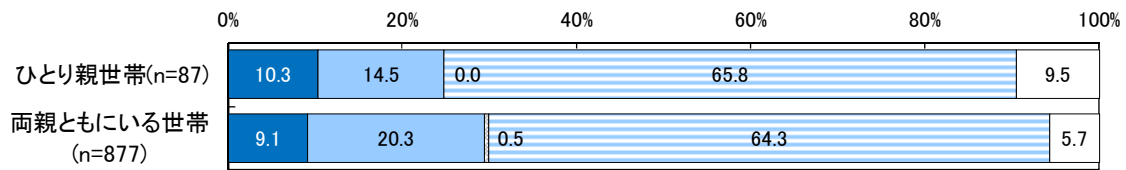
尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童、小学生ともに「子どもに虐待をしそうになることがある」、「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

【虐待経験（就学前児童・世帯状況別）】



- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

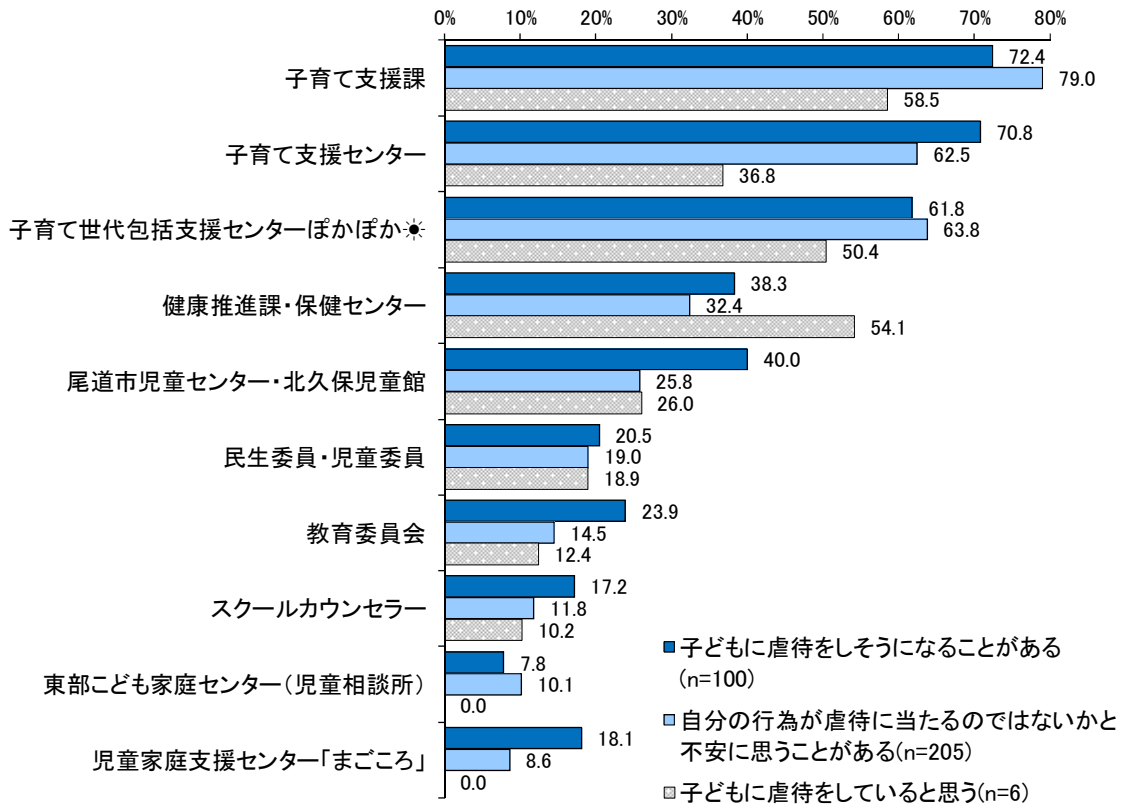
【虐待経験（小学生・世帯状況別）】



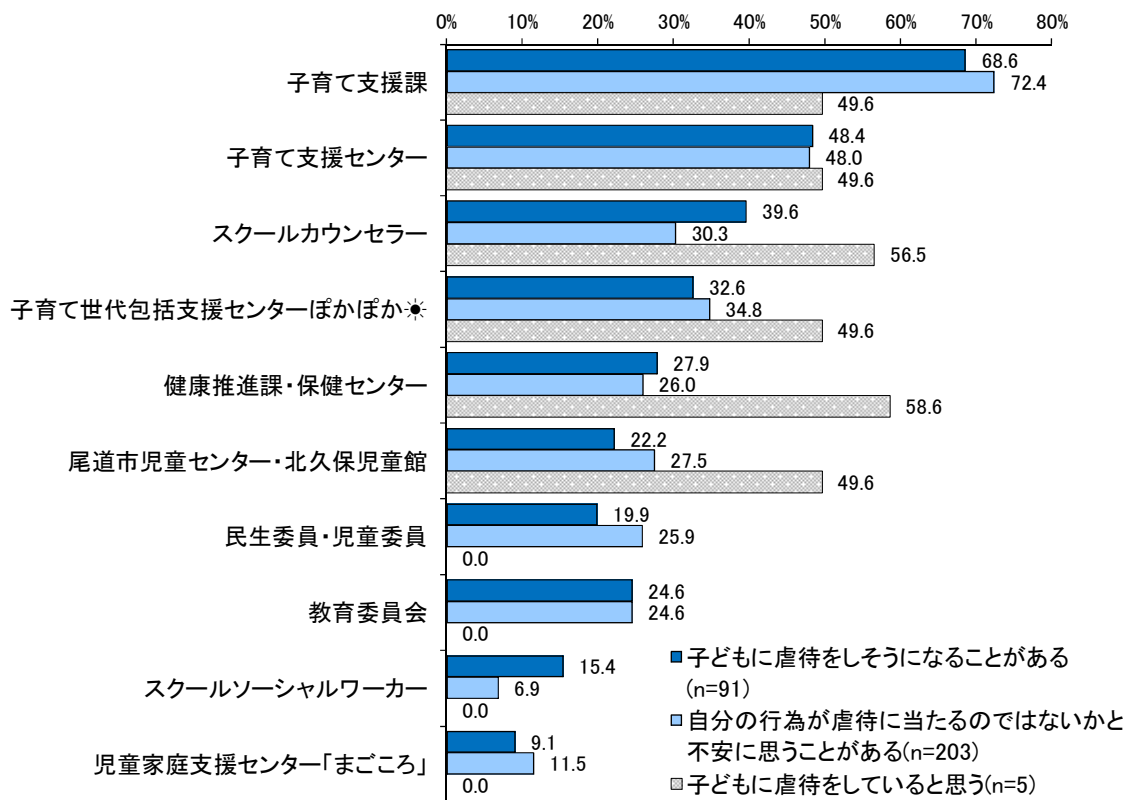
- 子どもに虐待をしそうになることがある
- 自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある
- 子どもに虐待をしていると思う
- まったくない
- 無回答

世帯状況別にみると、小学生では「自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある」と回答した割合は両親ともにいる世帯で高くなっている。

【公的相談機関等の認知度/上位10項目（就学前児童・虐待経験別）】



【公的相談機関等の認知度/上位10項目（小学生・虐待経験別）】

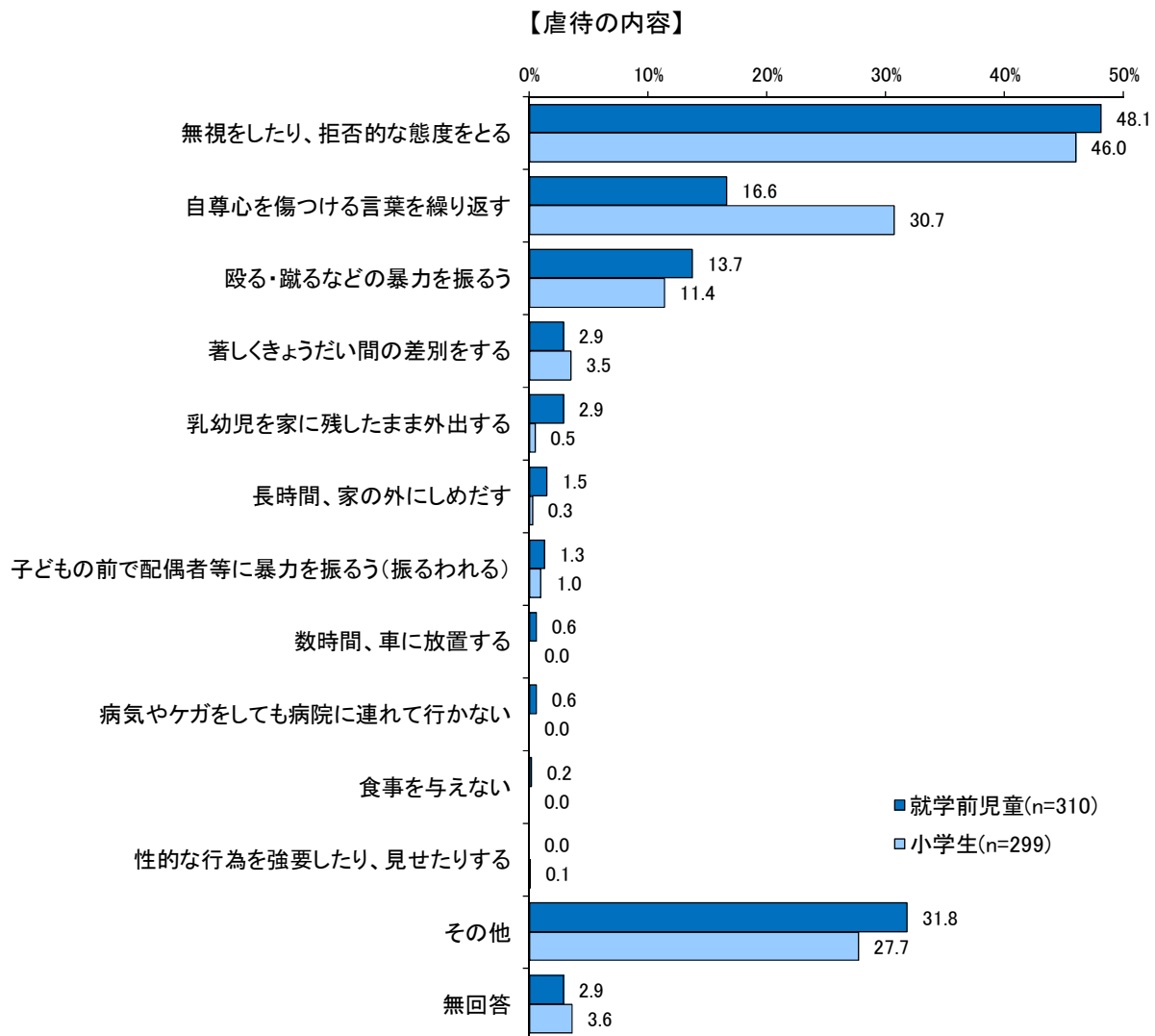


公的相談機関等の認知度について、虐待経験別にみると、子どもに虐待をしていると思う層では、就学前児童では「子育て支援課」、「健康推進課・保健センター」、「子育て世代包括支援センターぽかぽか★」、小学生では「健康推進課・保健センター」、「スクールカウンセラー」と回答した割合が上位となっている。

問 29・問 22 で「1」から「3」と回答した人のみ回答

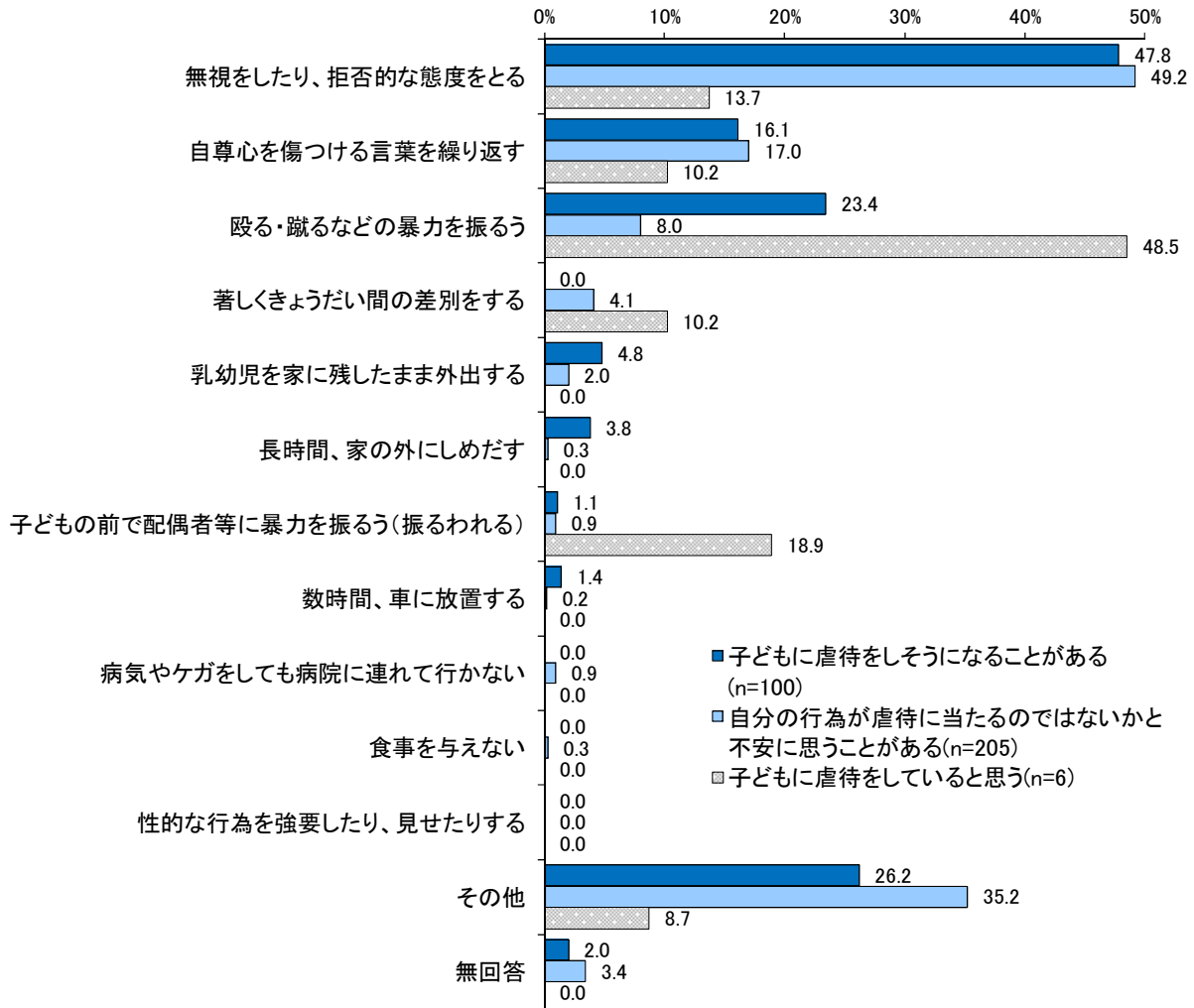
問 29-1 就学前児童・問 22-1 小学生

それはどのようなことですか。【〇は当てはまるものすべて】



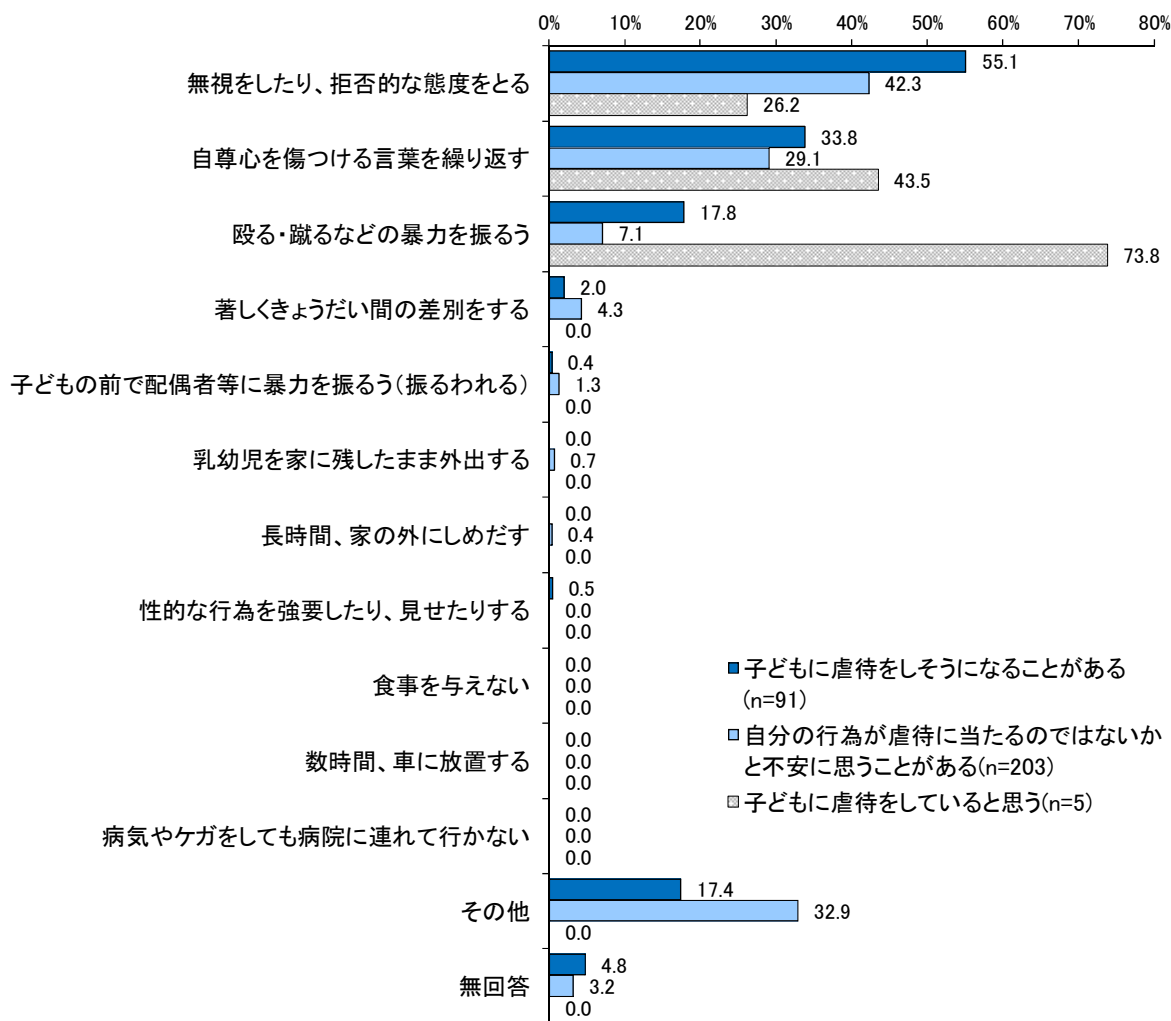
虐待の内容について、「無視をしたり、拒否的な態度をとる」と回答した割合が、就学前児童で 48.1%、小学生で 46.0%と最も高く、「自尊心を傷つける言葉を繰り返す」(就学前児童 16.6%・小学生 30.7%)、「殴る・蹴るなどの暴力を振るう」(就学前児童 13.7%・小学生 11.4%)が続いている。

【虐待の内容（就学前児童・虐待経験別）】



就学前児童について虐待経験別にみると、子どもに虐待をしていると思う層では「殴る・蹴るなどの暴力を振るう」と回答した割合、子どもに虐待をしそうになることがある層、自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある層では「無視をしたり、拒否的な態度をとる」と回答した割合が最も高くなっている。

【虐待の内容（小学生・虐待経験別）】



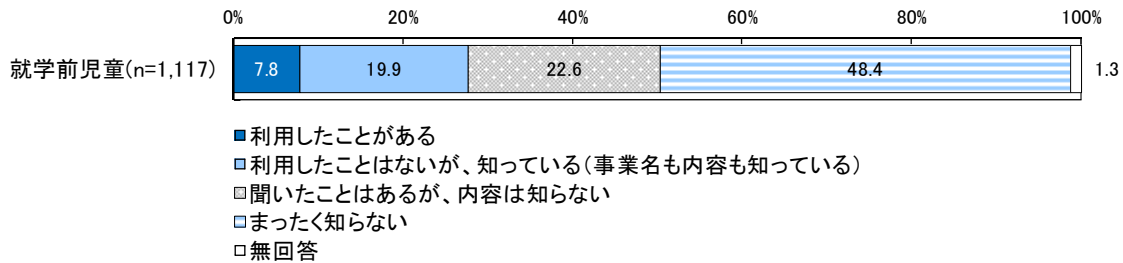
小学生について虐待経験別にみると、子どもに虐待をしていると思う層では「殴る・蹴るなどの暴力を振るう」と回答した割合、子どもに虐待をしそうになることがある層、自分の行為が虐待に当たるのではないかと不安に思うことがある層では「無視をしたり、拒否的な態度をとる」と回答した割合が最も高くなっている。

(4) 「キッズW e b ☆尾道」の利用状況

問 30 就学前児童

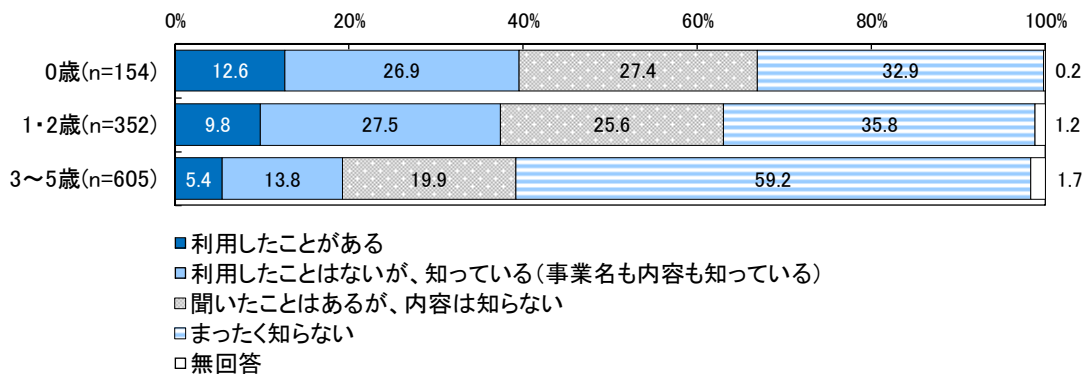
「キッズW e b ☆尾道」を利用したことがありますか。または、知っていますか。【○は1つ】

【「キッズW e b ☆尾道」の利用状況】



「キッズW e b ☆尾道」の利用状況について、「利用したことがある」と回答した割合が 7.8%、「利用したことはないが、知っている(事業名も内容も知っている)」と回答した割合が 19.9%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」と回答した割合が 22.6%となっている。

【「キッズW e b ☆尾道」の利用状況 (就学前児童・年齢別)】



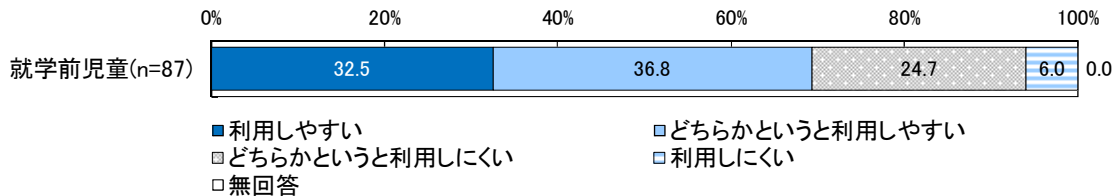
年齢別にみると、「利用したことがある」と回答した割合は年齢が低くなるほど高くなっている。

問 30 で「1 利用したことがある」と回答した人のみ回答

問 30-1 就学前児童

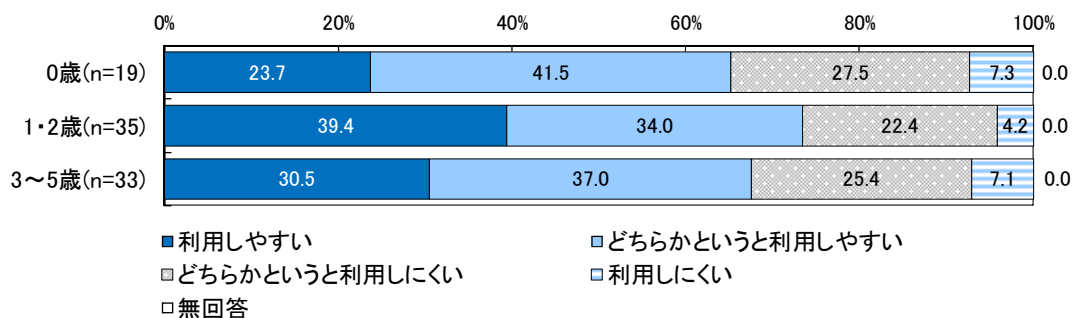
「キッズW e b ☆尾道」は利用しやすいと思いますか。【〇は1つ】

【「キッズW e b ☆尾道」の利便性】



「キッズW e b ☆尾道」の利便性について、『利用しやすい』（「利用しやすい」 + 「どちらかという利用しやすい」）と回答した割合が 69.3%、『利用しにくい』（「利用しにくい」 + 「どちらかという利用しにくい」）と回答した割合が 30.7%となっている。

【「キッズW e b ☆尾道」の利便性（就学前児童・年齢別）】



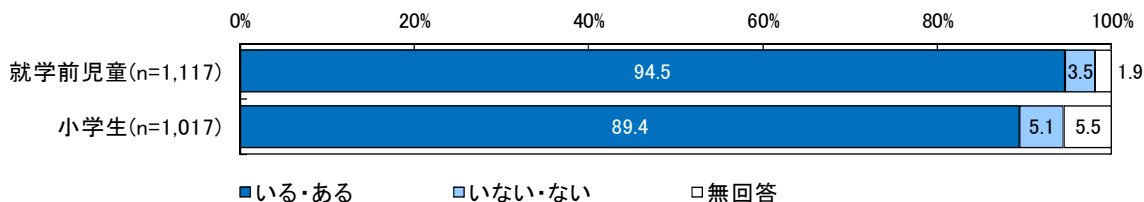
年齢別にみると、『利用しやすい』と回答した割合は1・2歳で高くなっている。

(5) 相談先の有無

問 31 就学前児童・問 23 小学生

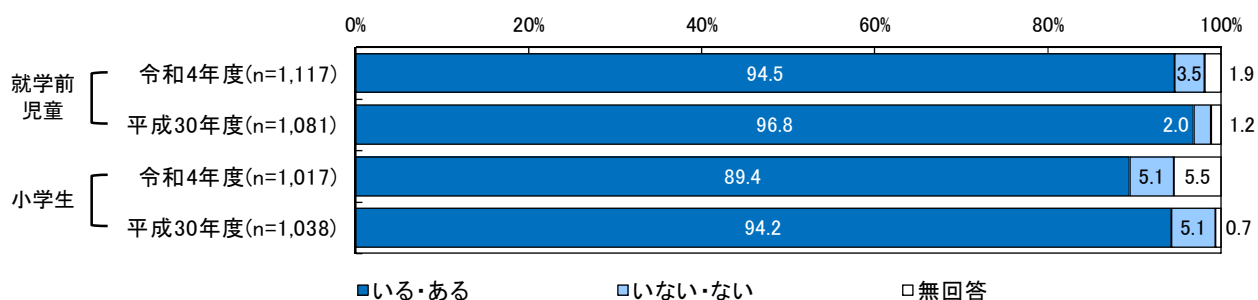
あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。【〇は1つ】

【子育てに関する相談先の有無】



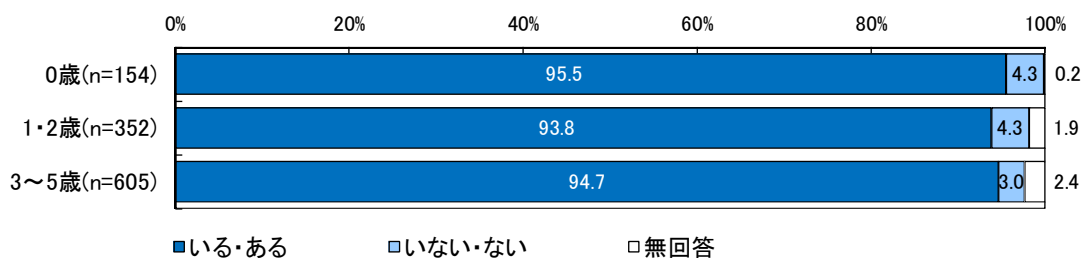
子育てに関する相談先の有無について、「いる・ある」と回答した割合が就学前児童で94.5%、小学生で89.4%となっている。

【子育てに関する相談先の有無（前回調査結果との比較）】



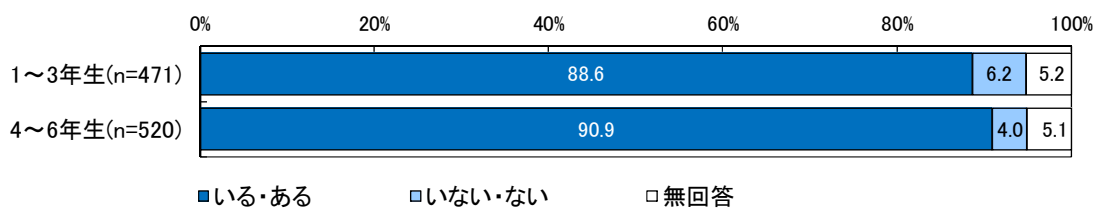
前回調査結果と比較すると、「いる・ある」と回答した割合は小学生で低下している。

【子育てに関する相談先の有無（就学前児童・年齢別）】



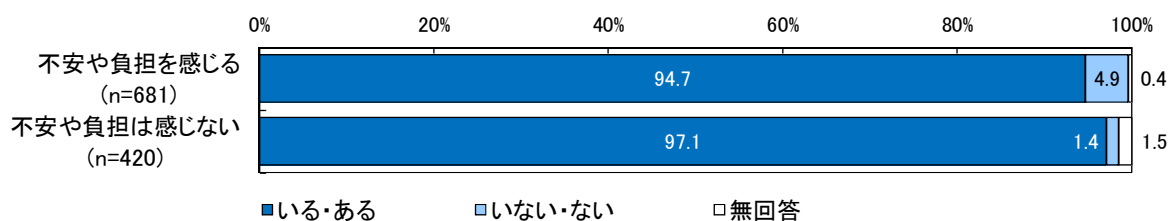
年齢別にみると、大きな差はみられない。

【子育てに関する相談先の有無（小学生・学年別）】

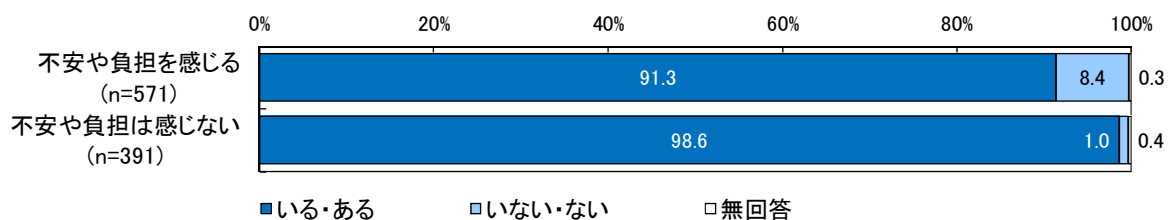


学年別にみると、大きな差はみられない。

【子育てに関する相談先の有無（就学前児童・子育てに関する不安や負担の程度別）】



【子育てに関する相談先の有無（小学生・子育てに関する不安や負担の程度別）】



子育てに関する不安や負担の程度別にみると、就学前児童では大きな差はみられないが、小学生では「いない・ない」と回答した割合が不安や負担を感じる層で高くなっている。

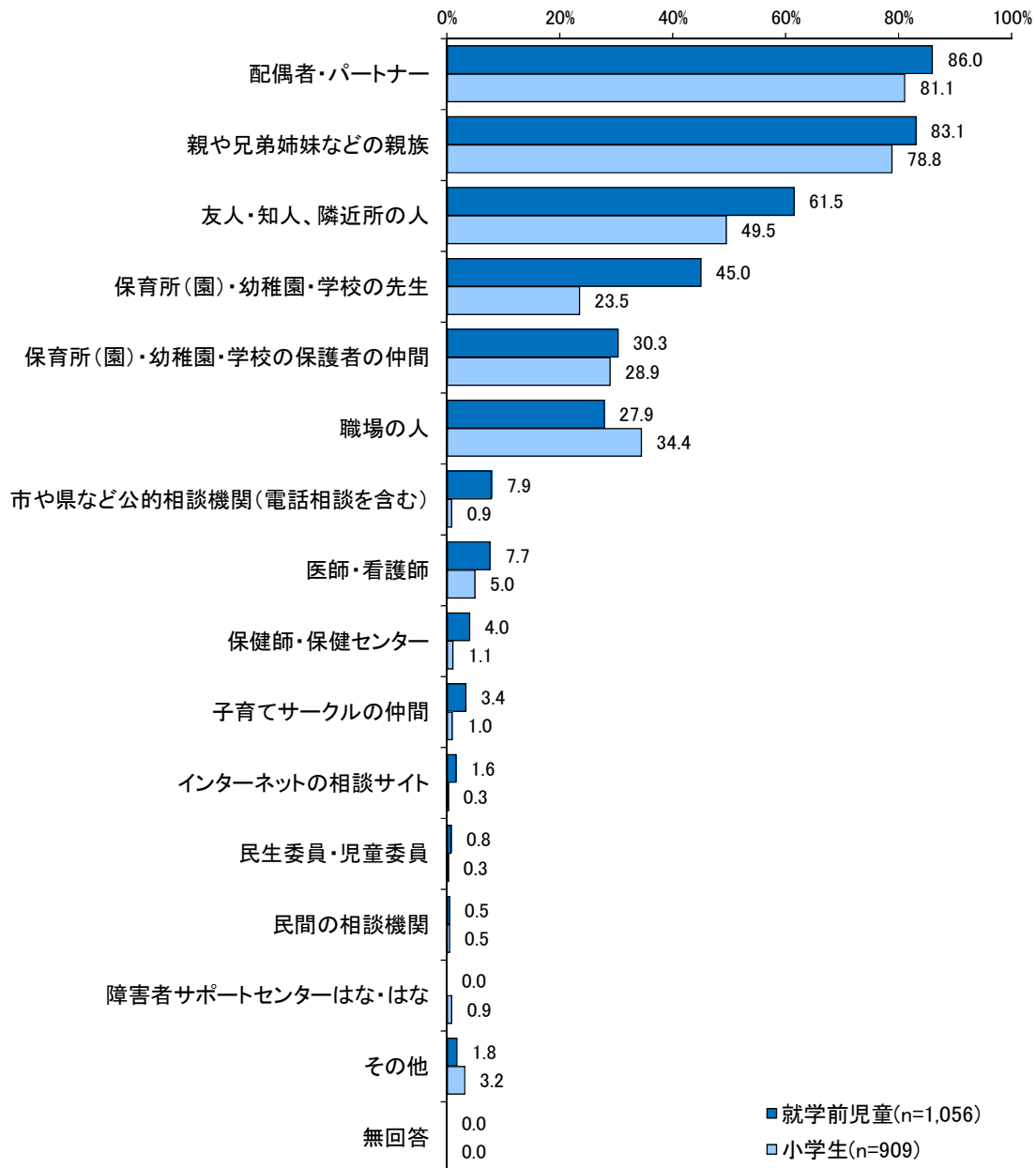
問 31・問 23 で「1 いる・ある」と回答した人のみ回答

問 31-1 就学前児童・問 23-1 小学生

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。

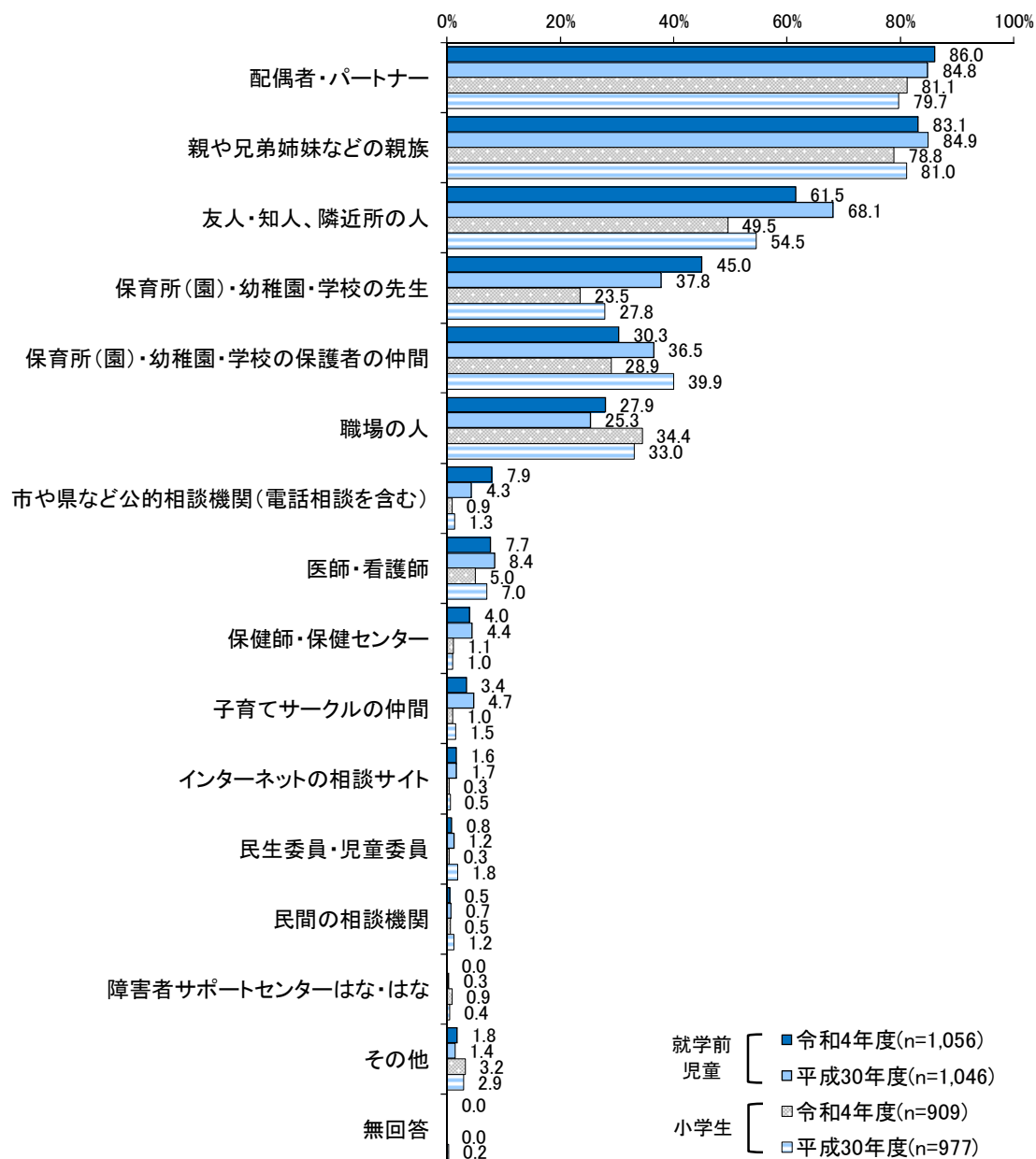
【〇は当てはまるものすべて】

【子育てに関する相談先】



子育てに関する相談先について、「配偶者・パートナー」と回答した割合が就学前児童で86.0%、小学生で81.1%と最も高く、「親や兄弟姉妹などの親族」（就学前児童83.1%・小学生78.8%）、「友人・知人、隣近所の人」（就学前児童61.5%・小学生49.5%）が続いている。

【子育てに関する相談先（前回調査結果との比較）】



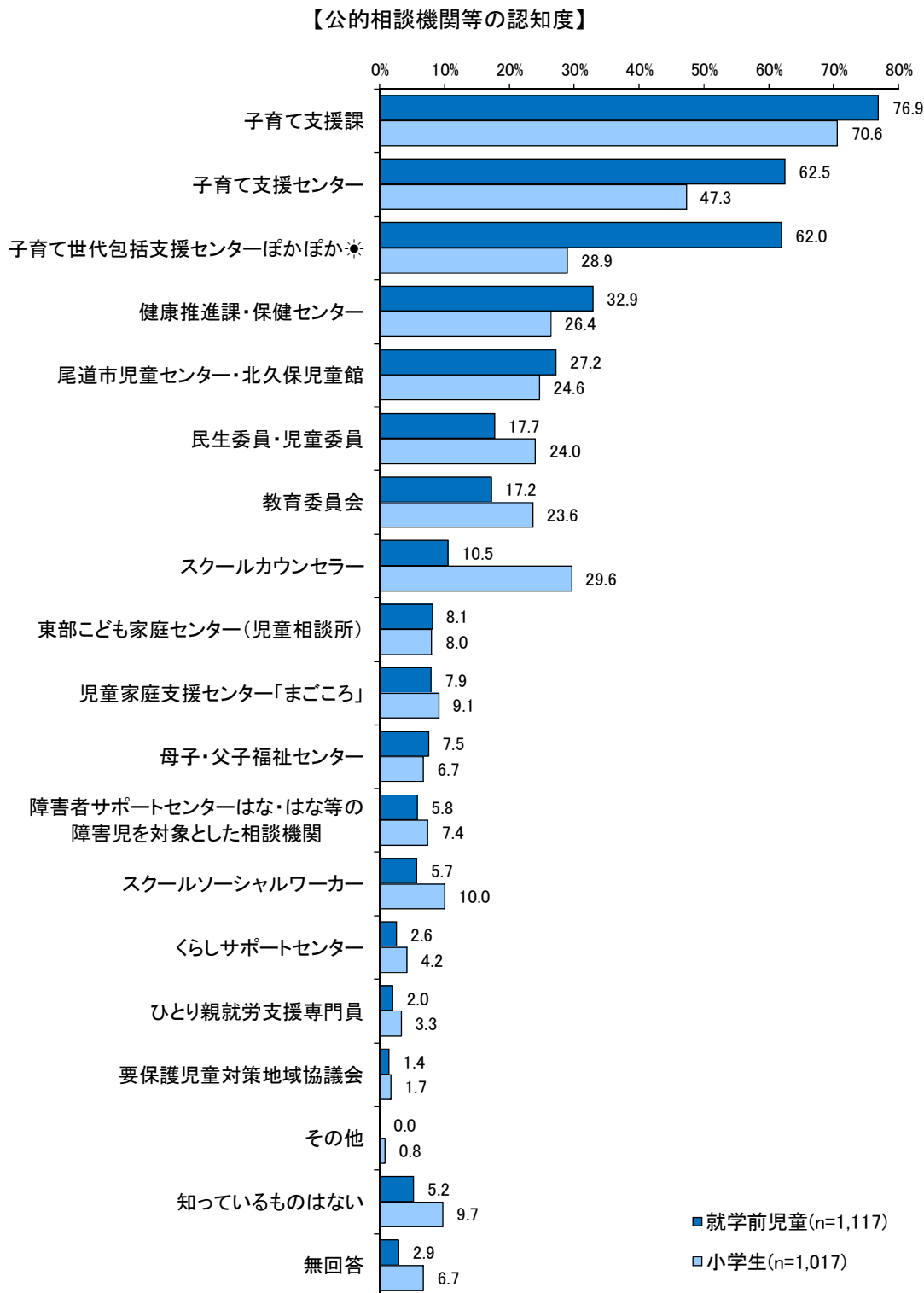
前回調査結果と比較すると、就学前児童、小学生ともに「友人・知人、隣近所の人」と回答した割合は低下している。

(6) 公的相談機関等の認知度・利便性

問 32 就学前児童・問 24 小学生

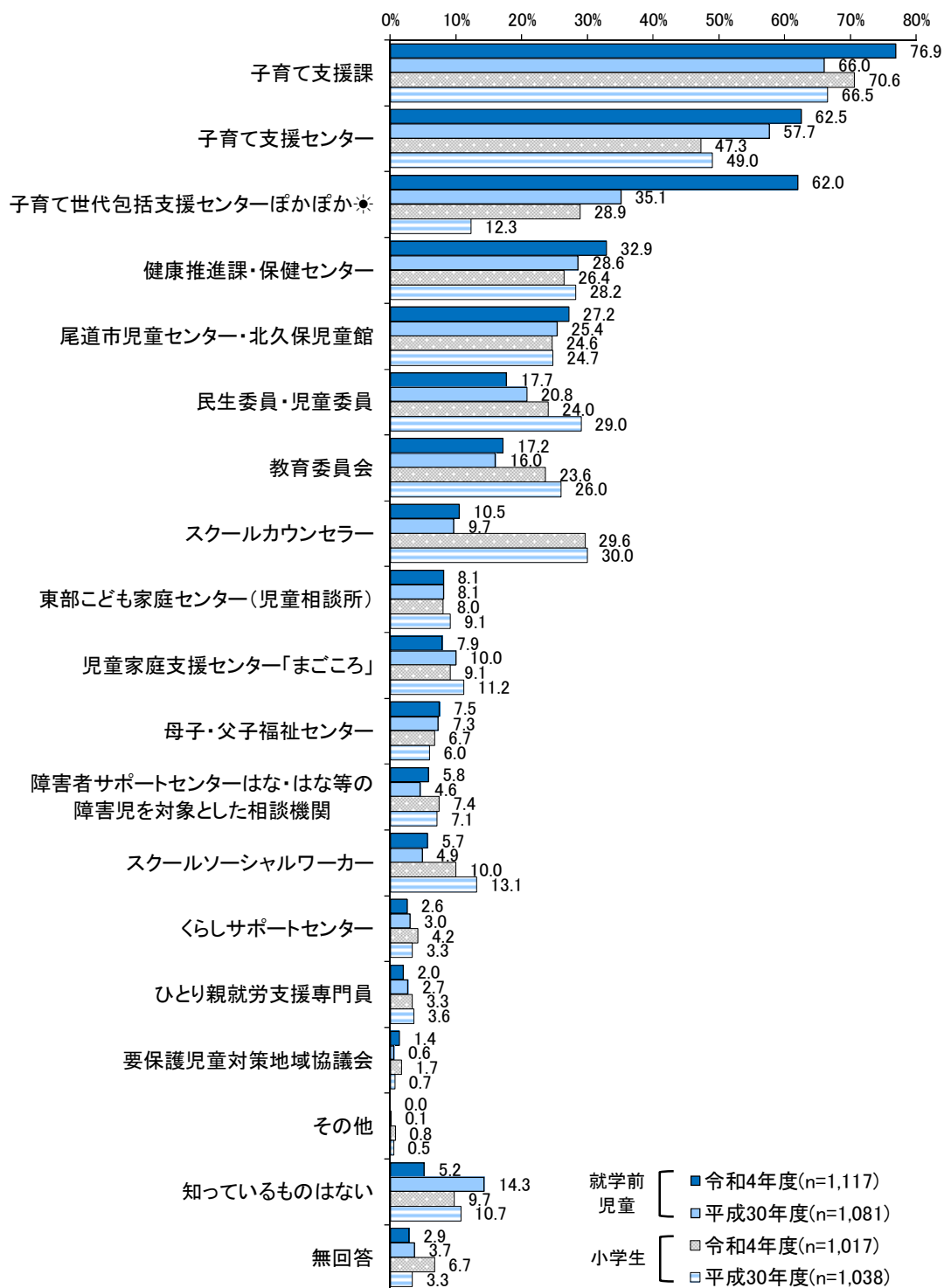
次にあげる公的相談機関や相談員・電話相談について知っていますか。

【○は知っているものすべて】



公的相談機関等の認知度について、「子育て支援課」と回答した割合が就学前児童で76.9%、小学生で70.6%と最も高く、次いで「子育て支援センター」(就学前児童62.5%・小学生47.3%)となっている。

【公的相談機関等の認知度（前回調査結果との比較）】

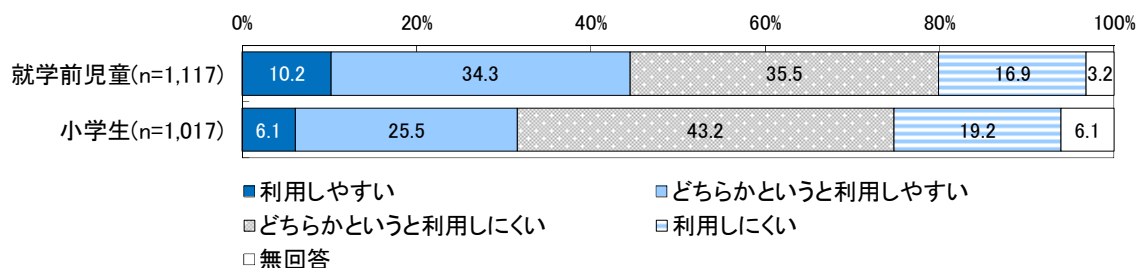


前回調査結果と比較すると、「子育て世代包括支援センターぽかぽか★」と回答した割合は就学前児童で大きく上昇している。

問 33 就学前児童・問 25 小学生

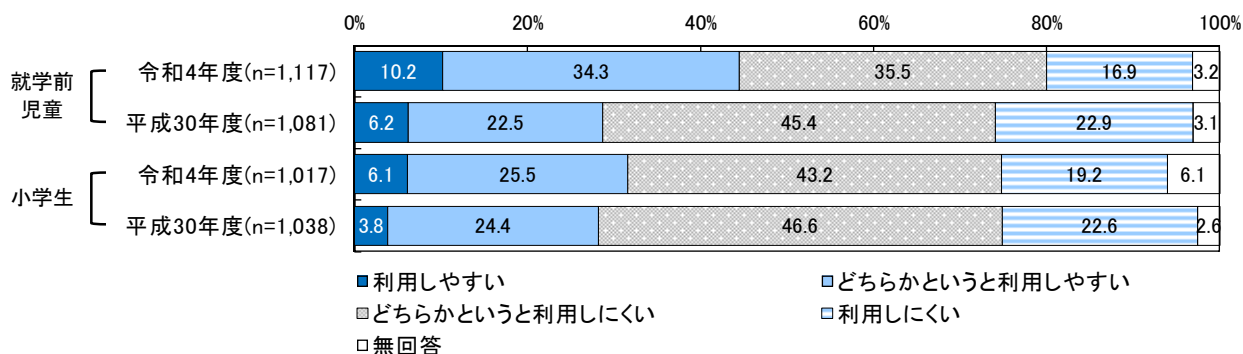
市や県の相談機関などの公的相談窓口、電話相談などの相談体制を利用しやすいと思いますか。【〇は1つ】

【公的な相談窓口の利便性】



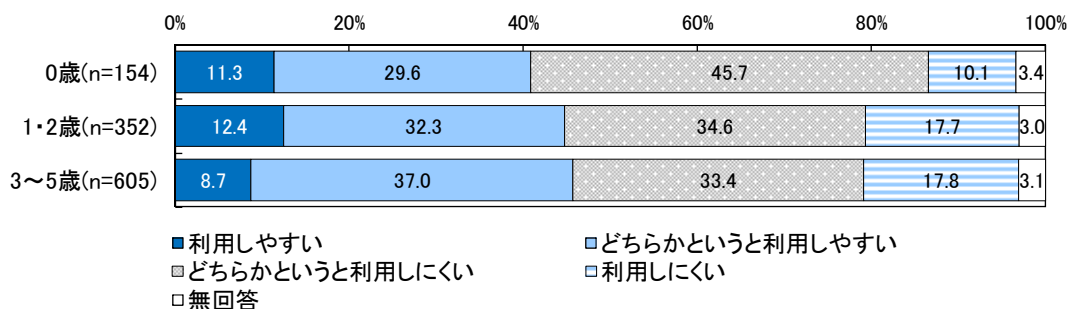
公的な相談窓口の利便性について、『利用しやすい』（「利用しやすい」＋「どちらかという util しやすい」）と回答した割合が就学前児童で 44.5%、小学生で 31.6%、『利用にくい』（「利用にくい」＋「どちらかという util にくい」）と回答した割合が就学前児童で 52.4%、小学生で 62.4%となっている。

【公的な相談窓口の利便性（前回調査結果との比較）】



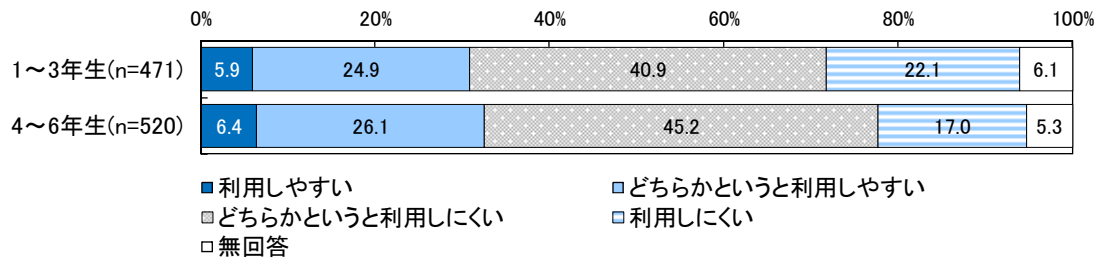
前回調査結果と比較すると、『利用しやすい』と回答した割合は就学前児童で上昇している。

【公的な相談窓口の利便性（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、大きな差はみられない。

【公的な相談窓口の利便性（小学生・学年別）】



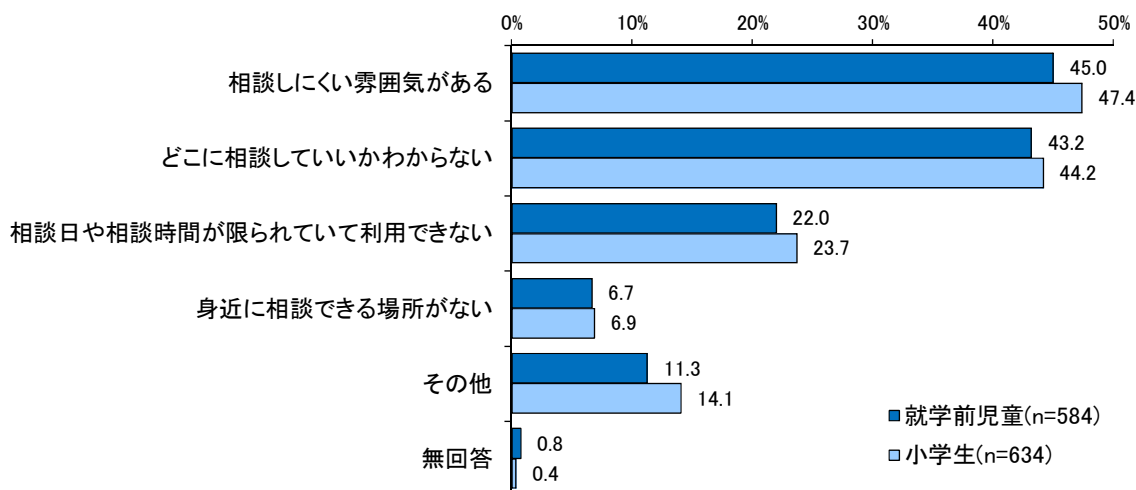
学年別にみると、大きな差はみられない。

問 33・問 25 で「3 どちらかという利用しにくい」「4 利用しにくい」と回答した人のみ回答

問 33-1 就学前児童・問 25-1 小学生

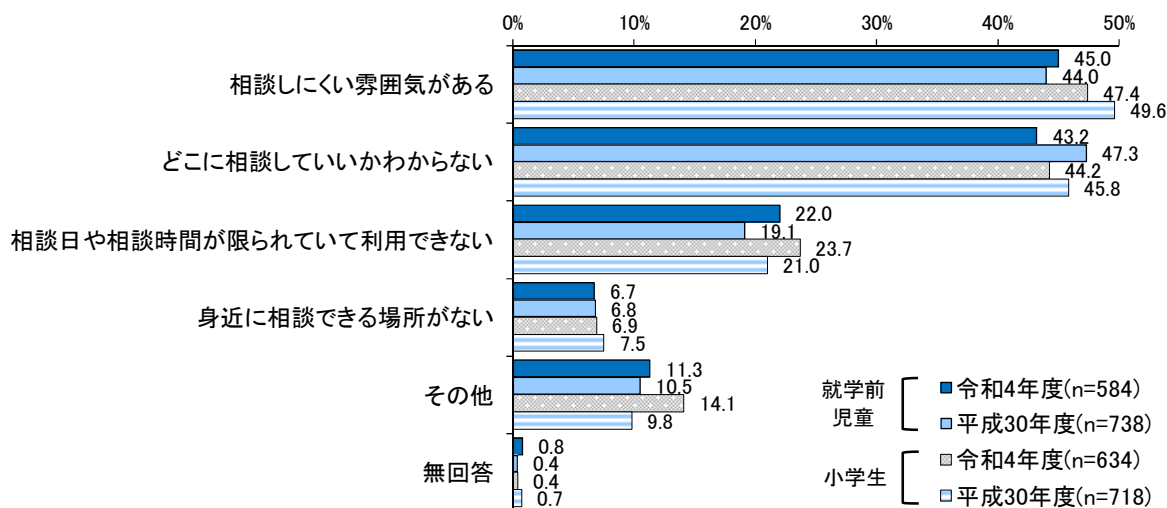
どのような点を利用しにくいと感じますか。【〇は当てはまるものすべて】

【公的な相談窓口を利用しにくい理由】



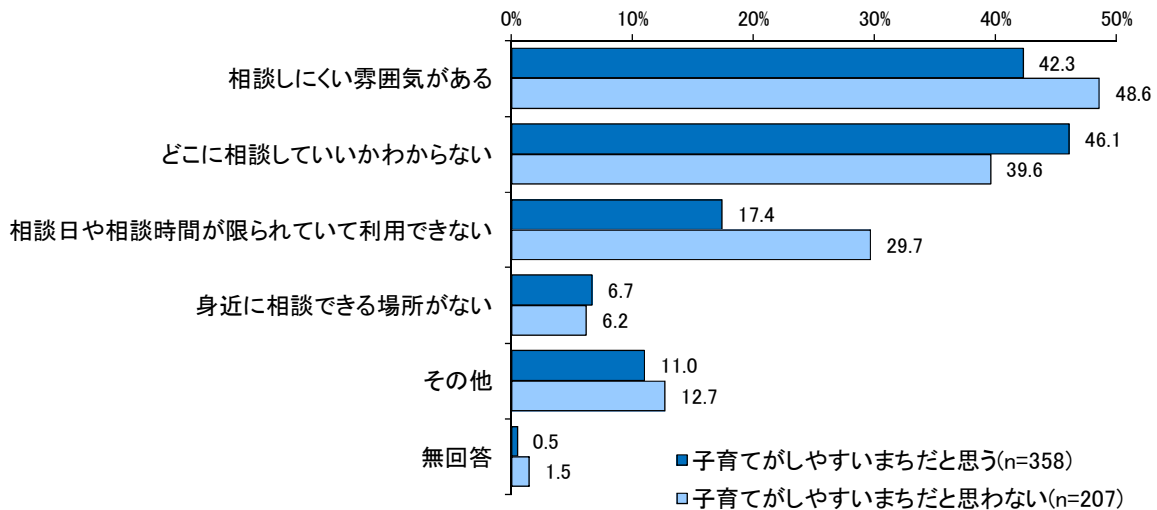
公的な相談窓口を利用しにくい理由について、「相談しにくい雰囲気がある」と回答した割合が就学前児童で45.0%、小学生で47.4%と最も高く、次いで「どこに相談していいかわからない」（就学前児童43.2%・小学生44.2%）となっている。

【公的な相談窓口を利用しにくい理由（前回調査結果との比較）】



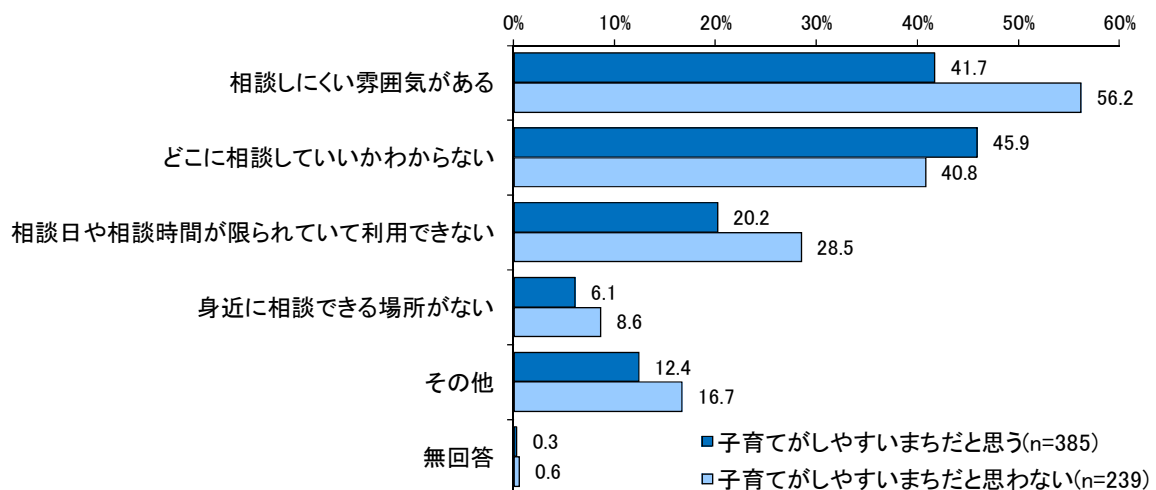
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

【公的な相談窓口を利用しにくい理由（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童では「相談日や相談時間が限られていて利用できない」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

【公的な相談窓口を利用しにくい理由（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



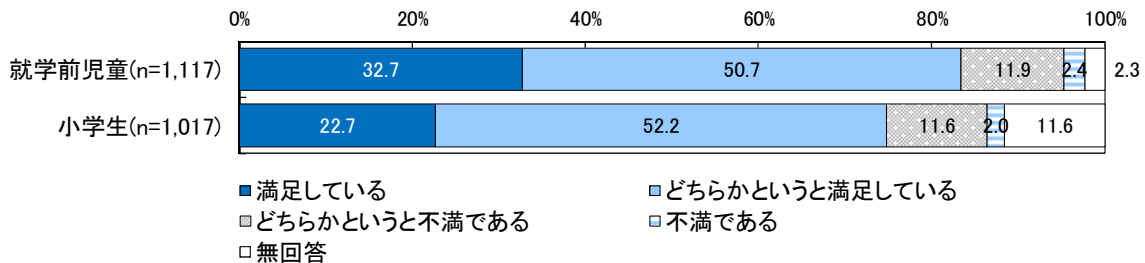
尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、小学生では「相談しにくい雰囲気がある」、「相談日や相談時間が限られていて利用できない」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

(7) 健康づくり支援等の満足度

問 34 就学前児童・問 26 小学生

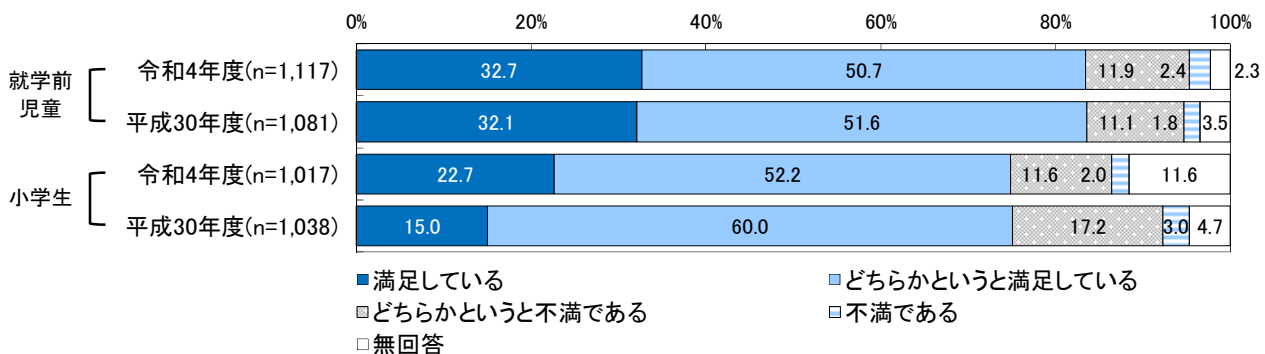
赤ちゃん訪問や乳幼児相談、健診や発達に関する相談、予防接種の助成など、あて名のお子さんへの健康づくり支援や発達支援、医療支援体制に満足していますか。【○は1つ】

【子どもの健康づくり支援の満足度】



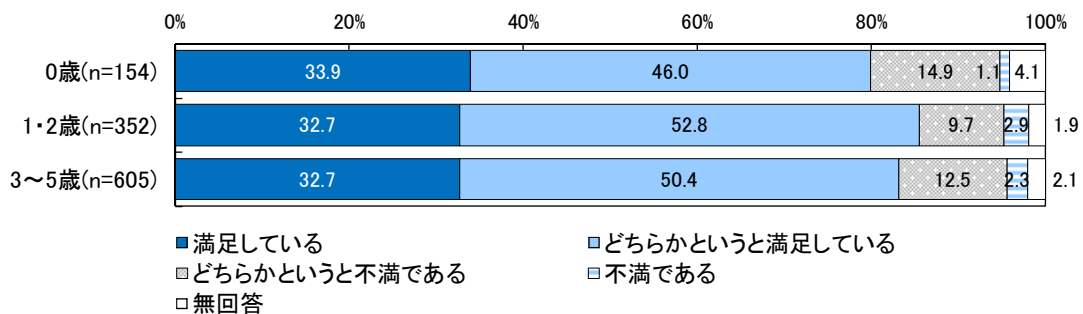
子どもの健康づくり支援の満足度について、『満足している』（「満足している」＋「どちらかという満足している」と回答した割合が就学前児童で83.4%、小学生で74.9%、『不満である』（「不満である」＋「どちらかという不満である」と回答した割合が就学前児童で14.3%、小学生で13.6%となっている。

【子どもの健康づくり支援の満足度（前回調査結果との比較）】



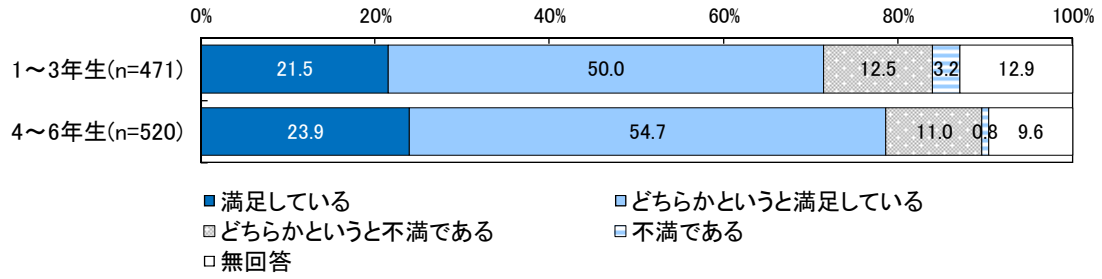
前回調査結果と比較すると、「満足している」と回答した割合は小学生で上昇している。

【子どもの健康づくり支援の満足度（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、『満足している』と回答した割合は1・2歳、3～5歳で高くなっている。

【子どもの健康づくり支援の満足度（小学生・学年別）】



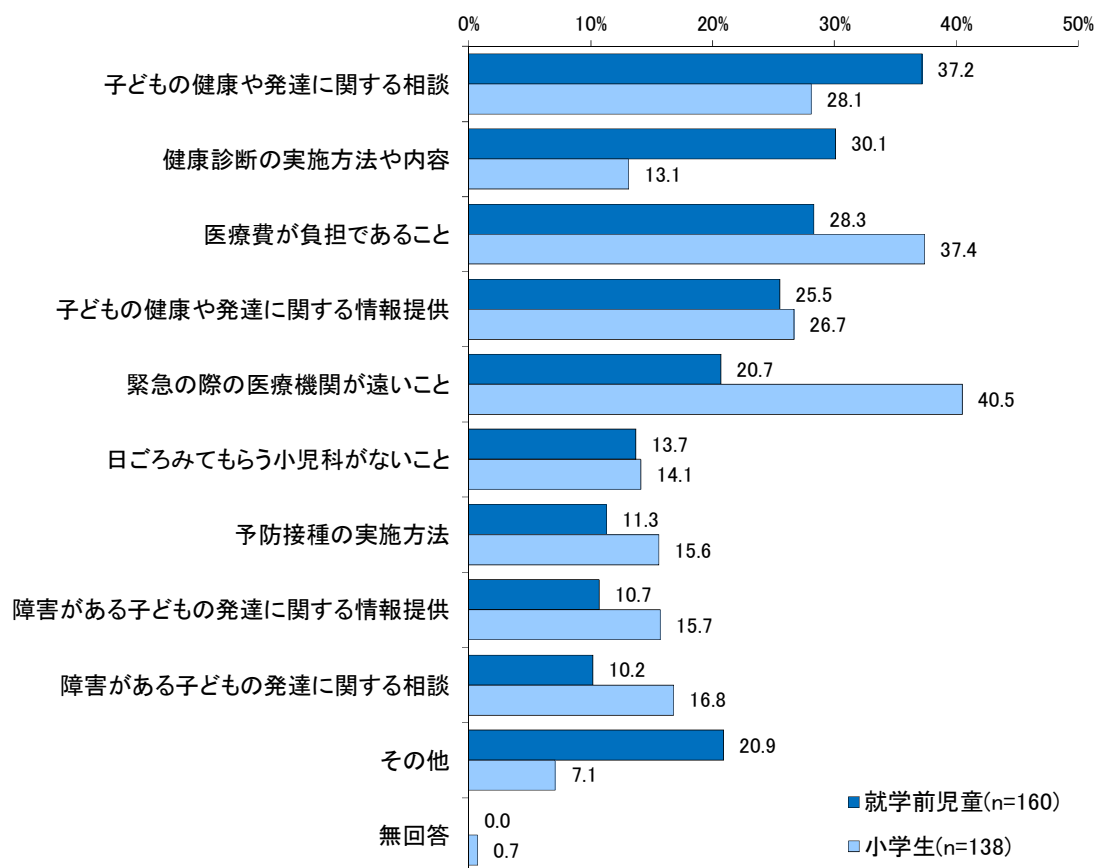
学年別にみると、『満足している』と回答した割合は4～6年生で高くなっている。

問 34・問 26 で「3 どちらかという不満である」「4 不満である」と回答した人のみ回答

問 34-1 就学前児童・問 26-1 小学生

健康づくり支援や発達支援、医療体制支援について、どのようなことに不満を感じていますか。【主なもの3つまでに○】

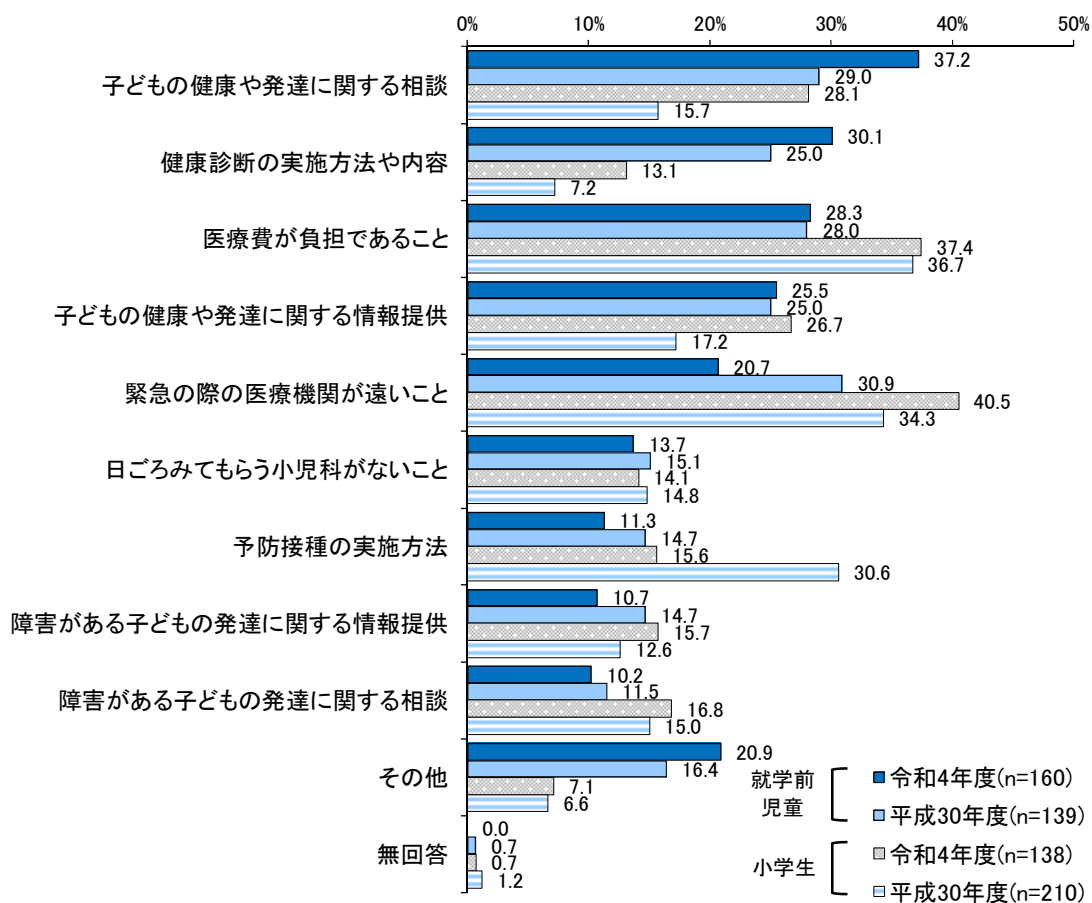
【不満を感じる健康づくり支援の内容】



不満を感じる健康づくり支援の内容について、就学前児童では「子どもの健康や発達に関する相談」と回答した割合が 37.2%と最も高く、次いで「健康診断の実施方法や内容」(30.1%)となっている。

小学生では「緊急の際の医療機関が遠いこと」と回答した割合が 40.5%と最も高く、次いで「医療費が負担であること」(37.4%)となっている。

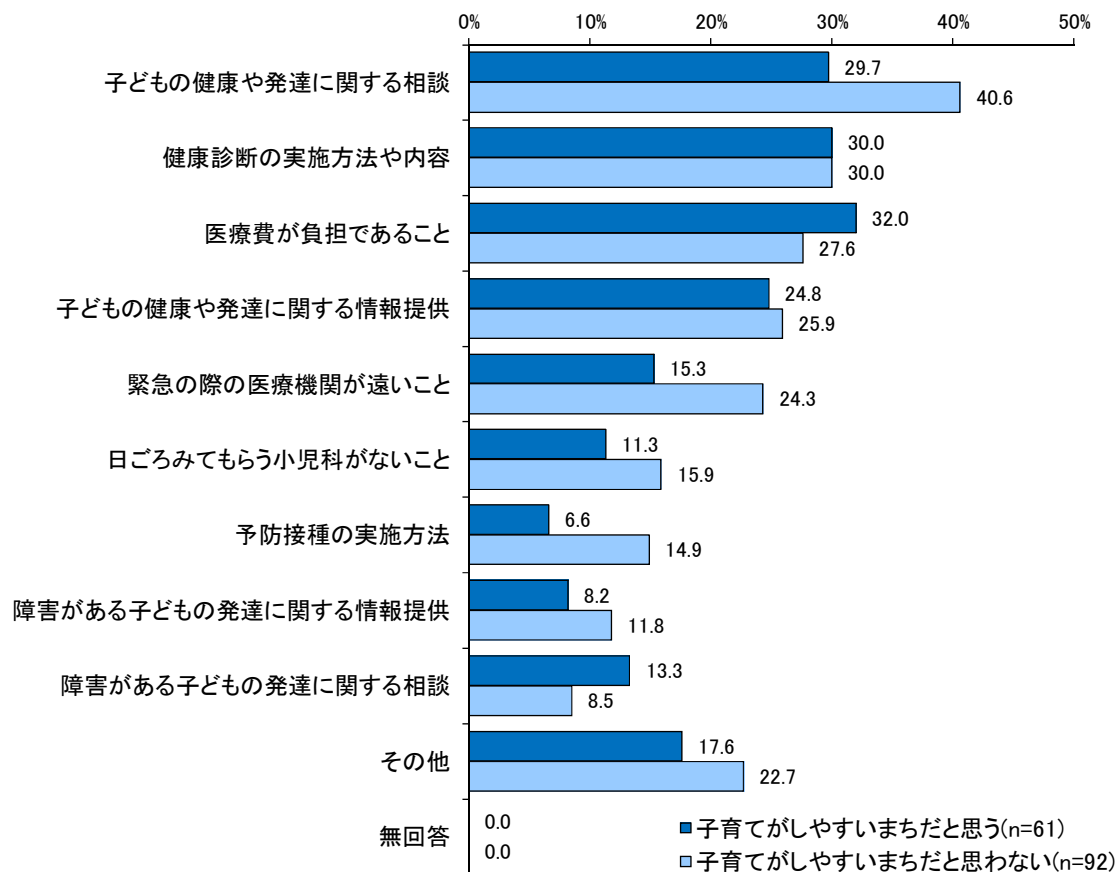
【不満を感じる健康づくり支援の内容（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、就学前児童、小学生ともに「子どもの健康や発達に関する相談」、「健康診断の実施方法や内容」と回答した割合は上昇している。

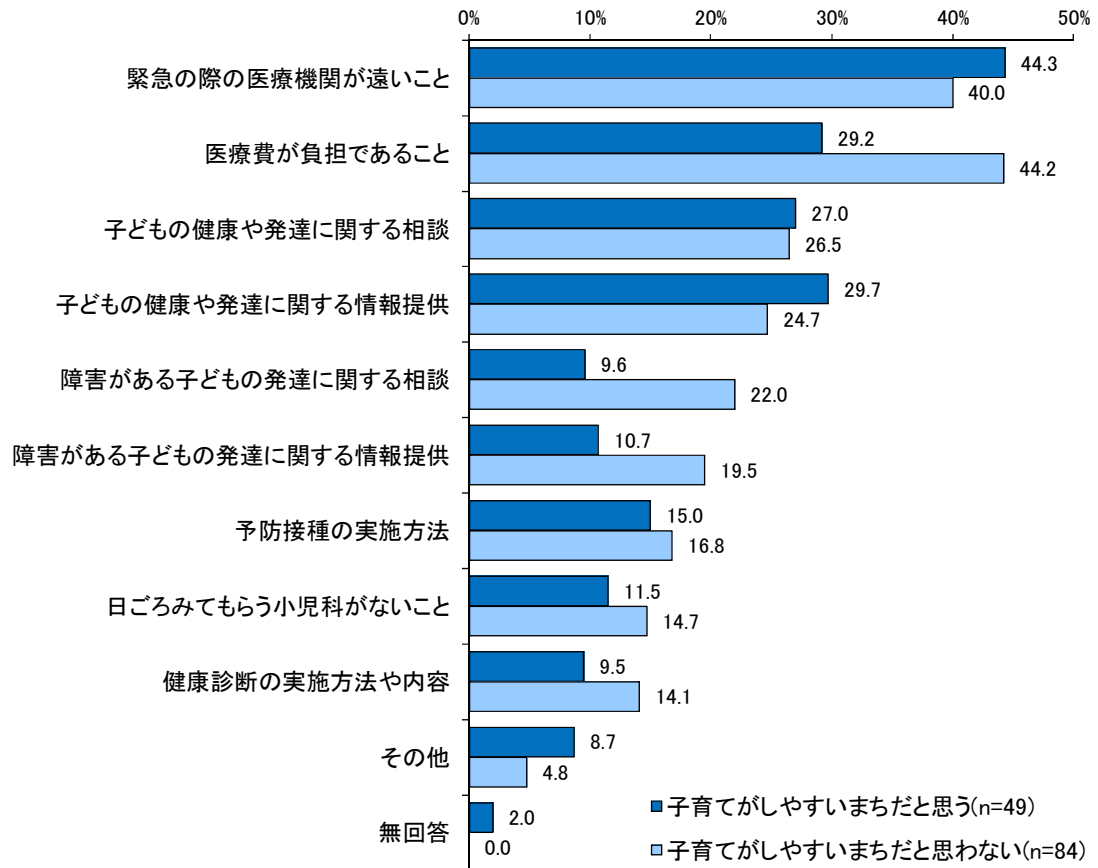
また、「緊急の際の医療機関が遠いこと」と回答した割合は小学生で上昇している。

【不満を感じる健康づくり支援の内容（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童では「子どもの健康や発達に関する相談」、「緊急の際の医療機関が遠いこと」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

【不満を感じる健康づくり支援の内容（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



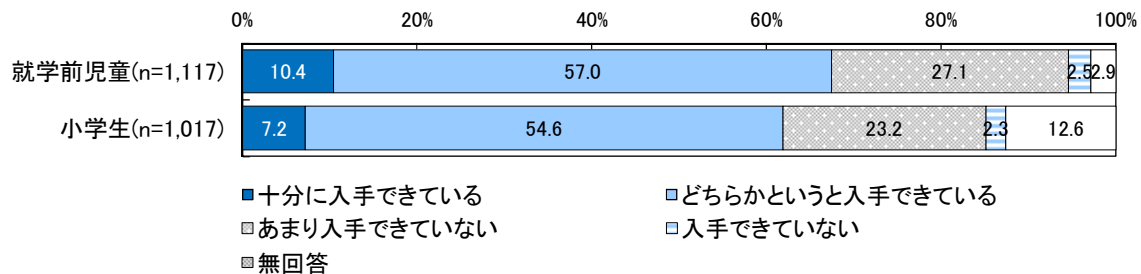
尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、小学生では「医療費が負担であること」、「障害がある子どもの発達に関する相談」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

(8) 子育てに関する情報の入手状況

問 35 就学前児童・問 27 小学生

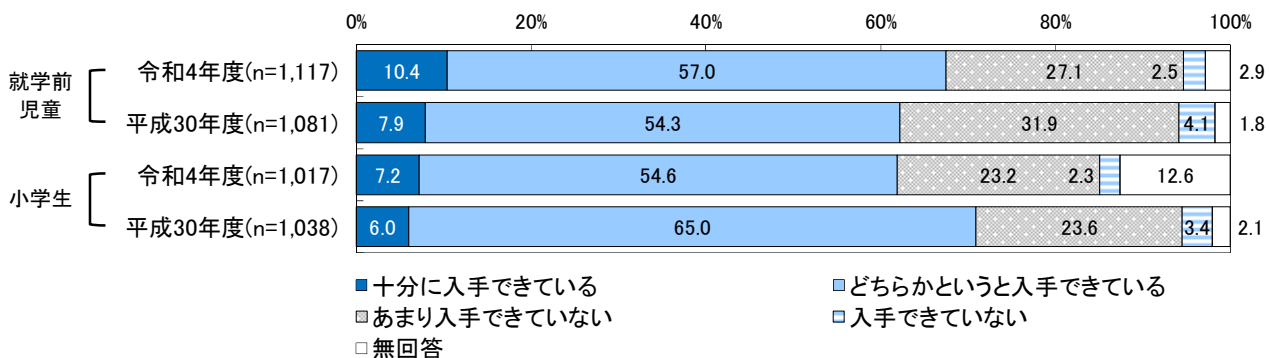
子育て支援に関する情報を十分に得られていると思いますか。【〇は1つ】

【子育てに関する情報の入手状況】



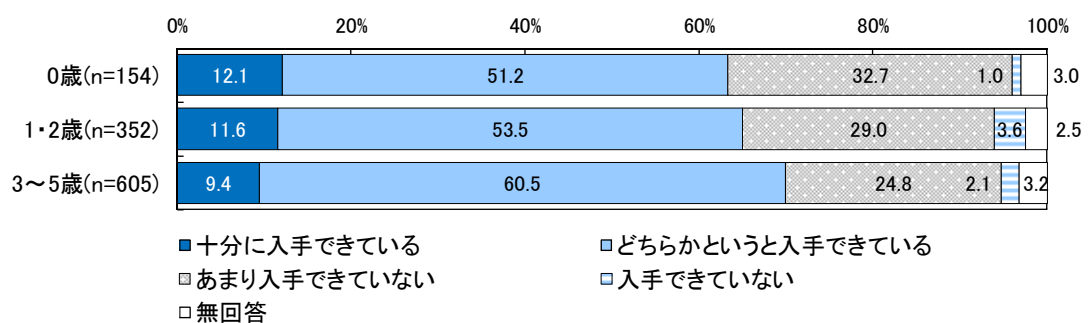
子育てに関する情報の入手状況について、『入手できている』（「十分に入手できている」＋「どちらかというと入手できている」と回答した割合が就学前児童で67.4%、小学生で61.8%、『入手できていない』（「入手できていない」＋「あまり入手できていない」と回答した割合が就学前児童で29.6%、小学生で25.5%となっている。

【子育てに関する情報の入手状況（前回調査結果との比較）】



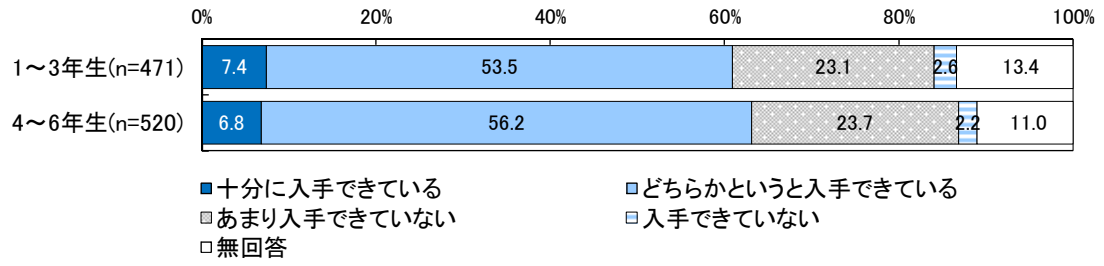
前回調査結果と比較すると、『入手できている』と回答した割合は就学前児童では上昇しているが、小学生では低下している。

【子育てに関する情報の入手状況（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、年齢が高くなるほど『入手できている』と回答した割合が高くなっている。

【子育てに関する情報の入手状況（小学生・学年別）】

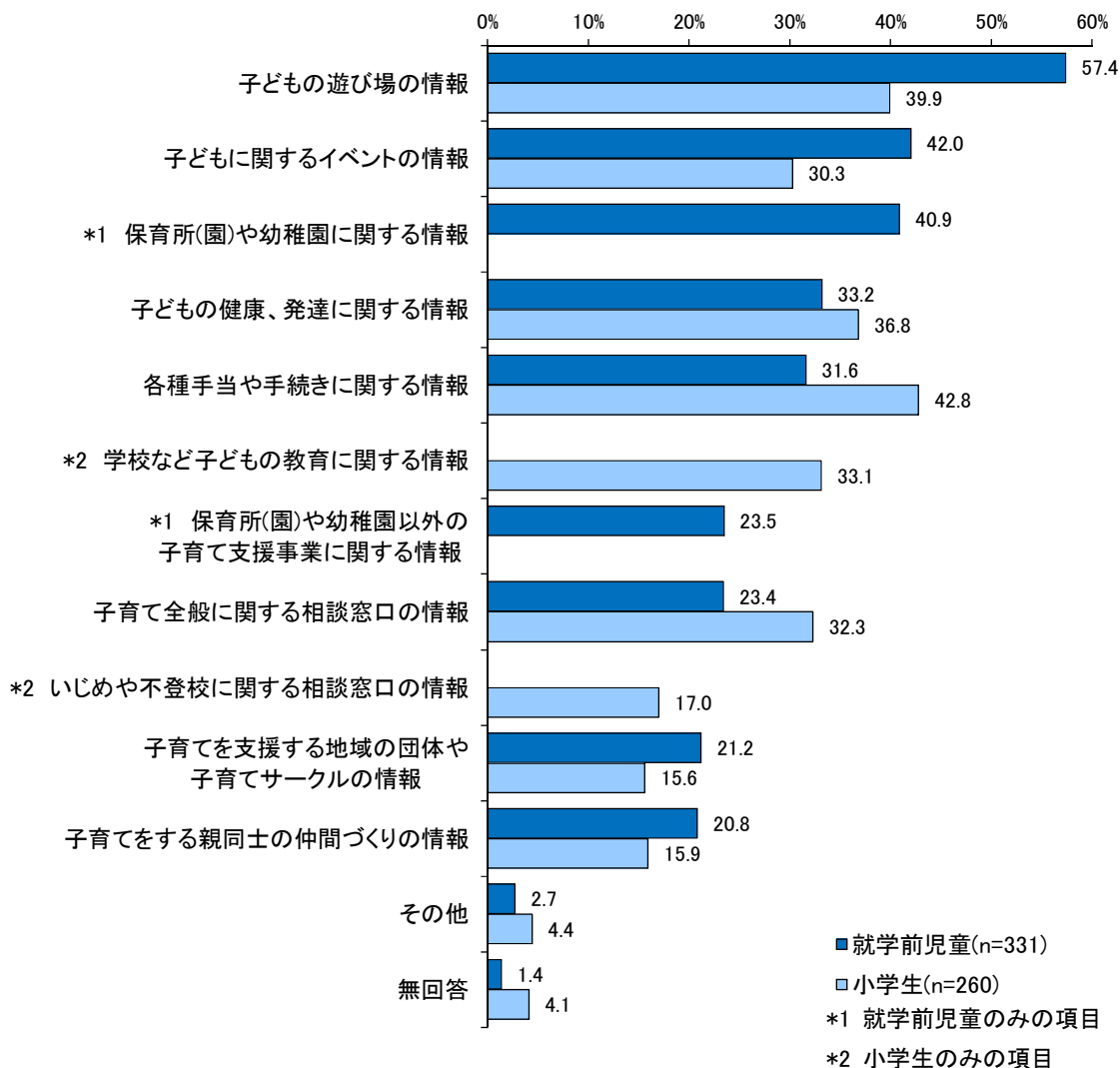


学年別にみると、大きな差はみられない。

問 35-1 就学前児童・問 27-1 小学生

どのような情報が不足していると思いますか。【〇は当てはまるものすべて】

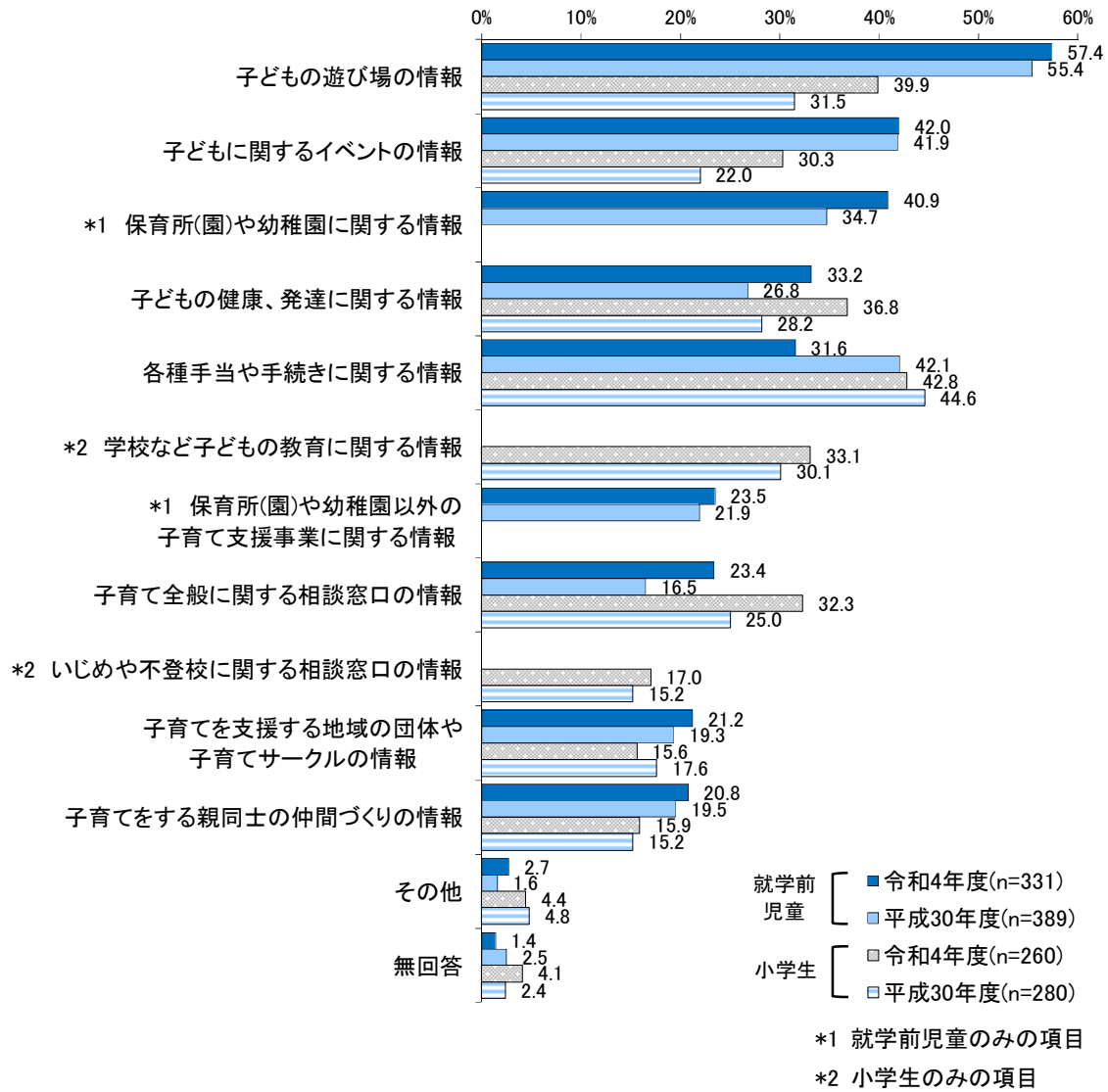
【不足を感じる子育てに関する情報】



不足を感じる子育てに関する情報について、就学前児童では「子どもの遊び場の情報」と回答した割合が 57.4%と最も高く、「子どもに関するイベントの情報」(42.0%)、「保育所(園)や幼稚園に関する情報」(40.9%)が続いている。

小学生では「各種手当や手続きに関する情報」と回答した割合が 42.8%と最も高く、「子どもの遊び場の情報」(39.9%)、「子どもの健康、発達に関する情報」(36.8%)が続いている。

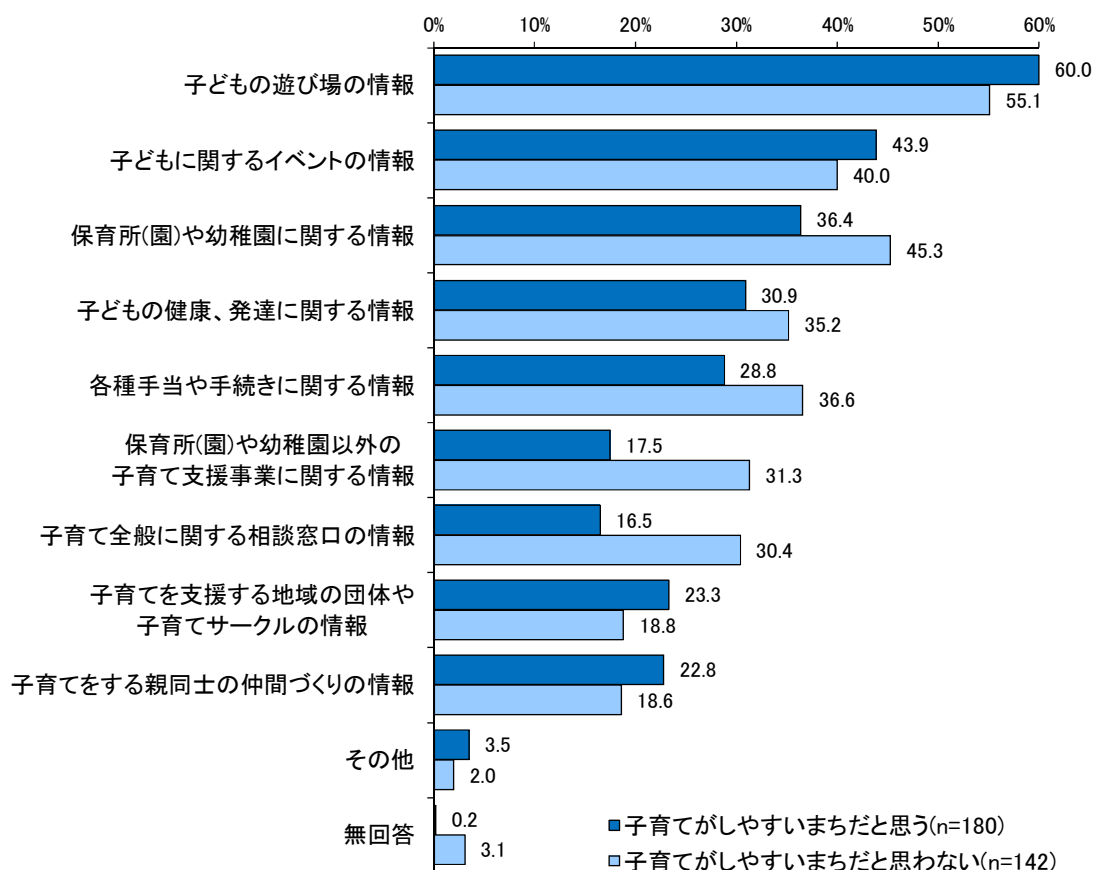
【不足を感じる子育てに関する情報（前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、就学前児童では、「保育所（園）や幼稚園に関する情報」、「子育て全般に関する相談窓口の情報」と回答した割合が上昇している。

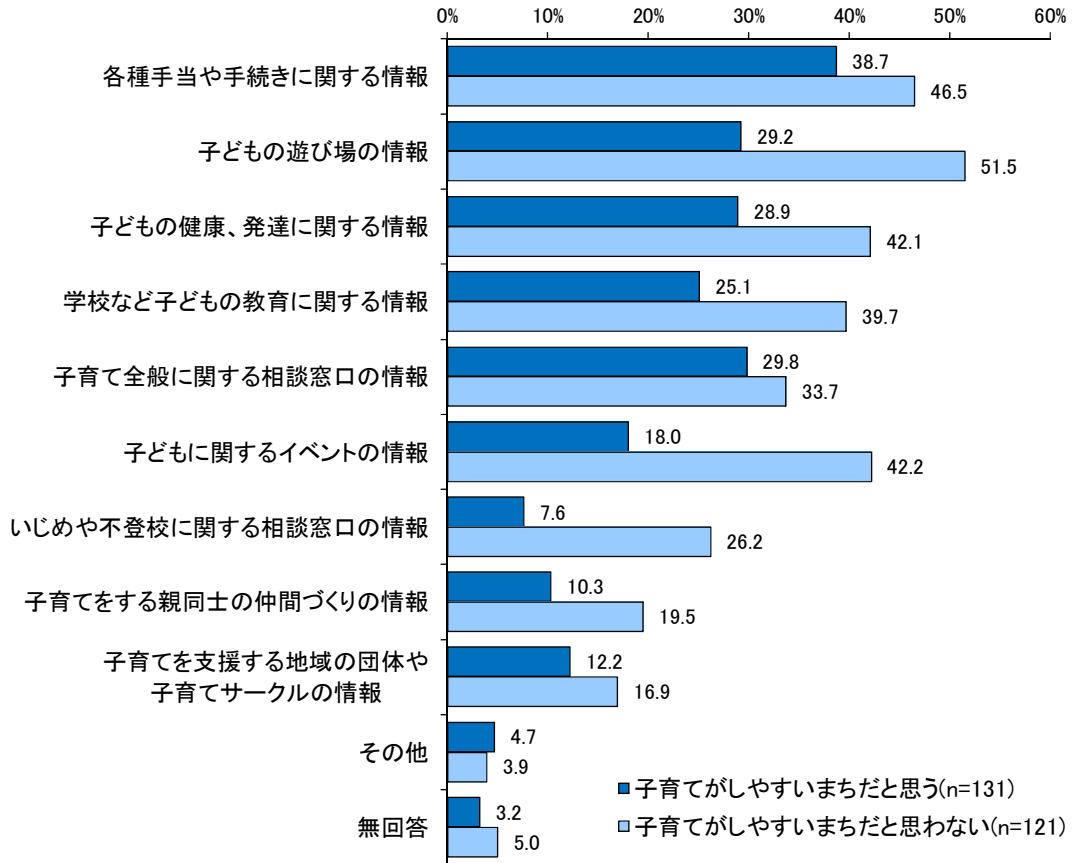
小学生では、「子どもの健康、発達に関する情報」、「子育て全般に関する相談窓口の情報」と回答した割合が上昇している。

【不足を感じる子育てに関する情報（就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、就学前児童では「保育所(園)や幼稚園以外の子育て支援事業に関する情報」、「子育て全般に関する相談窓口の情報」と回答した割合は子育てがしやすいまちだと思わない層で高くなっている。

【不足を感じる子育てに関する情報（小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別）】



尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、小学生では多くの項目で子育てがしやすいまちだと思わない層が思う層よりも高くなっており、「子どもの遊び場の情報」、「子どもの健康、発達に関する情報」、「学校など子どもの教育に関する情報」、「子どもに関するイベントの情報」、「いじめや不登校に関する相談窓口の情報」の割合の差が大きくなっている。

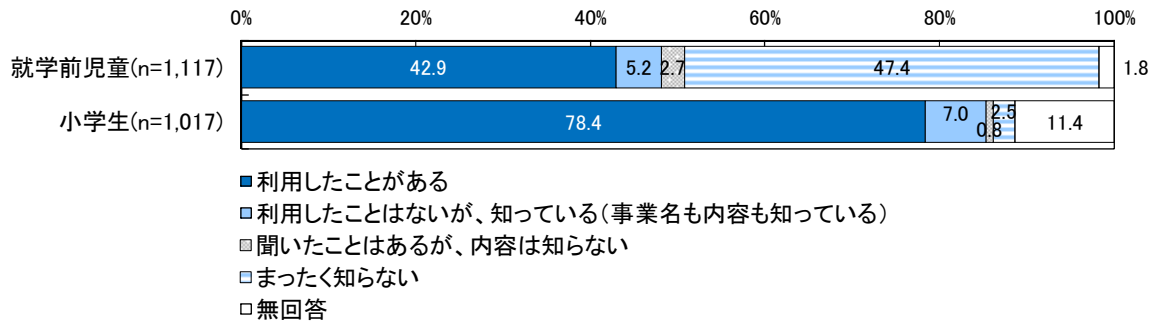
(9) 「C o D M O N (コドモン)」の利用経験

問 36 就学前児童・問 28 小学生

「C o D M O N (コドモン)」を利用したことがありますか。または、知っていますか。

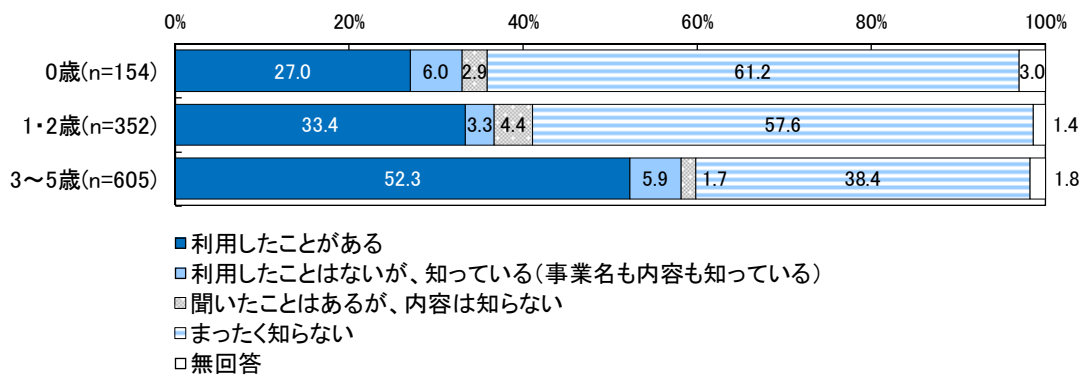
【○は1つ】

【「C o D M O N (コドモン)」の利用経験】



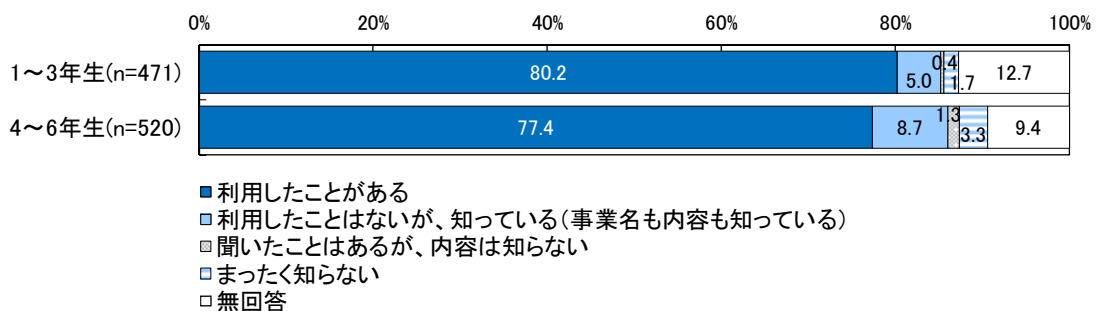
「C o D M O N (コドモン)」の利用経験について、「利用したことがある」と回答した割合が就学前児童で42.9%、小学生で78.4%、「まったく知らない」と回答した割合が就学前児童で47.4%、小学生で2.5%となっている。

【「C o D M O N (コドモン)」の利用経験 (就学前児童・年齢別)】



年齢別にみると、「利用したことがある」と回答した割合は3～5歳で高くなっている。

【「C o D M O N (コドモン)」の利用経験 (小学生・学年別)】



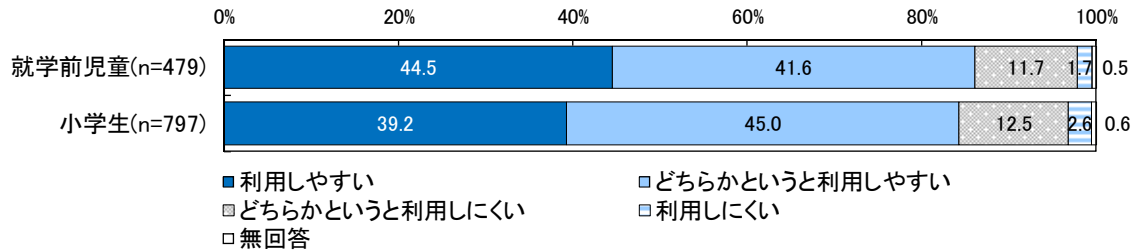
学年別にみると、大きな差はみられない。

問 36・問 28 で「1 利用したことがある」と回答した人のみ回答

問 36-1 就学前児童・問 28-1 小学生

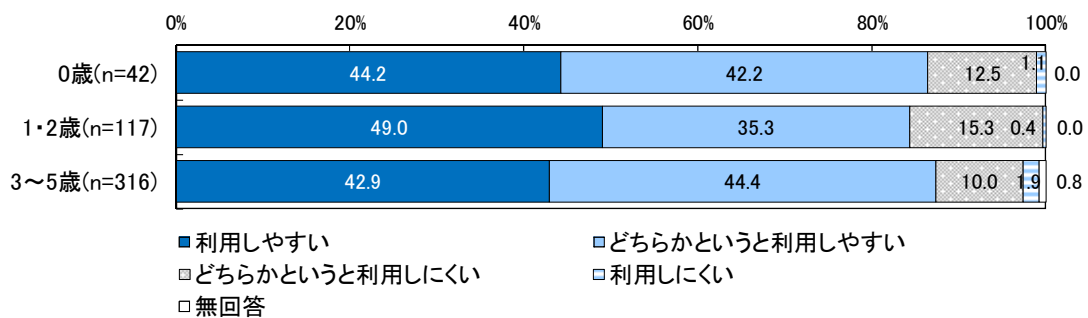
「C o DMON (コドモン)」は利用しやすいと思いますか。【〇は1つ】

【「C o DMON (コドモン)」の利便性】



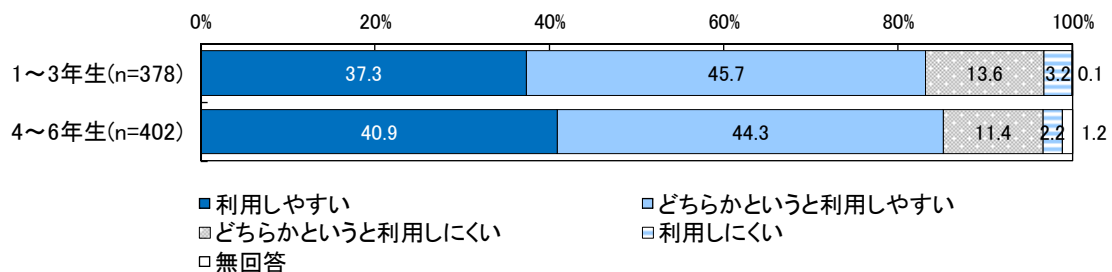
「C o DMON (コドモン)」の利便性について、『利用しやすい』（「利用しやすい」＋「どちらかという util しやすい」）と回答した割合が就学前児童で 86.1%、小学生で 84.2%、『利用にくい』（「利用にくい」＋「どちらかという util にくい」）と回答した割合が就学前児童で 13.4%、小学生で 15.1%となっている。

【「C o DMON (コドモン)」の利便性（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、大きな差はみられない。

【「C o DMON (コドモン)」の利便性（小学生・学年別）】



学年別にみると、大きな差はみられない。

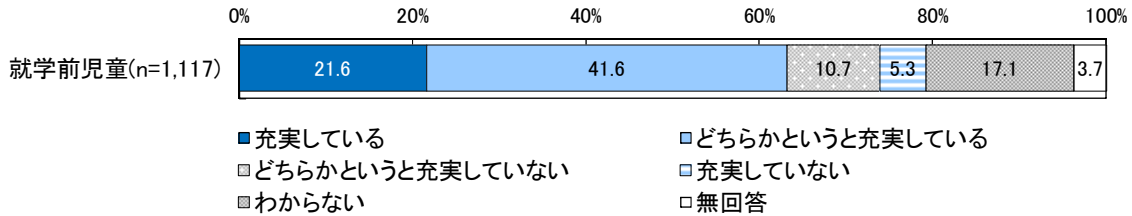
(10) 幼児期の教育環境の充実度

問 37 就学前児童

お子さんが通う施設や地域において、幼児期の教育環境が充実していると思いますか。

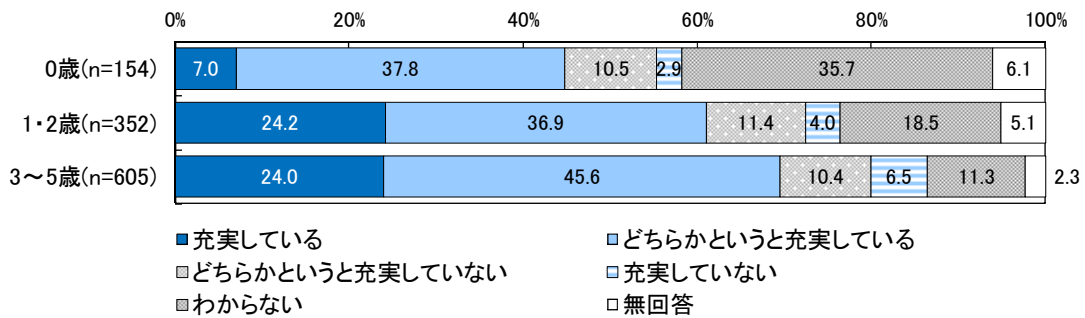
【〇は1つ】

【幼児期の教育環境の充実度】



幼児期の教育環境の充実度について、『充実している』（「充実している」＋「どちらかという充実している」）と回答した割合が63.2%、『充実していない』（「充実していない」＋「どちらかという充実していない」）と回答した割合が16.0%となっている。

【幼児期の教育環境の充実度（就学前児童・年齢別）】

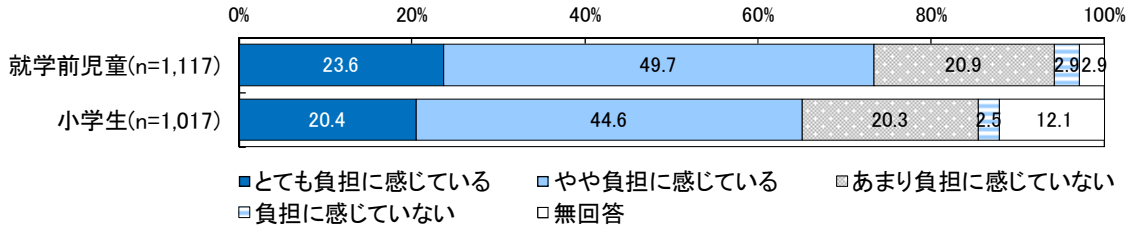


年齢別にみると、『充実している』と回答した割合は3～5歳で高くなっている。

(11) 出産や子育てにかかる費用の負担の程度

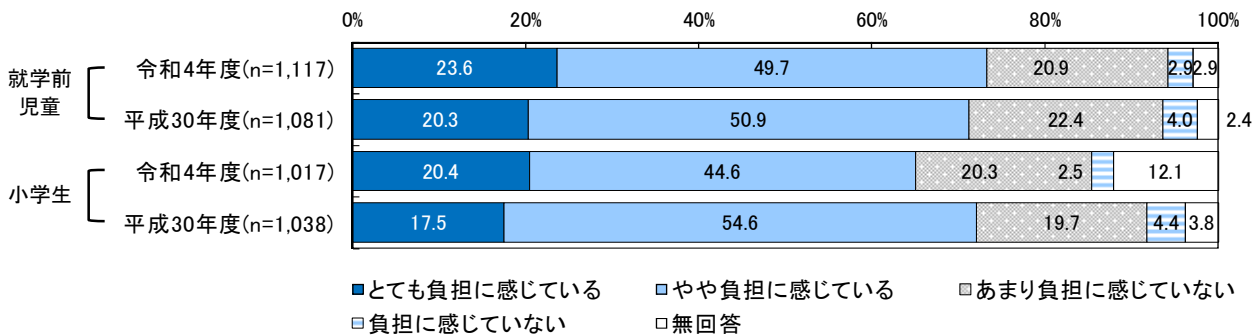
問 38 就学前児童・問 29 小学生
 出産や子育てにかかる費用を負担だと感じますか。【〇は1つ】

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度】



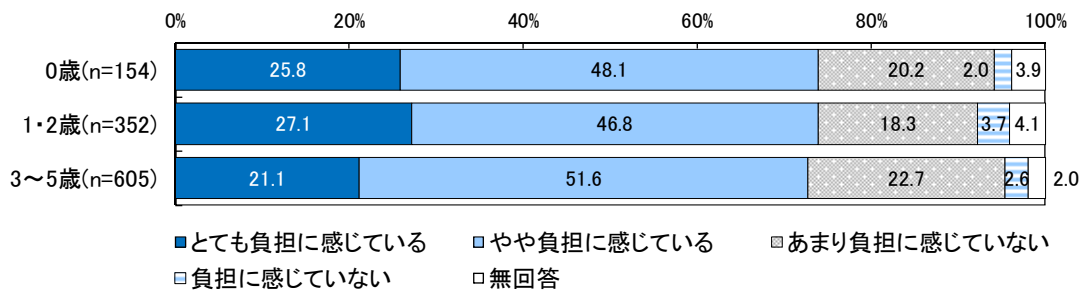
出産や子育てにかかる費用の負担の程度について、『負担に感じている』（「とても負担に感じている」+「やや負担に感じている」）と回答した割合が就学前児童で73.3%、小学生で65.0%、『負担に感じていない』（「負担に感じていない」+「あまり負担に感じていない」）と回答した割合が就学前児童で23.8%、小学生で22.8%となっている。

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（前回調査結果との比較）】



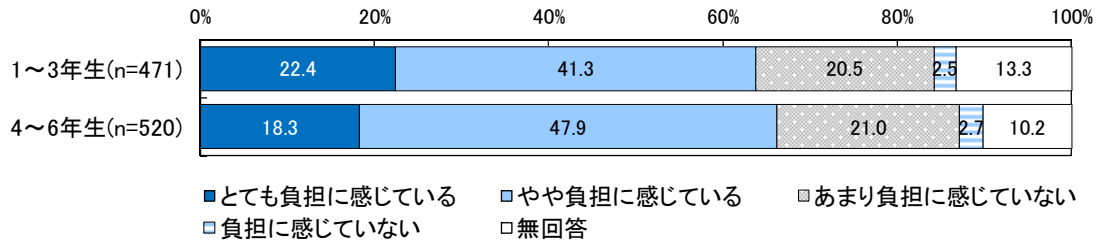
前回調査結果と比較すると、『負担に感じている』と回答した割合は小学生で低下している。

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（就学前児童・年齢別）】



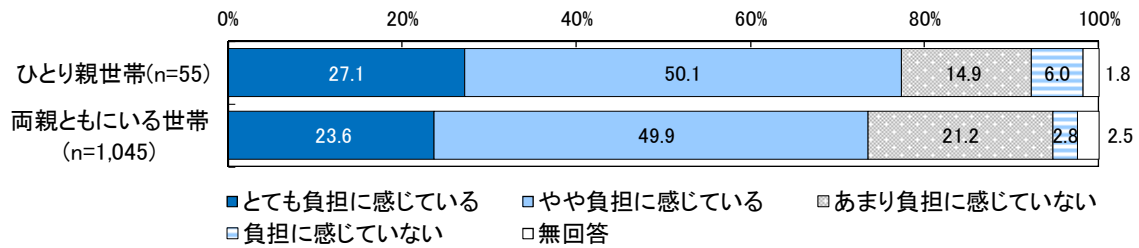
年齢別にみると、大きな差はみられない。

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（小学生・学年別）】

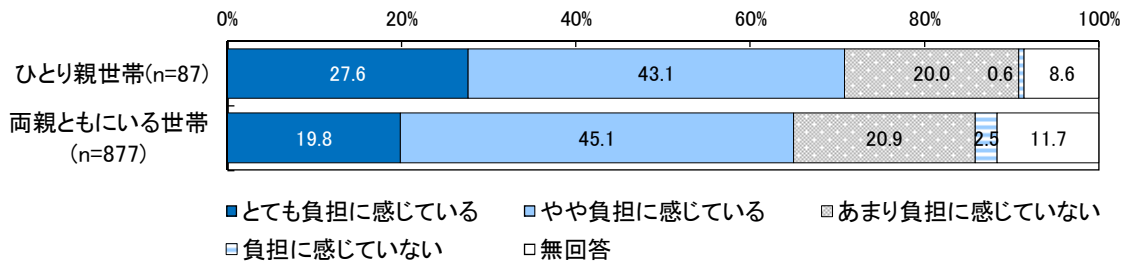


学年別にみると、大きな差はみられない。

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（就学前児童・世帯状況別）】



【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（小学生・世帯状況別）】



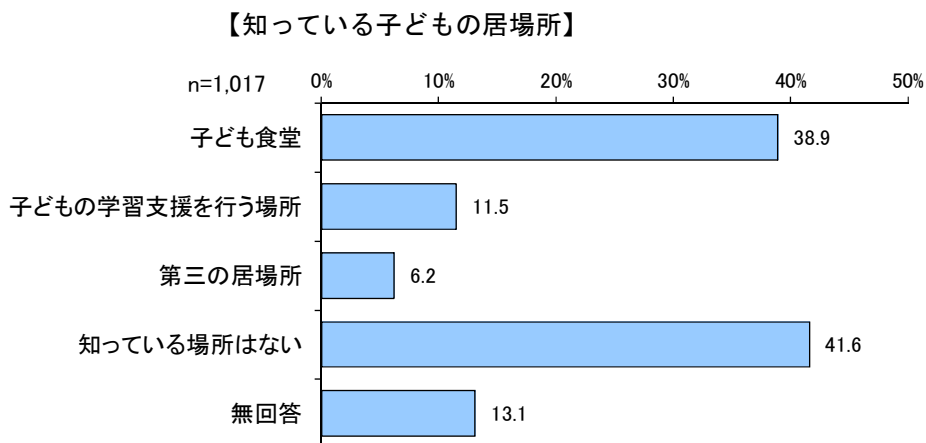
世帯状況別にみると、「とても負担に感じている」と回答した割合は小学生のひとり親世帯で高くなっている。

(12) 子どもの居場所について

問 30 小学生

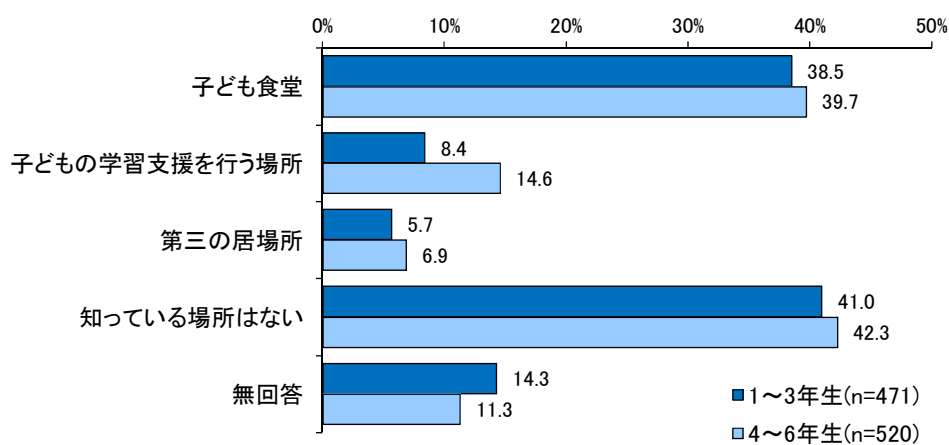
次のような子どもの居場所について、知っている場所を回答してください。

【〇は当てはまるものすべて】



知っている子どもの居場所について、「子ども食堂」と回答した割合が 38.9%と最も高く、「子どもの学習支援を行う場所」(11.5%)、「第三の居場所」(6.2%)が続いている。
また、「知っている場所はない」と回答した割合が 41.6%となっている。

【知っている子どもの居場所 (小学生・学年別)】



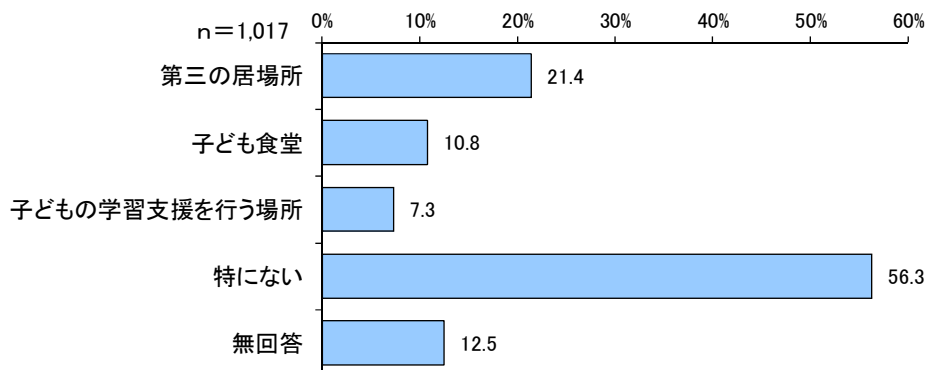
学年別にみると、「子どもの学習支援を行う場所」と回答した割合は4~6年生で高くなっている。

問 31 小学生

次のような子どもの居場所について、今後利用したいと思う場所を回答してください。

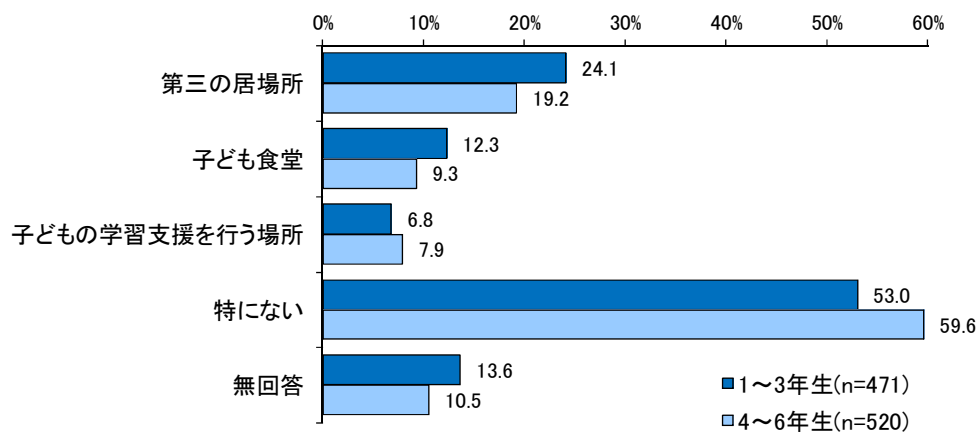
【〇は当てはまるものすべて】

【今後利用したいと思う子どもの居場所】



今後利用したいと思う子どもの居場所について、「第三の居場所」と回答した割合が 21.4%と最も高く、「子ども食堂」(10.8%)、「子どもの学習支援を行う場所」(7.3%)が続いている。

【今後利用したいと思う子どもの居場所（小学生・学年別）】



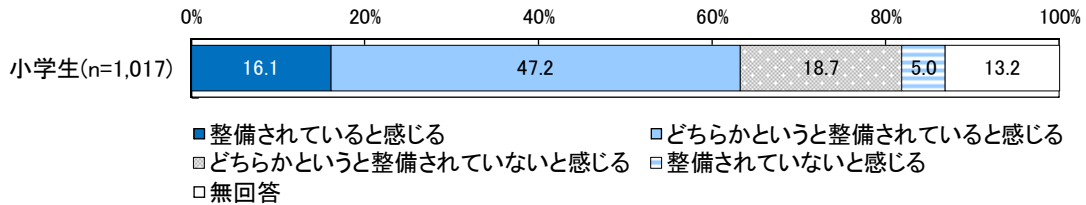
学年別にみると、「第三の居場所」と回答した割合は1～3年生で高くなっている。

(13) 子どもの成長にとって良好な情報環境の整備状況

問 32 小学生

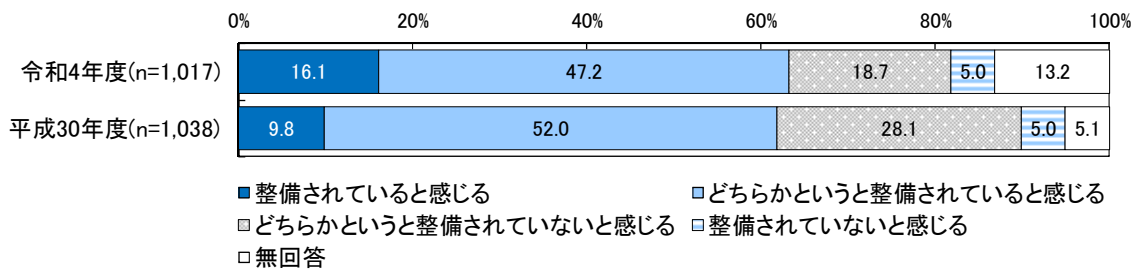
子どもの成長にとって良好な情報環境が整備されていると感じますか。【〇は1つ】

【子どもの成長に良好な情報環境の整備状況】



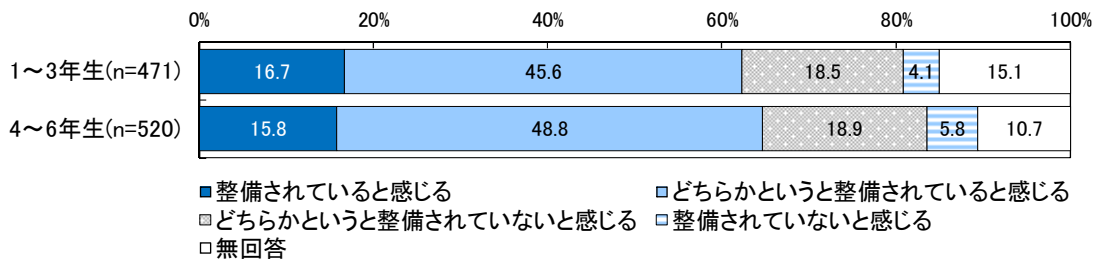
子どもの成長に良好な情報環境の整備状況について、『整備されていると感じる』（「整備されていると感じる」+「どちらかというと感じていると感じる」）と回答した割合が63.3%、『整備されていないと感じる』（「整備されていないと感じる」+「どちらかというと感じていないと感じる」）と回答した割合が23.7%となっている。

【子どもの成長に良好な情報環境の整備状況（小学生・前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、『整備されていると感じる』と回答した割合は大きな変化はみられない。

【子どもの成長に良好な情報環境の整備状況（小学生・学年別）】



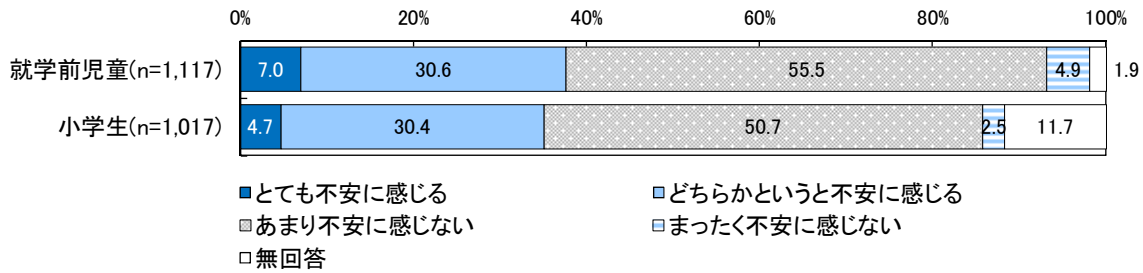
学年別にみると、大きな差はみられない。

(14) 地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度

問 39 就学前児童・問 33 小学生

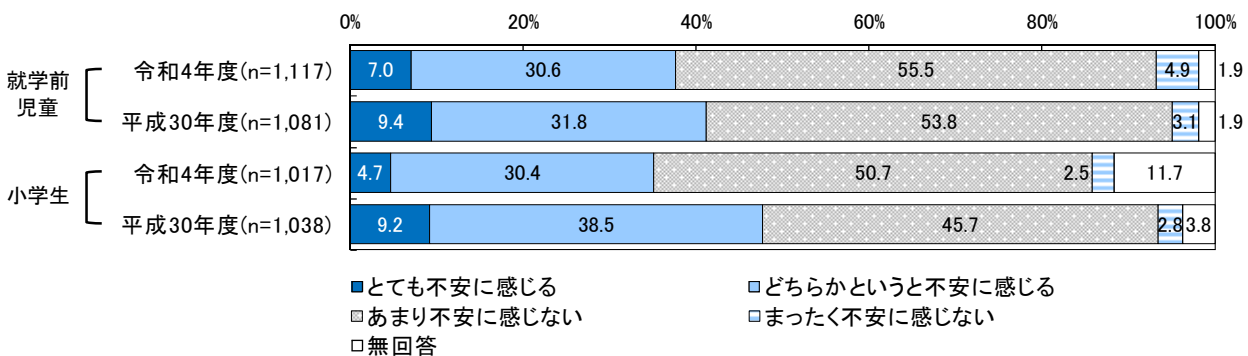
あて名のお子さんが住んでいる地域は、子どもが被害となる事故や犯罪への不安を感じますか。【〇は1つ】

【地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度】



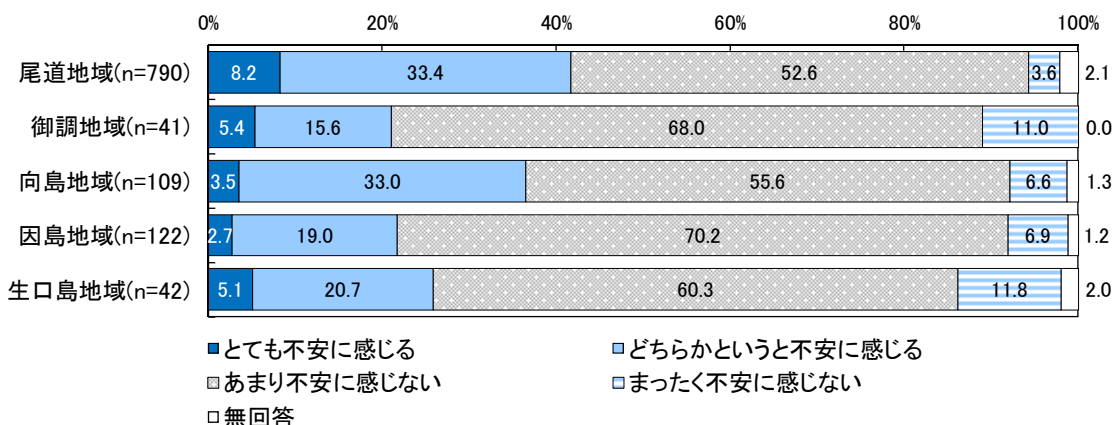
地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度について、『不安を感じる』（「とても不安を感じる」+「どちらかという不安を感じる」）と回答した割合が就学前児童で37.6%、小学生で35.1%、『不安に感じない』（「まったく不安に感じない」+「あまり不安に感じない」）と回答した割合が就学前児童で60.4%、小学生で53.2%となっている。

【地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度（前回調査結果との比較）】



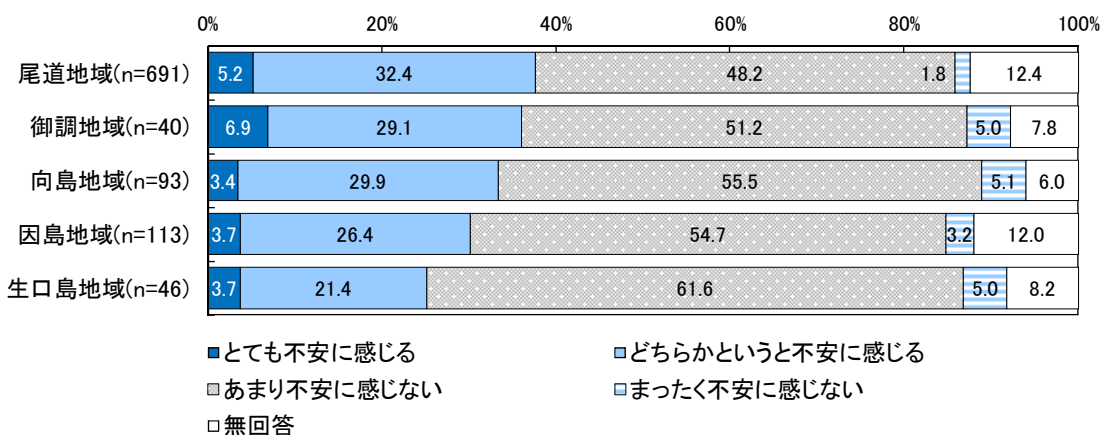
前回調査結果と比較すると、『不安を感じる』と回答した割合は小学生で低下している。

【地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度（就学前児童・居住地域別）】



居住地域別にみると、就学前児童では『不安を感じる』と回答した割合は尾道地域、向島地域で高くなっている。

【地域での、子どもが被害となる事故や犯罪への不安の程度（小学生・居住地域別）】



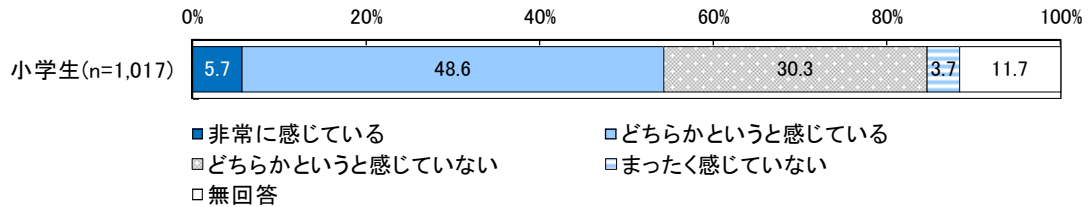
居住地域別にみると、小学生では『不安を感じる』と回答した割合は尾道地域、御調地域で高くなっている。

(15) 子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか

問 34 小学生

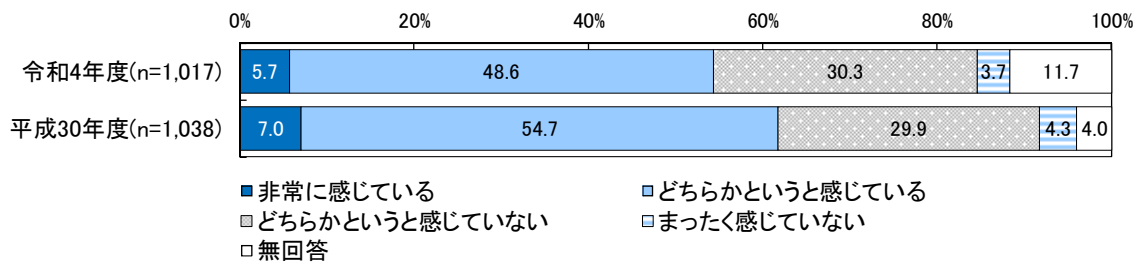
子どもが自然・社会・文化などのいろいろな経験をできる地域だと感じますか。【〇は1つ】

【子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか】



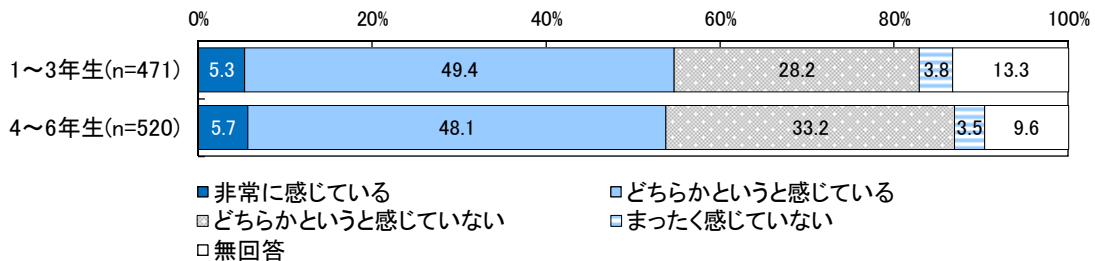
子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるかについて、『感じている』（「非常に感じている」＋「どちらかというと感じている」）と回答した割合が 54.3%、『感じていない』（「まったく感じていない」＋「どちらかというと感じていない」）と回答した割合が 34.0%となっている。

【子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか（小学生・前回調査結果との比較）】



前回調査結果と比較すると、『感じている』と回答した割合は低下している。

【子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか（小学生・学年別）】



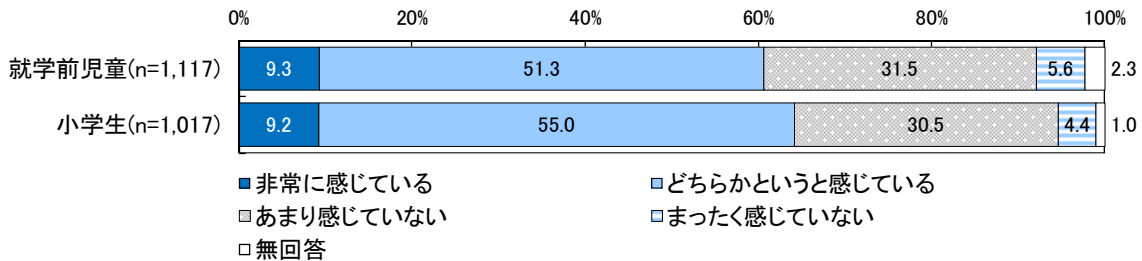
学年別にみると、『感じている』と回答した割合は大きな差はみられない。

(16) 地域の人々や社会全体の支えの感じ方

問 40 就学前児童・問 35 小学生

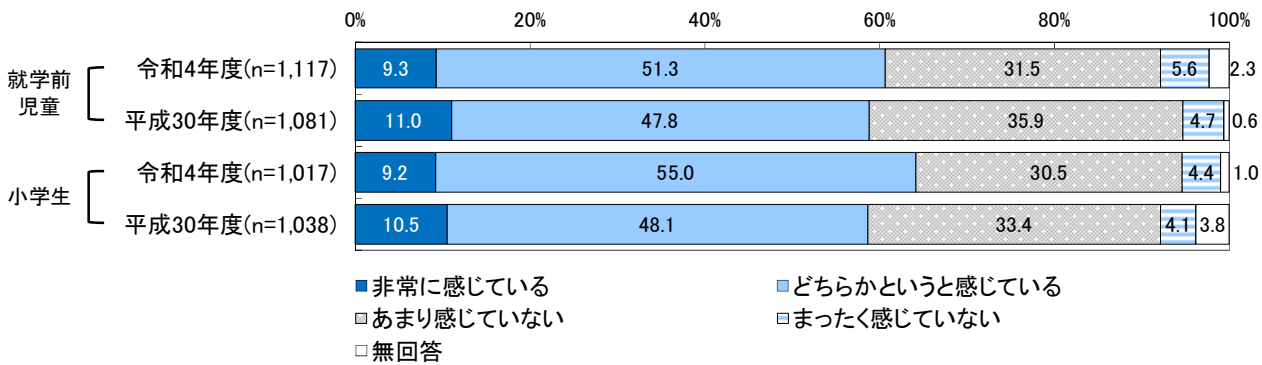
自分自身の子育てが地域の人々や社会全体に支えられていると感じますか。【〇は1つ】

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方】



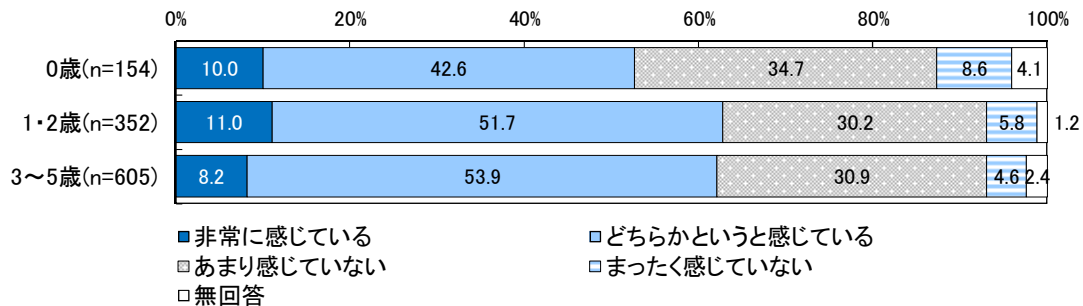
地域の人々や社会全体の支えの感じ方について、『感じている』（「非常に感じている」＋「どちらかというと感じている」）と回答した割合が就学前児童で60.6%、小学生で64.2%、『感じていない』（「まったく感じていない」＋「あまり感じていない」）と回答した割合が就学前児童で37.1%、小学生で34.9%となっている。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（前回調査結果との比較）】



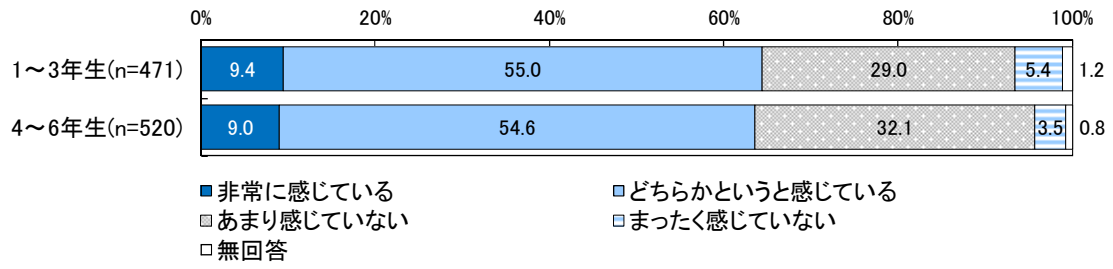
前回調査結果と比較すると、『感じている』と回答した割合は小学生で上昇している。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（就学前児童・年齢別）】



年齢別にみると、『感じている』と回答した割合は0歳で低くなっている。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（小学生・学年別）】



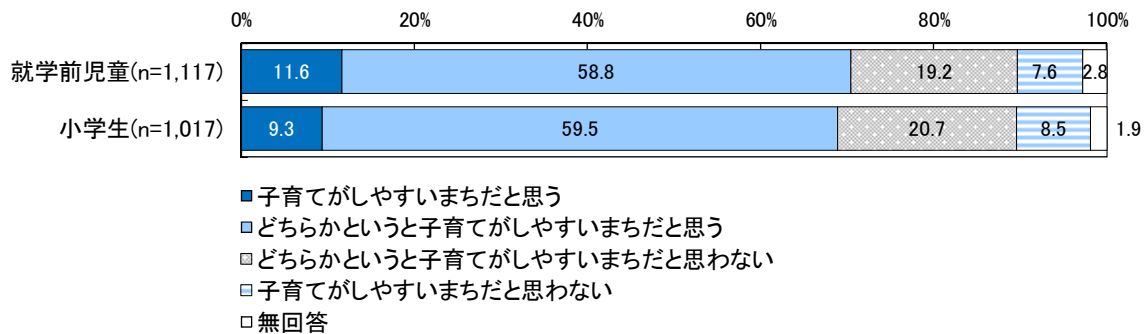
学年別にみると、大きな差はみられない。

(17) 尾道市の子育てのしやすさの評価

問 41 就学前児童・問 36 小学生

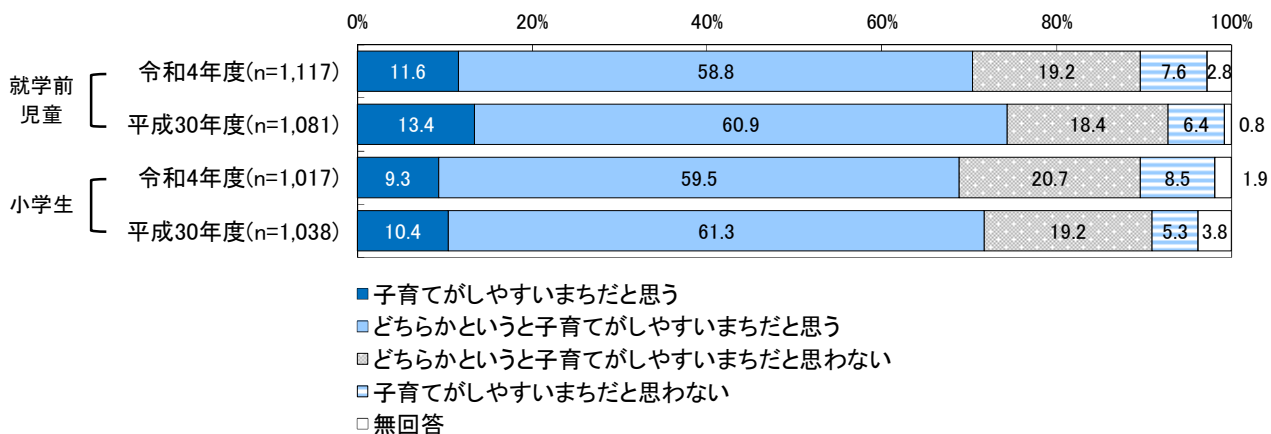
尾道市は子育てがしやすいまちだと思いますか。【○は1つ】

【尾道市の子育てのしやすさの評価】



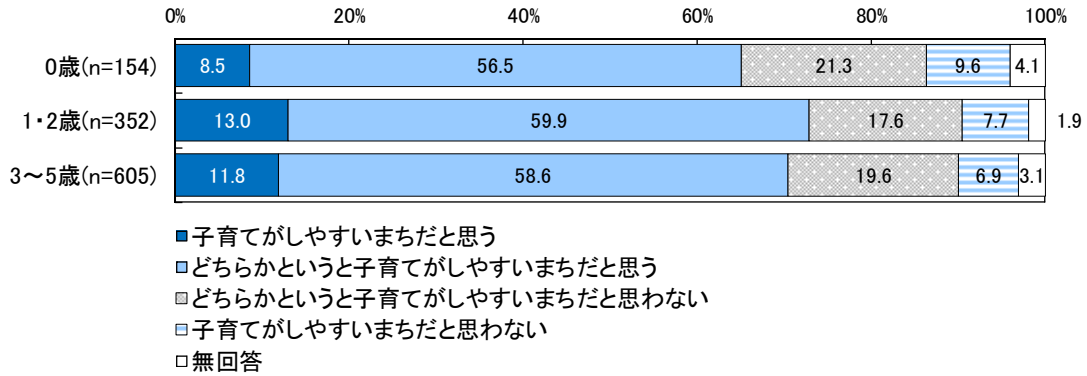
尾道市の子育てのしやすさの評価について、『子育てがしやすいまちだと思う』（「子育てがしやすいまちだと思う」＋「どちらかという子育てがしやすいまちだと思う」）と回答した割合が就学前児童で70.4%、小学生で68.8%、『子育てがしやすいまちだと思わない』（「子育てがしやすいまちだと思わない」＋「どちらかという子育てがしやすいまちだと思わない」）と回答した割合が就学前児童で26.8%、小学生で29.2%となっている。

【尾道市の子育てのしやすさの評価（前回調査結果との比較）】



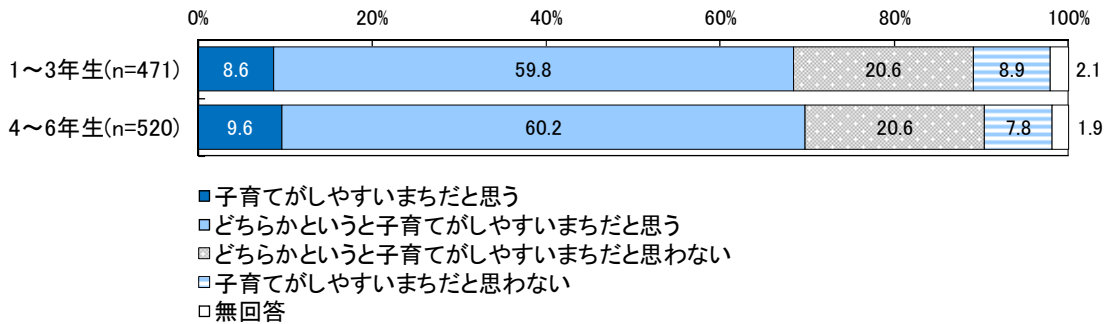
前回調査結果と比較すると、『子育てがしやすいまちだと思う』と回答した割合は就学前児童で低下している。

【尾道市の子育てのしやすさの評価（就学前児童・年齢別）】



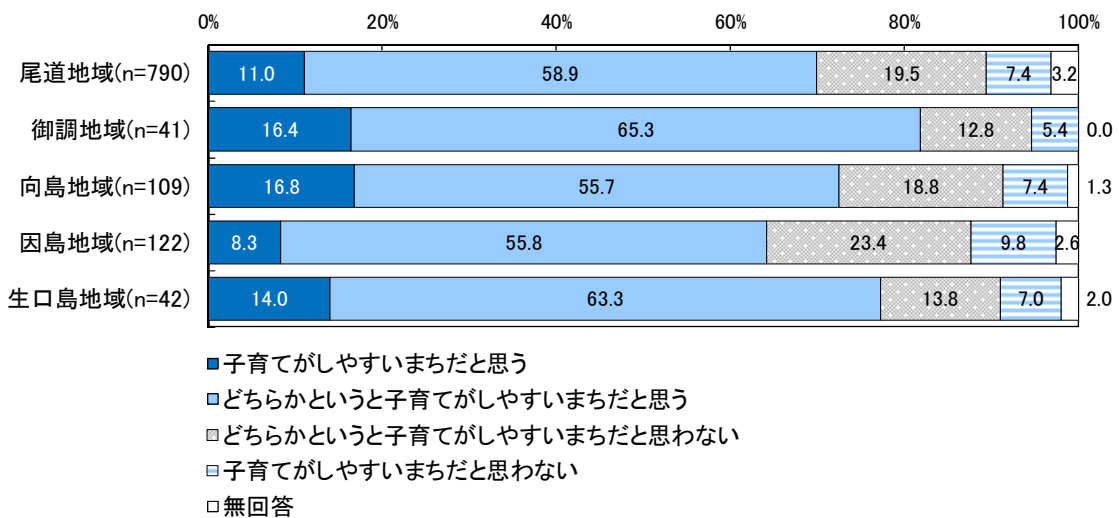
年齢別にみると、『子育てがしやすいまちだと思う』と回答した割合は0歳で低くなっている。

【尾道市の子育てのしやすさの評価（小学生・学年別）】

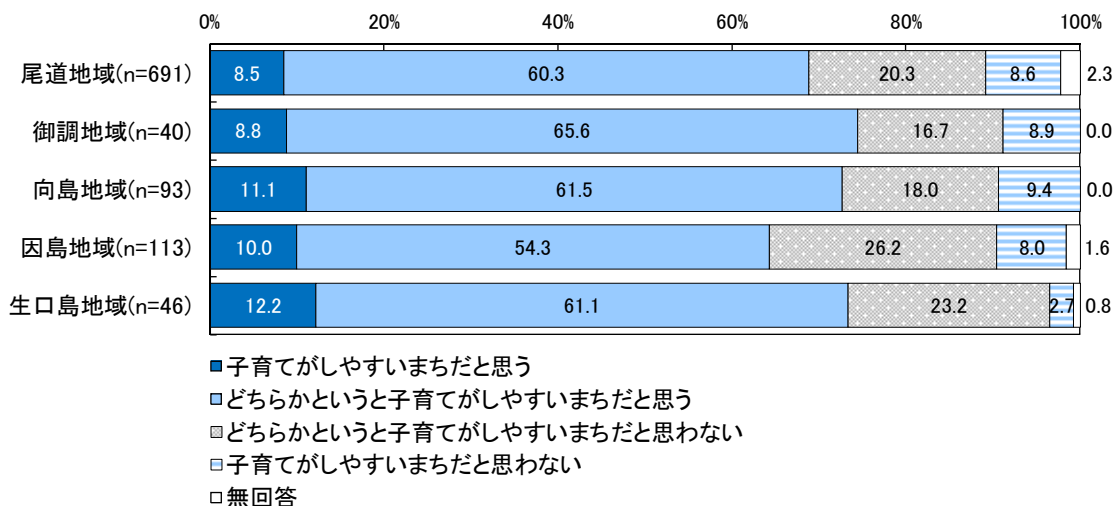


学年別にみると、大きな差はみられない。

【尾道市の子育てのしやすさの評価（就学前児童・居住地域別）】



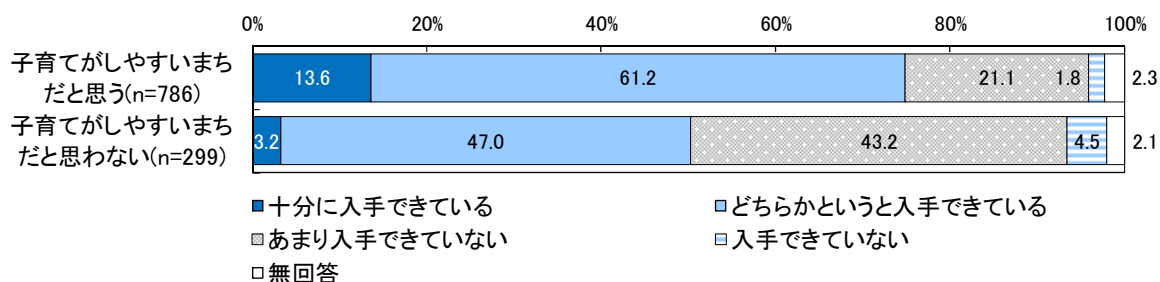
【尾道市の子育てのしやすさの評価（小学生・居住地域別）】



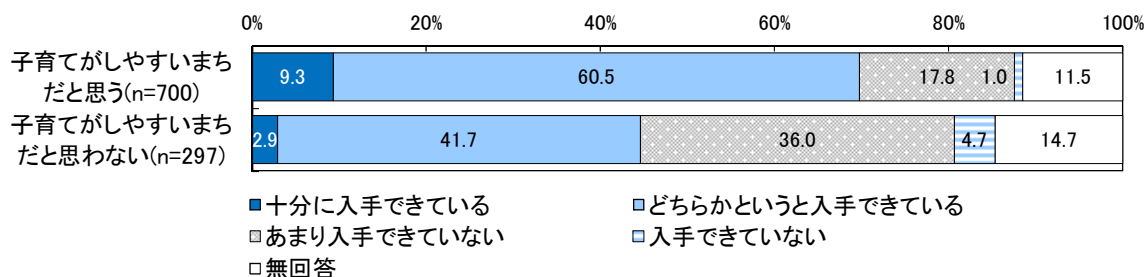
居住地域別にみると、『子育てがしやすいまちだと思う』と回答した割合は就学前児童、小学生ともに因島地域で低くなっている。

【子育てに関する情報の入手状況（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



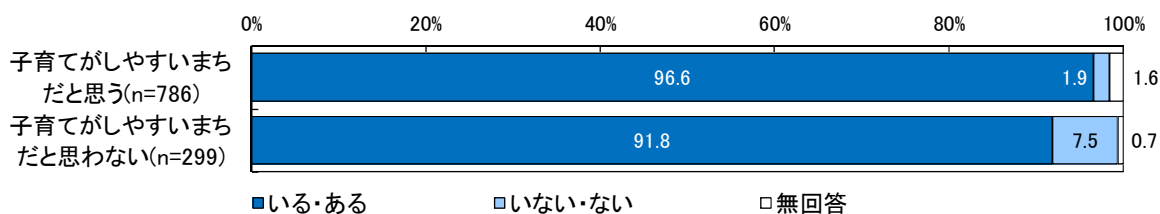
（小学生）



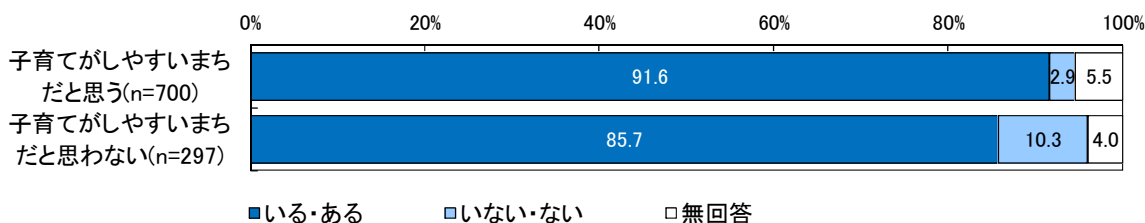
子育てに関する情報の入手状況について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『入手できている』と回答した割合が低く、就学前児童で50.2%、小学生で44.6%となっている。

【子育てに関する相談先の有無（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



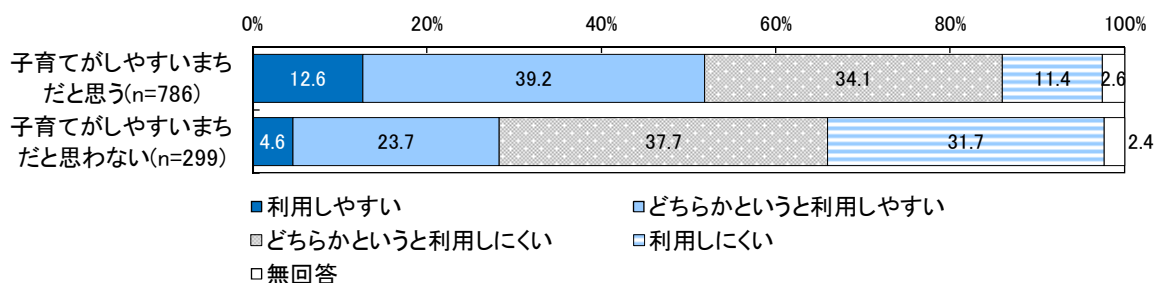
（小学生）



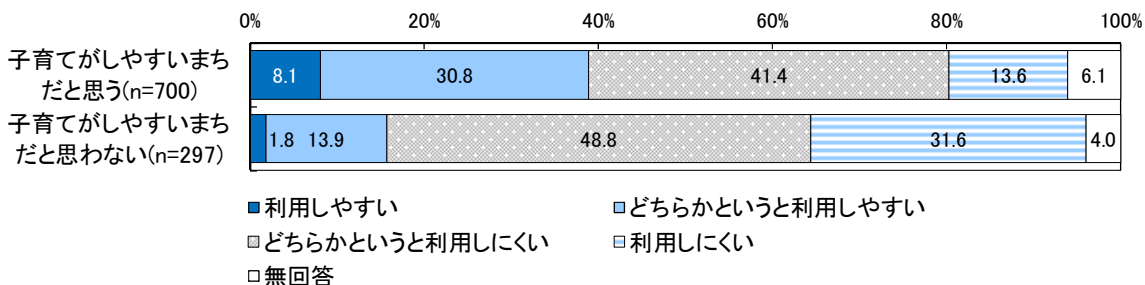
子育てに関する相談先の有無について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では「いない・ない」と回答した割合がやや高く、就学前児童で7.5%、小学生で10.3%となっている。

【公的な相談窓口の利便性（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



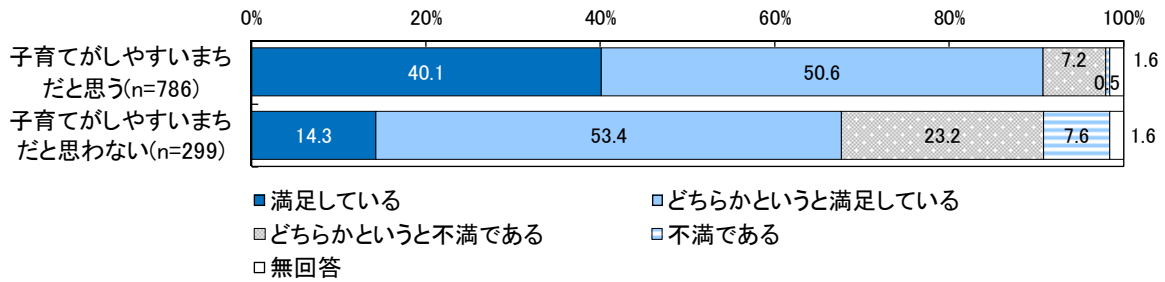
（小学生）



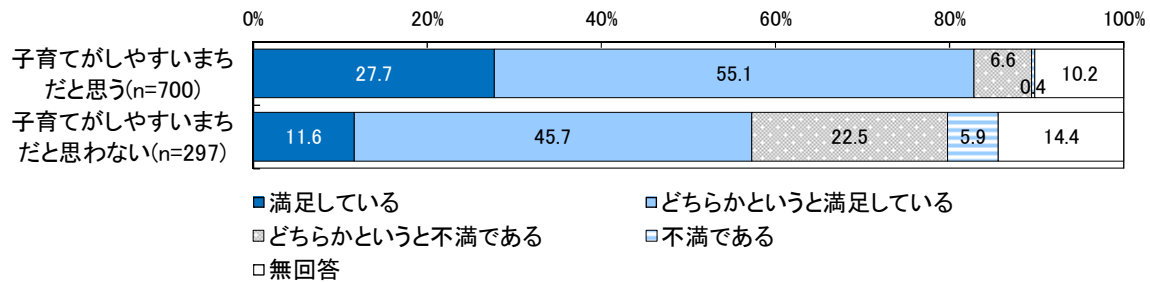
公的な相談窓口の利便性について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『利用しやすい』と回答した割合が低く、就学前児童で28.3%、小学生で15.7%となっている。

【子どもの健康づくり支援の満足度（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



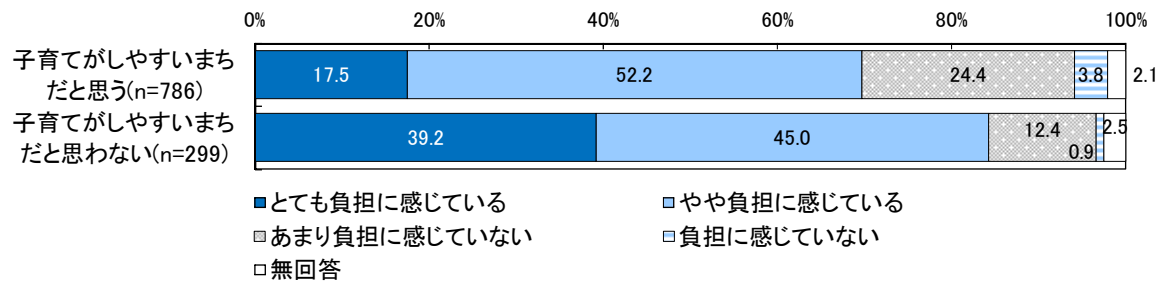
（小学生）



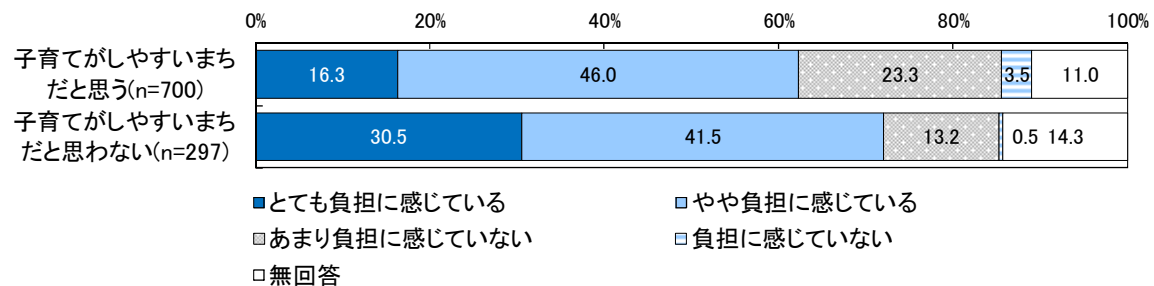
子どもの健康づくり支援の満足度について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『満足している』と回答した割合が低く、就学前児童で67.7%、小学生で57.3%となっている。

【出産や子育てにかかる費用の負担の程度（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



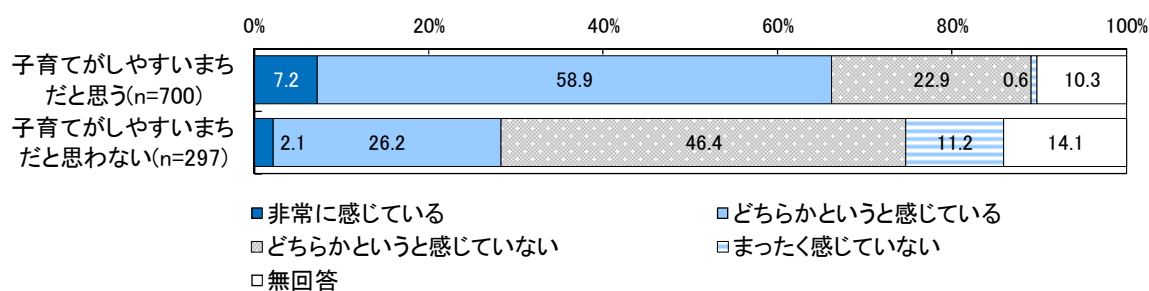
（小学生）



出産や子育てにかかる費用の負担の程度について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『負担に感じている』と回答した割合が高く、就学前児童で84.2%、小学生で72.0%となっている。

【子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるか

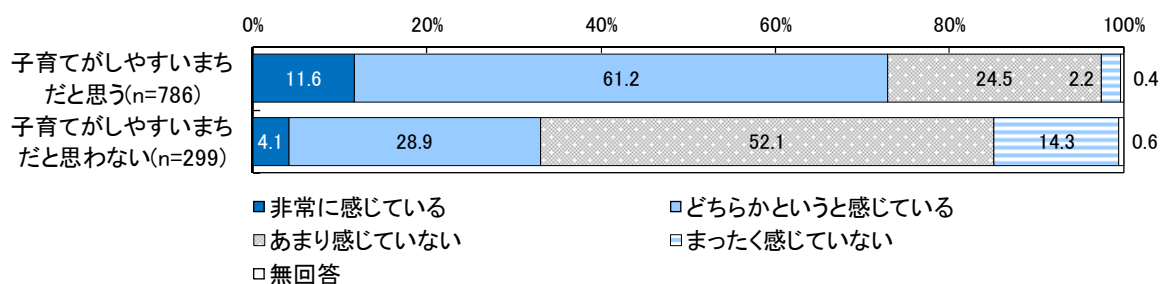
(小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別)



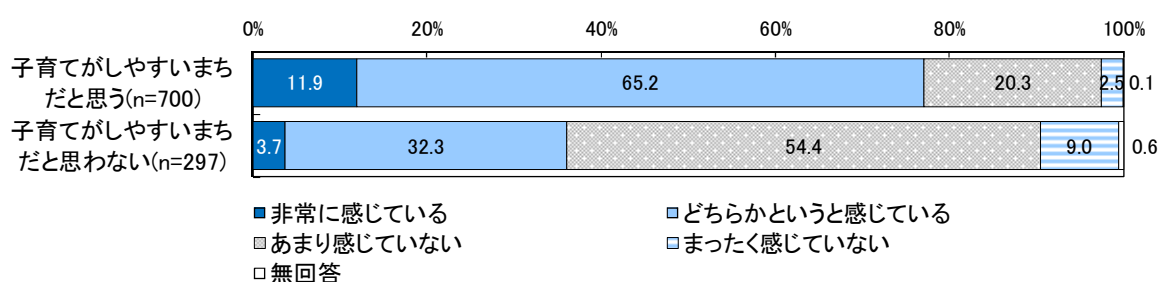
子どもが自然・社会・文化などの経験をできる地域だと感じるかについて、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『感じている』と回答した割合が低く、28.3%となっている。

【地域の人々や社会全体の支えの感じ方（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

(就学前児童)



(小学生)

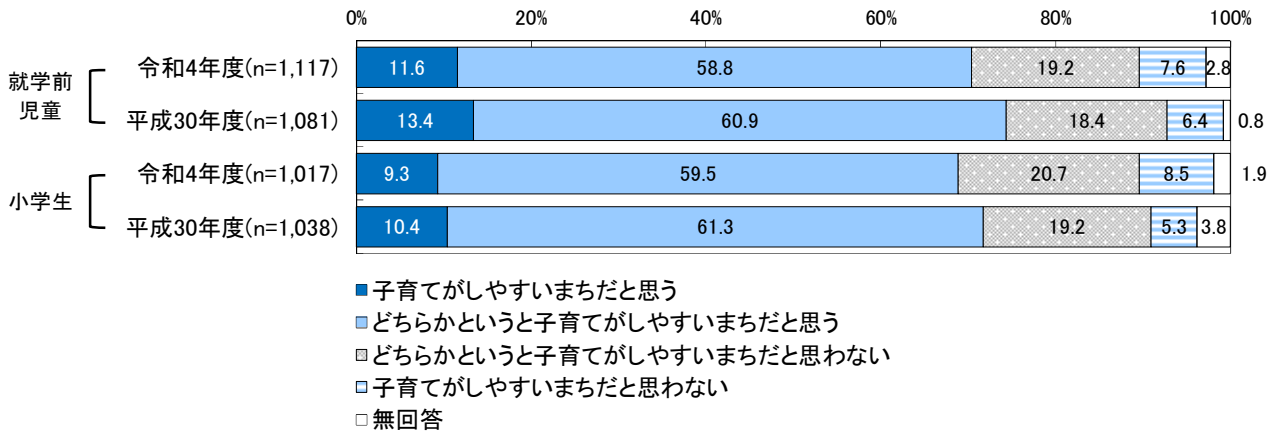


地域の人々や社会全体の支えの感じ方について、尾道市の子育てのしやすさの評価別にみると、子育てがしやすいまちだと思わない層では『感じている』と回答した割合が低く、就学前児童で33.0%、小学生で36.0%となっている。

12 指標に関する調査結果

指標 尾道市は子育てがしやすいまちだと思いますか。【〇は1つ】

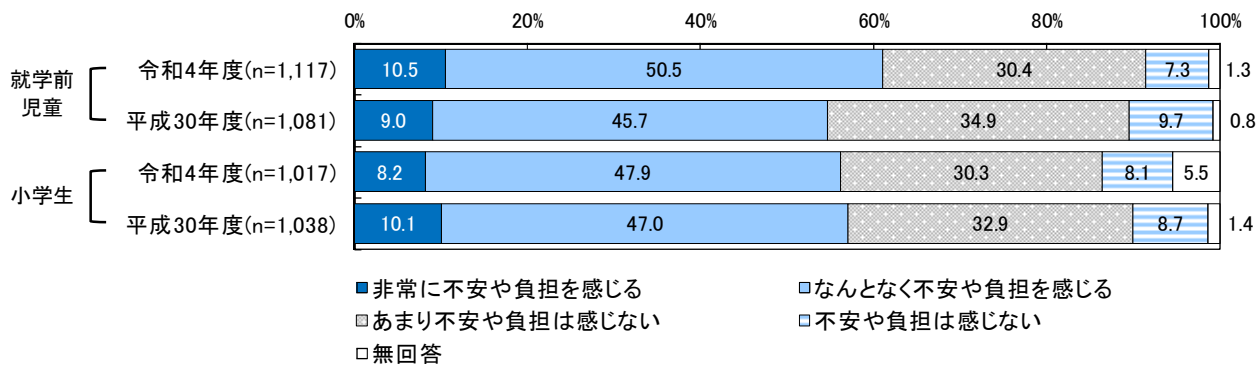
【尾道市の子育てのしやすさの評価（前回調査結果との比較）】



尾道市の子育てのしやすさの評価について、『子育てがしやすいまちだと思う』（「子育てがしやすいまちだと思う」＋「どちらかという子育てがしやすいまちだと思う」）と回答した割合が就学前児童で 70.4%、小学生で 68.8%であり、前回調査結果と比較すると就学前児童で低下している。

指標 子育てに関して不安や負担を感じることがありますか。【〇は1つ】

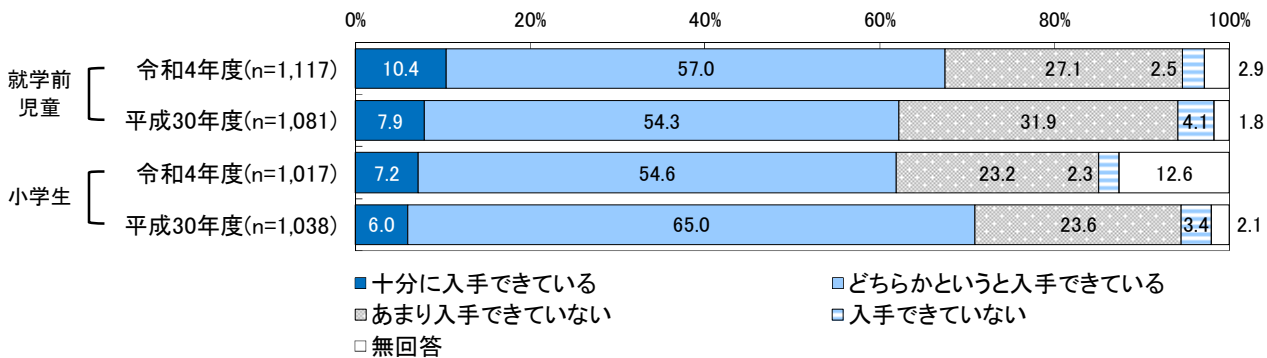
【子育てに関する不安や負担の程度（前回調査結果との比較）】



子育てに関する不安や負担の程度について、『不安や負担を感じる』（「非常に不安や負担を感じる」＋「なんとなく不安や負担を感じる」）と回答した割合が就学前児童で 61.0%、小学生で 56.1%であり、前回調査結果と比較すると就学前児童で上昇している。

指標 子育て支援に関する情報を十分に得られていると思いますか。【〇は1つ】

【子育てに関する情報の入手状況（前回調査結果との比較）】

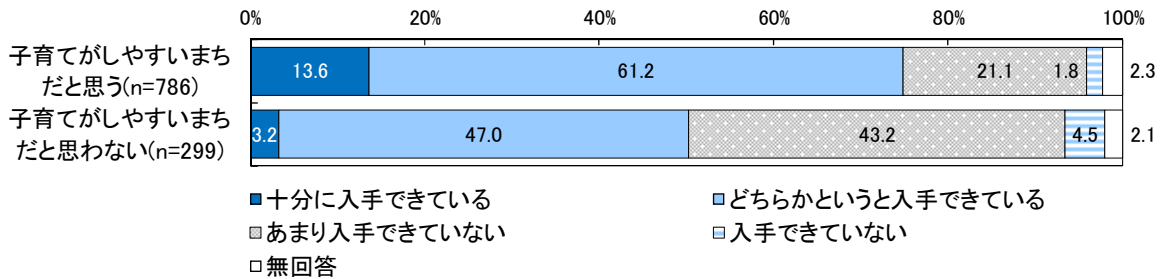


子育てに関する情報の入手状況について、『入手できている』（「十分に入手できている」＋「どちらかという入手できている」と回答した割合が就学前児童で67.4%、小学生で61.8%であり、前回調査結果と比較すると、就学前児童では上昇している。

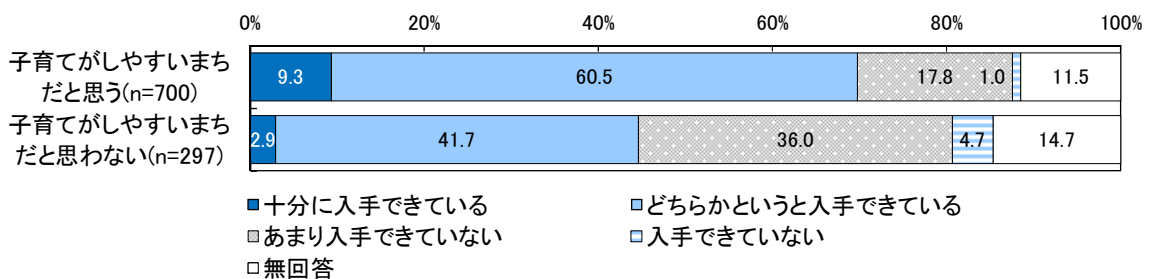
一方、小学生では『入手できている』と回答した割合が低下しているが、『入手できていない』（「入手できていない」＋「あまり入手できていない」と回答した割合に変化はなく、「無回答」の割合が上昇している。

【子育てに関する情報の入手状況（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



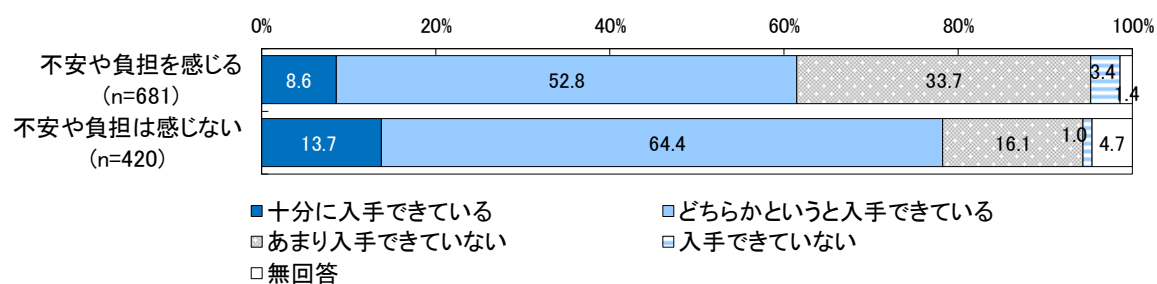
（小学生）



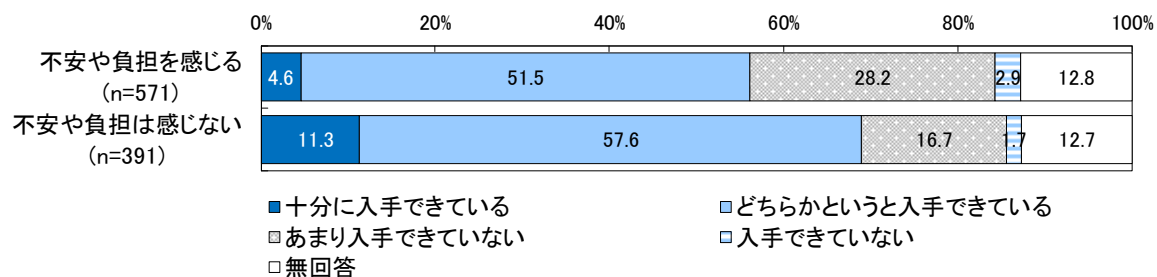
子育てがしやすいまちだと思わない層では、子育てに関する情報が『入手できていない』と回答した割合が就学前児童で47.7%、小学生で40.7%となっている。

【子育てに関する情報の入手状況（子育てに関する不安・負担の有無別）】

（就学前児童）



（小学生）



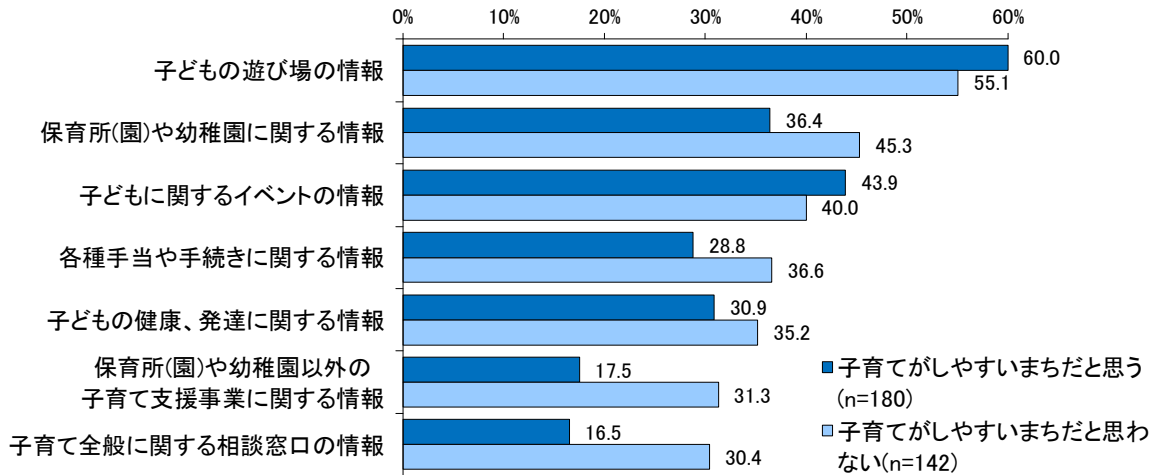
子育てに不安や負担を感じる層では、子育てに関する情報が『入手できていない』と回答した割合が就学前児童で37.1%、小学生で31.1%となっている。

どのような情報が不足していると思いますか。【〇は当てはまるものすべて】

【不足を感じる子育てに関する情報/上位7項目

(就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別)

～子育て支援に関する情報について「あまり入手できていない」「入手できていない」と回答した人～

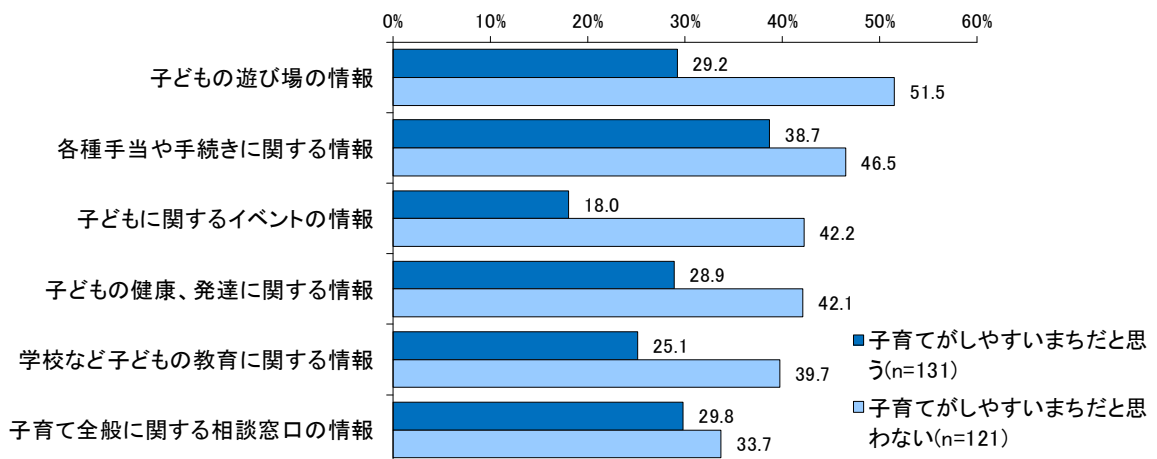


就学前児童の子育てがしやすいまちだと思わない層では、不足を感じる子育てに関する情報として、「子どもの遊び場の情報」と回答した割合が最も高く、「保育所(園)や幼稚園に関する情報」、「子どもに関するイベントの情報」が4割台、「各種手当や手続きに関する情報」、「子どもの健康、発達に関する情報」、「保育所(園)や幼稚園以外の子育て支援事業に関する情報」、「子育て全般に関する相談窓口の情報」が3割台で続いている。

【不足を感じる子育てに関する情報/上位6項目

(小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別)

～子育て支援に関する情報について「あまり入手できていない」「入手できていない」と回答した人～

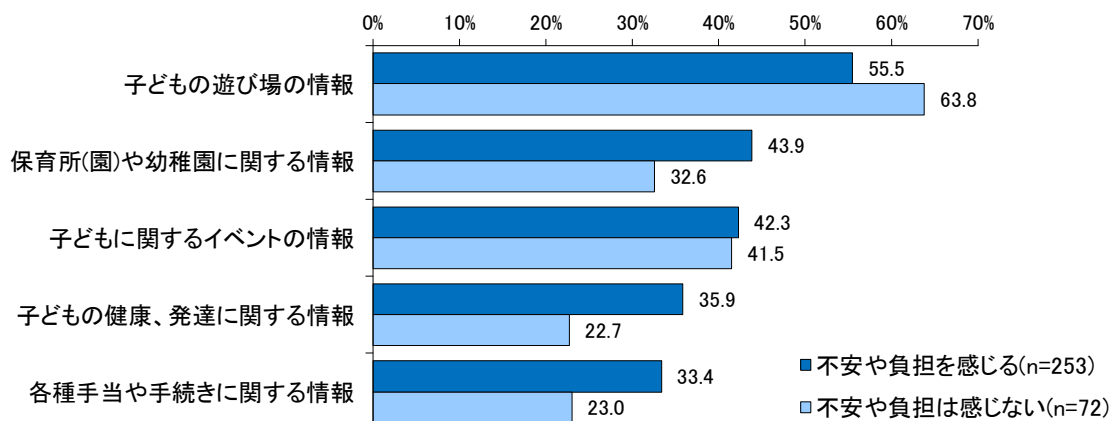


小学生の子育てがしやすいまちだと思わない層では、不足を感じる子育てに関する情報として、「子どもの遊び場の情報」と回答した割合が最も高く、「各種手当や手続きに関する情報」、「子どもに関するイベントの情報」、「子どもの健康、発達に関する情報」が4割台、「学校など子どもの教育に関する情報」、「子育て全般に関する相談窓口の情報」が3割台で続いている。

【不足を感じる子育てに関する情報/上位5項目

(就学前児童・子育てに関する不安・負担の有無別)

～子育て支援に関する情報について「あまり入手できていない」「入手できていない」と回答した人～

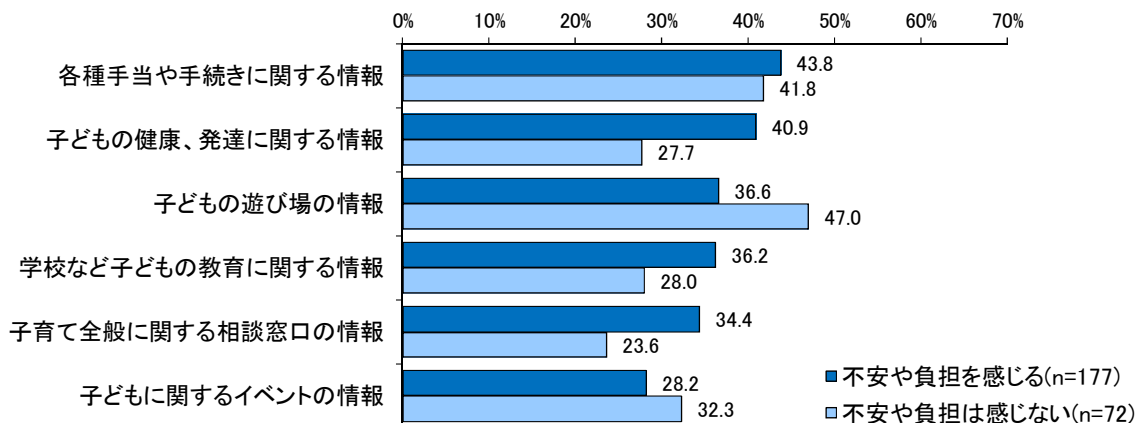


就学前児童の子育てに不安や負担を感じる層では、不足を感じる子育てに関する情報として、「子どもの遊び場の情報」と回答した割合が最も高く、「保育所(園)や幼稚園に関する情報」、「子どもに関するイベントの情報」が4割台、「子どもの健康、発達に関する情報」、「各種手当や手続きに関する情報」が3割台で続いている。

【不足を感じる子育てに関する情報/上位6項目

(小学生・子育てに関する不安・負担の有無別)

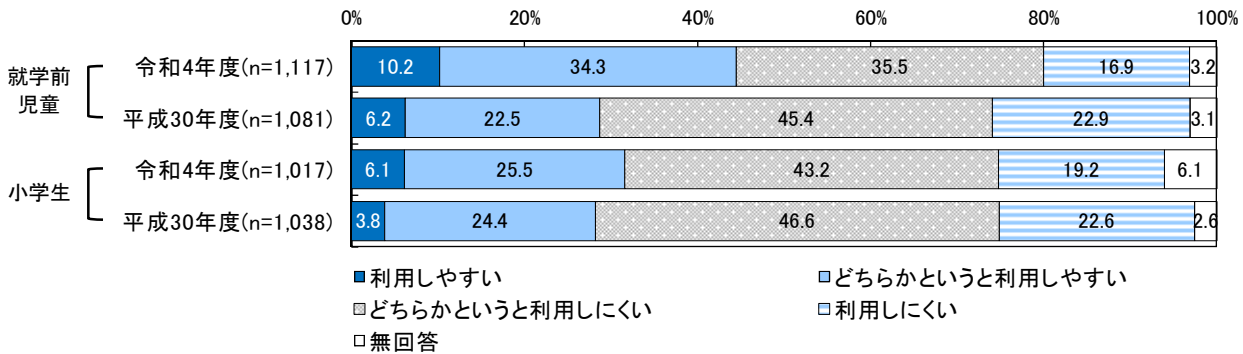
～子育て支援に関する情報について「あまり入手できていない」「入手できていない」と回答した人～



小学生の子育てに不安や負担を感じる層では、不足を感じる子育てに関する情報として、「各種手当や手続きに関する情報」と回答した割合が最も高く、「子どもの健康、発達に関する情報」が4割台、「子どもの遊び場の情報」、「学校など子どもの教育に関する情報」、「子育て全般に関する相談窓口の情報」が3割台で続いている。

指標 市や県の相談機関などの公的相談窓口、電話相談などの相談体制を利用しやすいと思いますか。【〇は1つ】

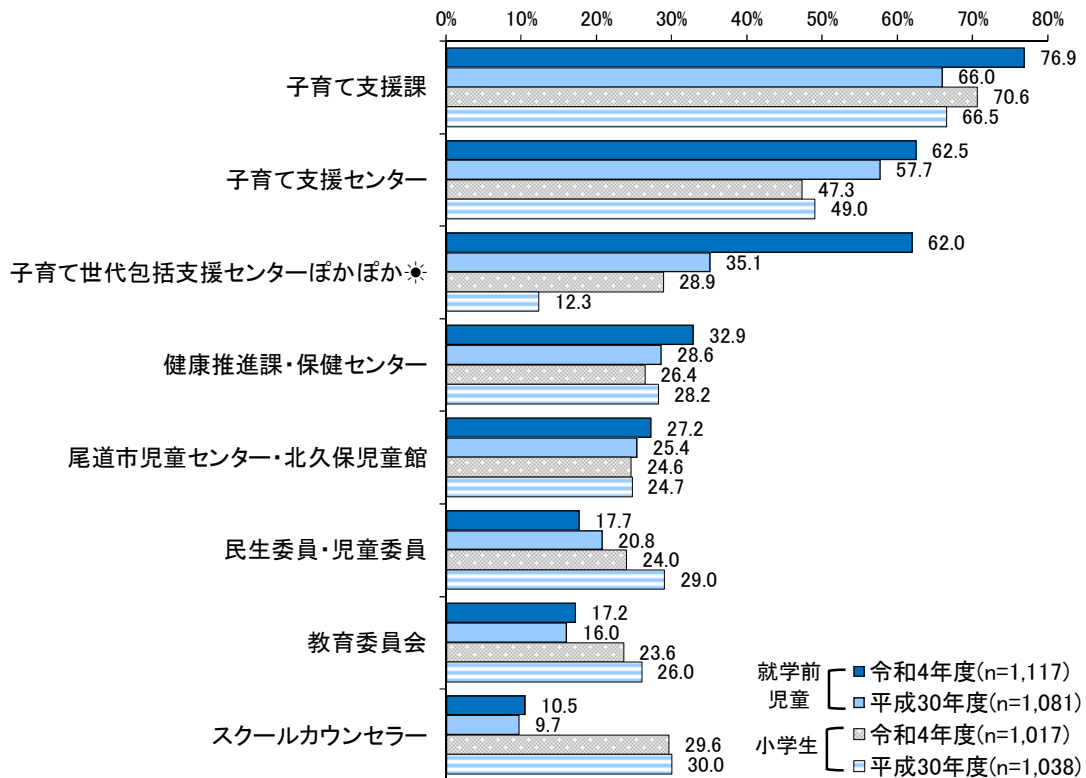
【公的な相談窓口の利便性（前回調査結果との比較）】



公的な相談窓口の利便性について、『利用しやすい』（「利用しやすい」＋「どちらかという利用しやすい」と回答した割合が就学前児童で44.5%、小学生で31.6%であり、前回調査結果と比較すると就学前児童で上昇している。

次にあげる公的相談機関や相談員・電話相談について知っていますか。
【〇は知っているものすべて】

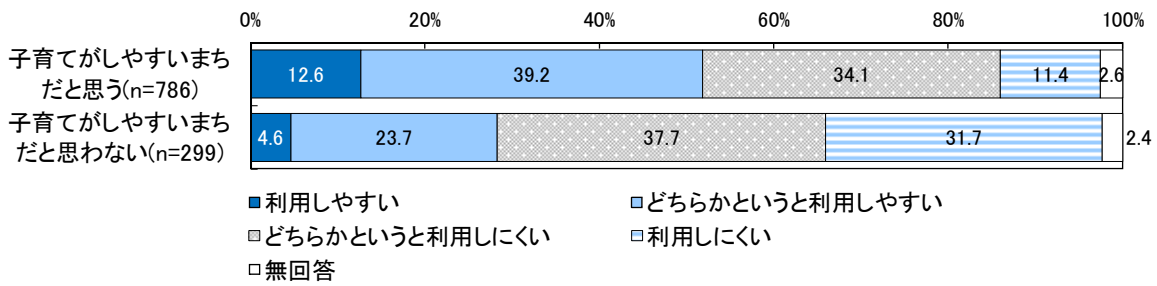
【公的相談機関や相談員・電話相談について知っているもの/上位8項目（前回調査結果との比較）】



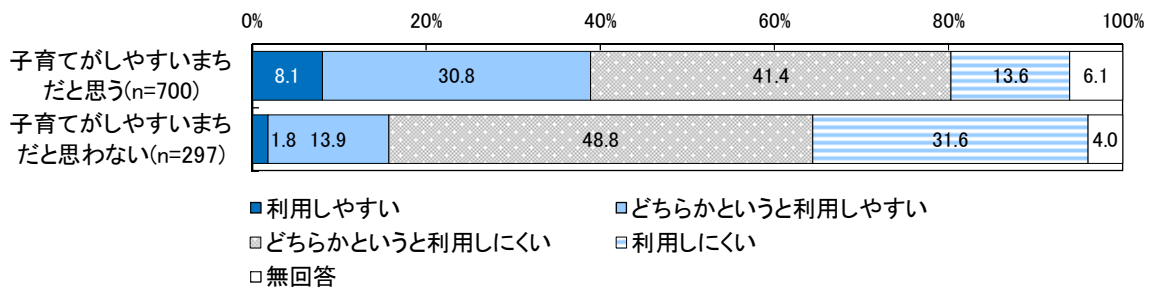
前回調査結果と比較すると、就学前児童で「子育て世代包括支援センターぽかぽか※」と回答した割合が大きく上昇している。

【公的な相談窓口の利便性（尾道市の子育てのしやすさの評価別）】

（就学前児童）



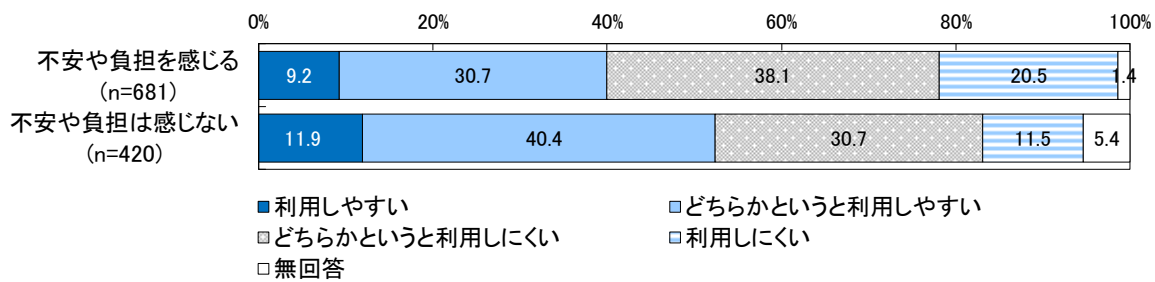
（小学生）



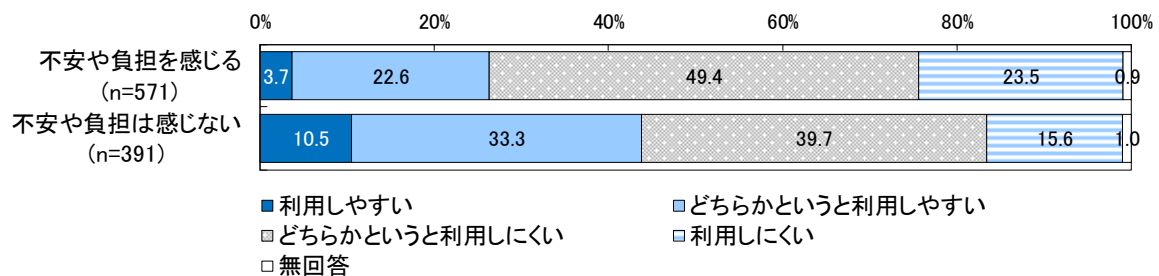
子育てがしやすいまちだと思わない層では、公的な相談窓口について『利用しにくい』（「利用しにくい」＋「どちらかという利用しにくい」）と回答した割合が就学前児童で 69.4%、小学生で 80.4%となっている。

【公的な相談窓口の利便性（子育てに関する不安・負担の有無別）】

（就学前児童）



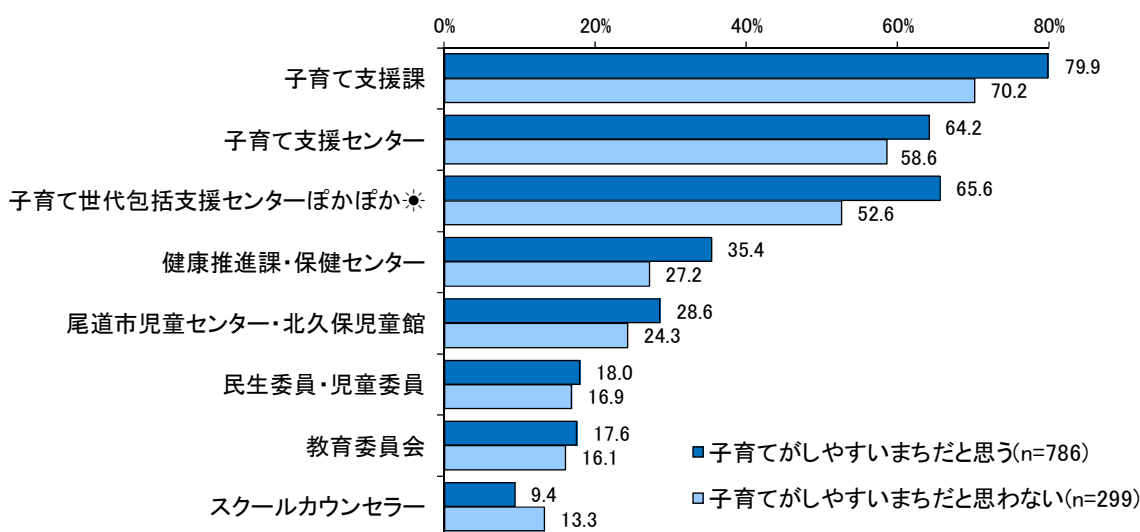
（小学生）



子育てに不安や負担を感じる層では、公的な相談窓口について『利用しにくい』と回答した割合が就学前児童で 58.6%、小学生で 72.9%となっている。

【公的相談機関や相談員・電話相談について知っているもの/上位8項目

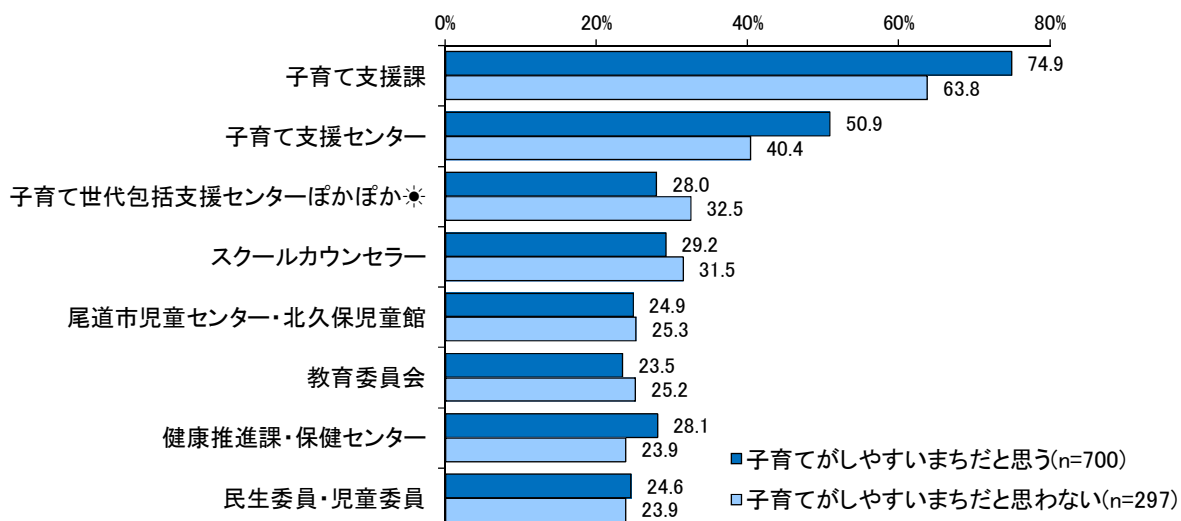
(就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別)



就学前児童の子育てがしやすいまちだと思わない層では、「子育て支援課」、「子育て支援センター」、「子育て世代包括支援センターぽかぽか*」等の公的相談機関について知っている割合が、子育てがしやすいまちだと思う層よりも低くなっている。

【公的相談機関や相談員・電話相談について知っているもの/上位8項目

(小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別)



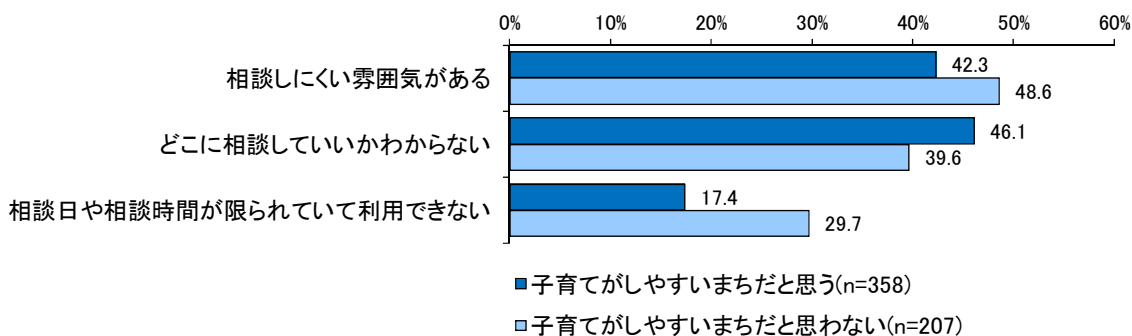
小学生の子育てがしやすいまちだと思わない層では、「子育て支援課」、「子育て支援センター」について知っている割合が、子育てがしやすいまちだと思う層よりも低くなっている。

どのような点を利用しにくいと感じますか。【〇は当てはまるものすべて】

【公的相談窓口などを利用しにくいと感じる点/上位3項目

(就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別)

～公的相談窓口について「どちらかという util しにくい」「利用しにくい」と回答した人～

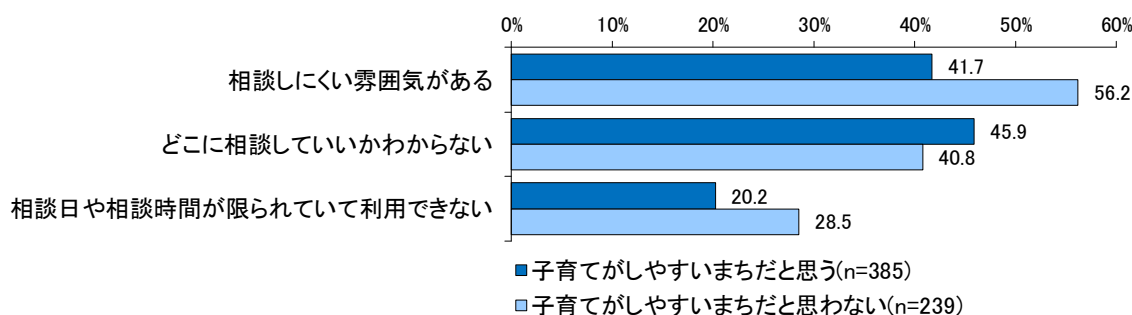


就学前児童の子育てがしやすいまちだと思わない層では、利用しにくいと感じる点として、「相談しにくい雰囲気がある」と回答した割合が 48.6%で最も高く、「どこに相談していいかわからない」が 39.6%、「相談日や相談時間が限られていて利用できない」が 29.7%で続いている。

【公的相談窓口などを利用しにくいと感じる点/上位3項目

(小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別)

～公的相談窓口について「どちらかという util しにくい」「利用しにくい」と回答した人～

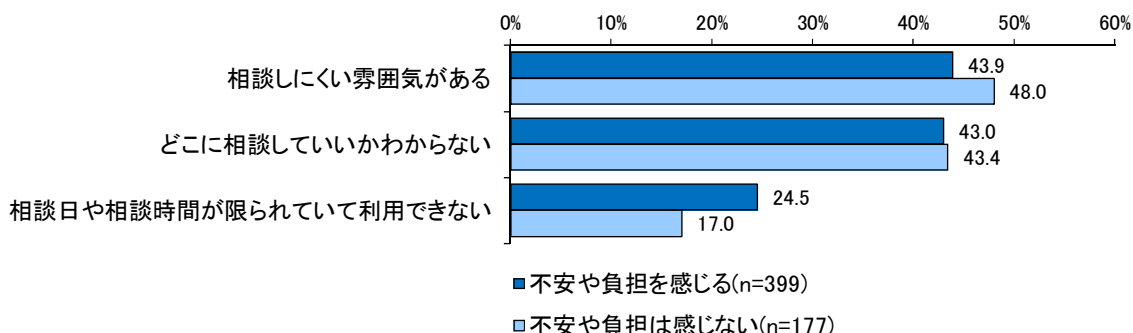


小学生の子育てがしやすいまちだと思わない層では、利用しにくいと感じる点として、「相談しにくい雰囲気がある」と回答した割合が 56.2%で最も高く、「どこに相談していいかわからない」が 40.8%、「相談日や相談時間が限られていて利用できない」が 28.5%で続いている。

【公的相談窓口などを利用しにくいと感じる点/上位3項目

(就学前児童・子育てに関する不安・負担の有無別)

～公的相談窓口について「どちらかという util しにくい」「利用しにくい」と回答した人～

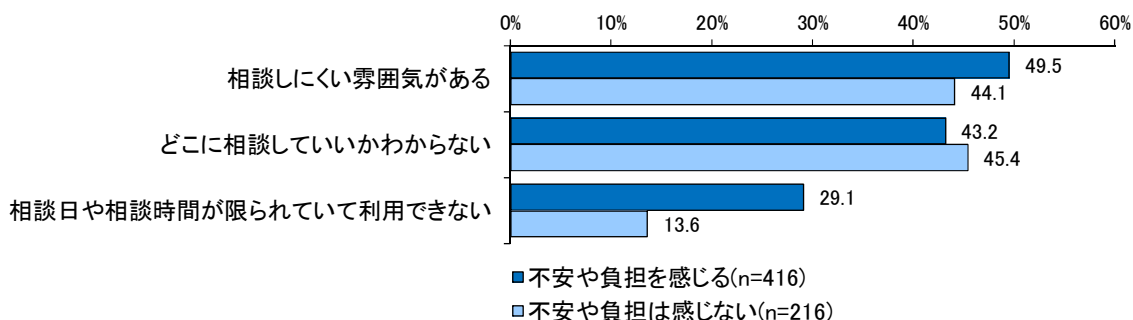


就学前児童の子育てに不安や負担を感じる層では、利用しにくいと感じる点として、「相談しにくい雰囲気がある」と回答した割合が 43.9%で最も高く、「どこに相談していいかわからない」が 43.0%、「相談日や相談時間が限られていて利用できない」が 24.5%で続いている。

【公的相談窓口などを利用しにくいと感じる点/上位3項目

(小学生・子育てに関する不安・負担の有無別)

～公的相談窓口について「どちらかという util しにくい」「利用しにくい」と回答した人～



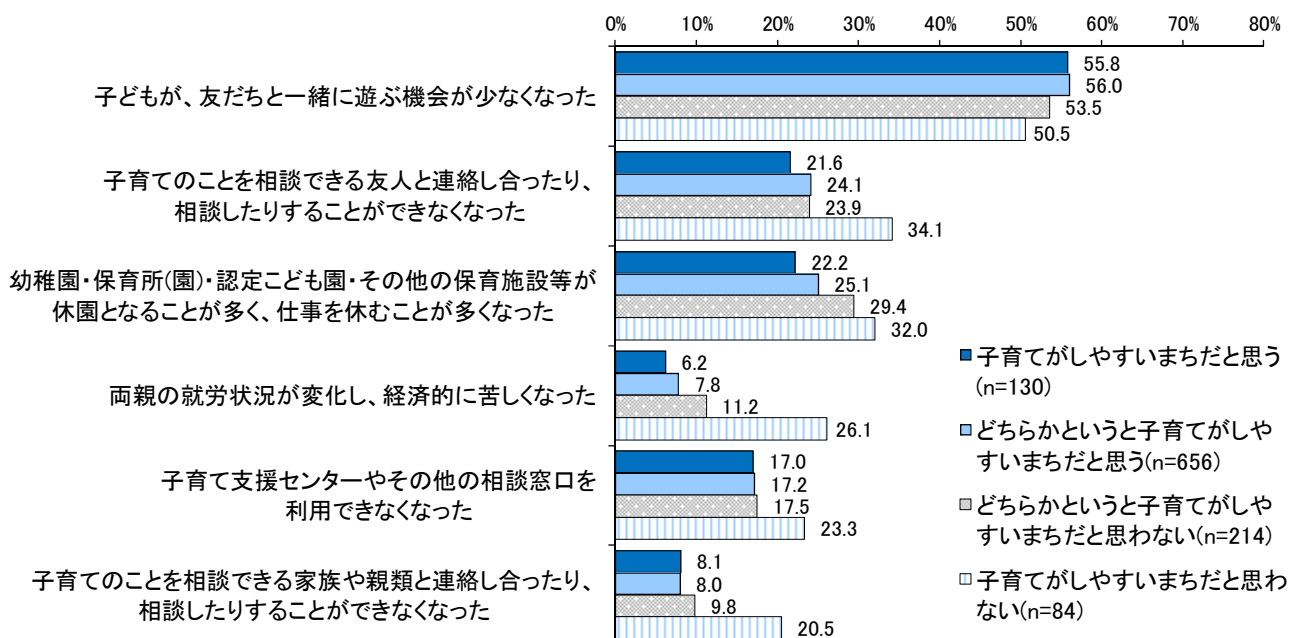
小学生の子育てに不安や負担を感じる層では、利用しにくいと感じる点として、「相談しにくい雰囲気がある」と回答した割合が 49.5%で最も高く、「どこに相談していいかわからない」が 43.2%、「相談日や相談時間が限られていて利用できない」が 29.1%で続いている。

新型コロナウイルス感染症が広がったことにより、生活に変化がありましたか。

【○は当てはまるものすべて】

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化/上位6項目

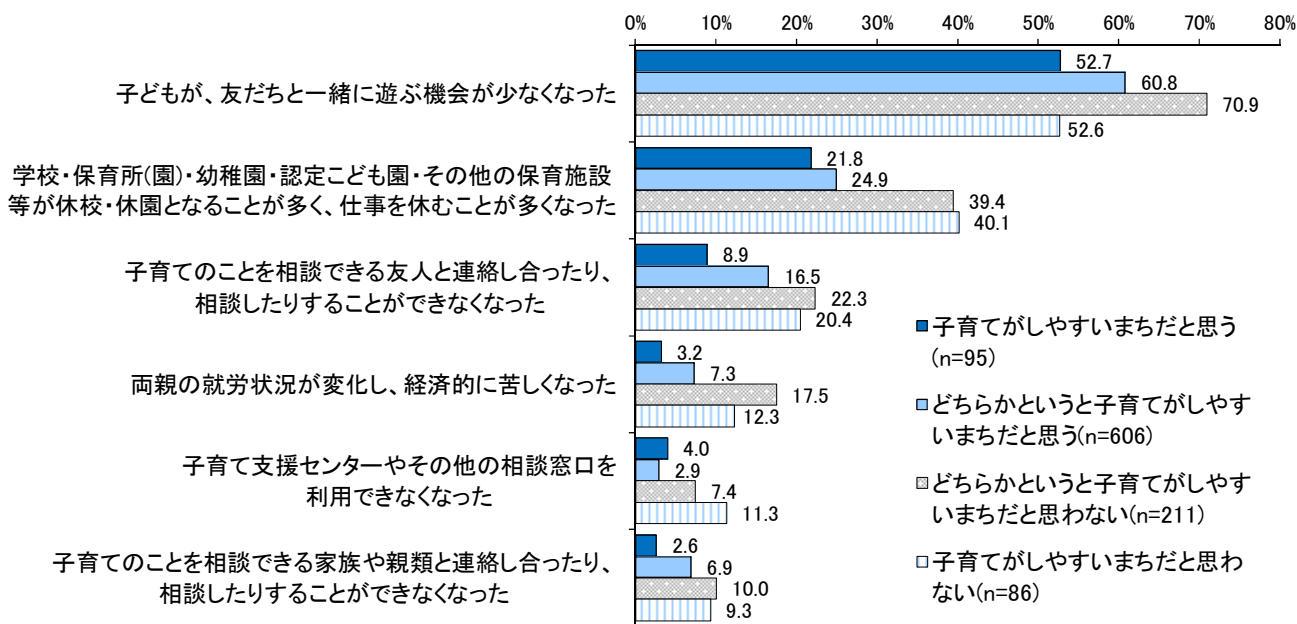
(就学前児童・尾道市の子育てのしやすさの評価別)



新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化について、就学前児童の「子育てがしやすいまちだと思わない」層では、他の層と同様に、「子どもが、友だちと一緒に遊ぶ機会が少なくなった」と回答した割合が最も高くなっているが、「子育てのことを相談できる友人と連絡し合ったり、相談したりすることができなくなった」、「両親の就労状況が変化し、経済的に苦しくなった」、「子育て支援センターやその他の相談窓口を利用できなくなった」、「子育てのことを相談できる家族や親類と連絡し合ったり、相談したりすることができなくなった」が2割台から3割台となっている。

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化/上位6項目

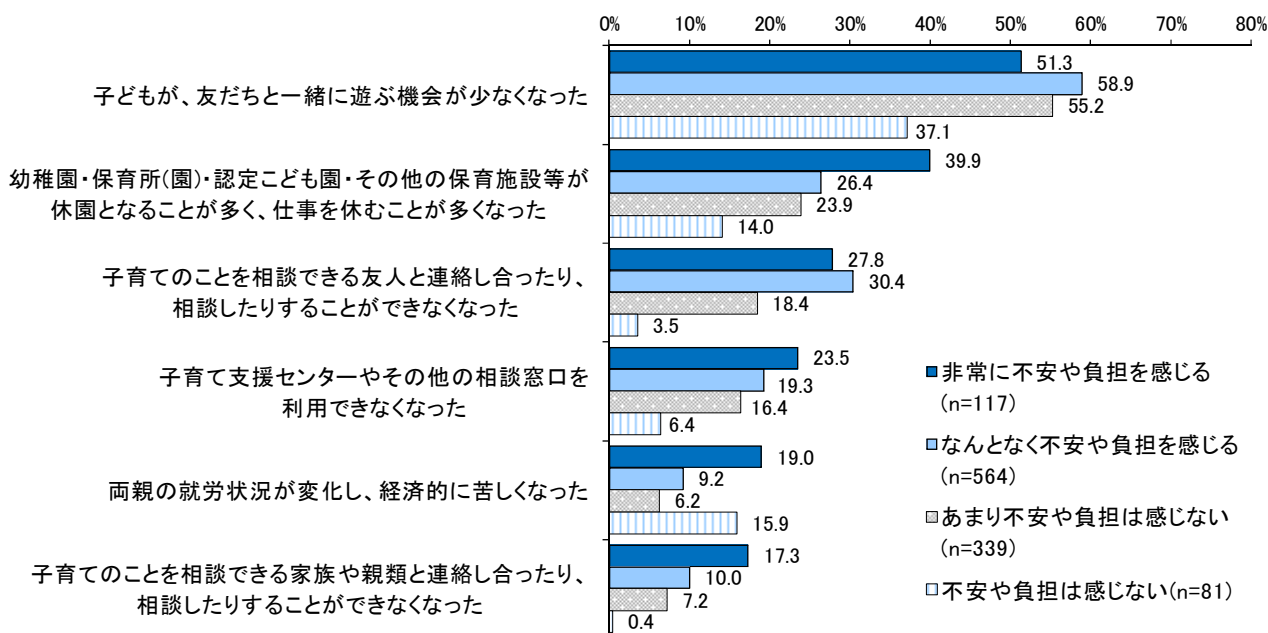
(小学生・尾道市の子育てのしやすさの評価別)



新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化について、小学生の「子育てがしやすいまちだと思わない」「どちらかという子育てがしやすいまちだと思わない」層では、他の層と同様に、「子どもが、友だちと一緒に遊ぶ機会が少なくなった」と回答した割合が最も高くなっているが、「子育てのことを相談できる友人と連絡し合ったり、相談したりすることができなくなった」が2割台となっている。

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化/上位6項目

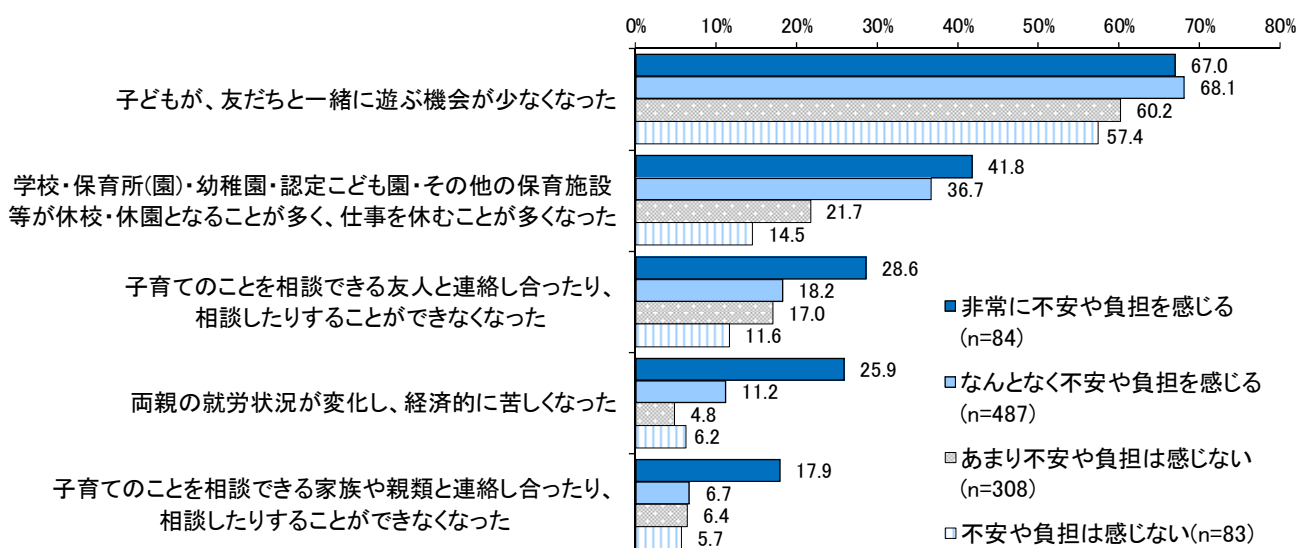
(就学前児童・子育てに関する不安・負担の有無別)



新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化について、就学前児童の子育てに「非常に不安や負担を感じる」層では、他の層と同様に、「子どもが、友だちと一緒に遊ぶ機会が少なくなった」と回答した割合が最も高くなっているが、「子育てのことを相談できる友人と連絡し合ったり、相談したりすることができなくなった」、「子育て支援センターやその他の相談窓口を利用できなくなった」が2割台となっている。

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化/上位5項目

(小学生・子育てに関する不安・負担の有無別)



新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活の変化について、小学生の子育てに「非常に不安や負担を感じる」層では、他の層と同様に、「子どもが、友だちと一緒に遊ぶ機会が少なくなった」と回答した割合が最も高くなっているが、「子育てのことを相談できる友人と連絡し合ったり、相談したりすることができなくなった」、「両親の就労状況が変化し、経済的に苦しなくなった」が2割台となっている。

第2期尾道市子ども・子育て支援事業計画中間評価のためのアンケート調査

報告書

発行：尾道市

発行年月：令和4年12月

編集：尾道市 福祉保健部 子育て支援課

〒722-8501 尾道市久保一丁目15番1号

電話 0848-38-9219
